

定期事業者検査報告書  
(定期事業者検査開始時)

関 原 発 第 3 3 7 号  
2 0 2 3 年 9 月 2 5 日

原子力規制委員会 殿

大阪市北区中之島3丁目6番16号  
関西電力株式会社  
執行役社長 森 望

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の16第3項の規定により次のとおり定期事業者検査について報告します。

氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名	名 称 関西電力株式会社 住 所 大阪市北区中之島3丁目6番16号 代表者の氏名 森 望
発電用原子炉を設置した工場又は事業所の名称及び所在地	名 称 美浜発電所 所在地 福井県三方郡美浜町丹生
検査に係る発電用原子炉施設の種類及び施設番号	第3号機 電気出力 826,000 kW 熱出力 2,432,000 kWt 当該発電用原子炉施設の種類は、別紙-1のとおり
検査の実績又は予定の概要	自（解列） 2023年10月25日（予定） 原子炉起動 2024年 1月18日（予定） 並列 2024年 1月20日（予定） 至（総合負荷） 2024年 2月14日（予定） 定期事業者検査の計画及び実績は、別紙-2のとおり

発電用原子炉施設の 種類及び施設番号	第3号機 原子炉本体 " 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 " 原子炉冷却系統施設 " 計測制御系統施設 " 放射性廃棄物の廃棄施設 " 放射線管理施設 " 原子炉格納施設 " その他発電用原子炉の附属施設 非常用電源設備 浸水防護設備
-----------------------	---

## 定期事業者検査の計画及び実績

検査名	今回の計画及び実績			備考
	※1	※2	※3	
クラス1機器供用期間中検査	—	○	—	
燃料集合体外観検査	—	○	—	
燃料集合体炉内配置検査	—	○	—	
原子炉停止余裕検査	—	—	○	
クラス2機器供用期間中検査	—	○	—	
蒸気発生器伝熱管体積検査	—	○	—	
加圧器安全弁機能検査	—	○	—	
加圧器安全弁漏えい検査	—	○	—	
加圧器安全弁分解検査	—	○	—	
加圧器逃がし弁機能検査	—	○	—	
加圧器逃がし弁漏えい検査	—	○	—	
加圧器逃がし弁分解検査	/	/	/	今回計画なし
加圧器逃がし弁元弁機能検査	—	○	—	
原子炉補機冷却系機能検査	—	○	—	
非常用炉心冷却系機能検査	—	○	—	
非常用炉心冷却系ポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
非常用炉心冷却系主要弁分解検査	—	○	—	
補助給水系機能検査	—	○	—	
補助給水系ポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
主蒸気安全弁機能検査	—	○	—	
主蒸気安全弁漏えい検査	—	○	—	
主蒸気逃がし弁機能検査	—	○	—	
主蒸気逃がし弁漏えい検査	—	○	—	
主蒸気隔離弁機能検査	—	○	—	
制御棒駆動系機能検査	—	○	—	
ほう酸ポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
制御用空気圧縮系機能検査	—	○	—	
安全保護系機能検査	—	○	—	
安全保護系設定値確認検査	—	○	○	
プラント状態監視設備機能検査	—	○	—	
燃料取扱装置機能検査	—	○	—	
アニュラス循環排気系機能検査	—	○	—	
アニュラス循環排気系フィルター性能検査	—	○	—	
中央制御室非常用循環系機能検査	—	○	—	
中央制御室非常用循環系フィルター性能検査	—	○	—	
気体廃棄物処理系機能検査	—	○	○	
原子炉格納容器全体漏えい率検査	/	/	/	今回計画なし
原子炉格納容器局部漏えい率検査	—	○	—	

今回定期事業者検査計画及び実績（○：計画、●：実績、—：計画・実績なし）

※1：先行実施検査（前回の検査終了～解列前の期間）

※2：解列後～原子炉起動前の期間

※3：原子炉起動後～総合負荷性能検査までの期間

検査名	今回の計画及び実績			備考
	※1	※2	※3	
原子炉格納容器隔離弁機能検査	—	○	—	
原子炉格納容器隔離弁分解検査	—	○	—	
原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	—	○	—	
原子炉格納容器安全系機能検査	—	○	—	
原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	/	/	/	今回計画なし
原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	—	○	—	
非常用予備発電装置機能検査（ディーゼル発電機の作動検査）	—	○	—	
非常用予備発電装置機能検査（ディーゼル発電機定格容量検査）	—	○	—	
非常用ディーゼル発電機分解検査	—	○	—	
総合負荷性能検査	—	—	○	
蒸気タービン開放検査	—	○	—	
蒸気タービン性能検査	—	○	○	
ほう酸ポンプ機能検査	/	/	/	今回計画なし
重大事故等クラス1機器供用期間中検査	—	○	—	
重大事故等クラス2機器供用期間中検査	—	○	—	
使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	—	○	—	
その他原子炉注水系ポンプ分解検査	/	/	/	今回計画なし
その他原子炉注水系主要弁分解検査	—	○	—	
その他原子炉注水系機能検査	—	○	—	
最終ヒートシンク熱輸送設備作動検査	—	○	—	
重大事故時安全停止回路機能検査	—	○	—	
エリアモニタ機能検査	—	○	—	
緊急時制御室非常用循環系機能検査	—	○	—	
緊急時制御室非常用循環系フィルター検査	—	○	—	
中央制御室の居住性確認検査	/	/	/	今回計画なし
緊急時制御室の居住性確認検査	—	○	—	
緊急時対策所の居住性確認検査	—	○	—	
圧力逃がし系作動検査	—	○	—	
可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	/	/	/	今回計画なし
その他非常用発電装置の機能検査	—	○	—	
直流電源系機能検査	—	○	—	
直流電源系作動検査	—	○	—	
供用期間中特別検査のうちクラス2管（原子炉格納容器内）特別検査	/	/	/	今回計画なし
供用期間中特別検査のうちクラス1機器 Ni 基合金使用部位特別検査	/	/	/	今回計画なし

今回定期事業者検査計画及び実績（○：計画、●：実績、—：計画・実績なし）

※1：先行実施検査（前回の検査終了～解列前の期間）

※2：解列後～原子炉起動前の期間

※3：原子炉起動後～総合負荷性能検査までの期間

検査名	今回の計画及び実績			備考
	※1	※2	※3	
供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査	—	○	—	
供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査	—	○	—	
タービンバイパス弁機能検査	—	○	—	
野外モニタ機能検査	—	○	—	
液体廃棄物処理系機能検査	○	○	—	
固体廃棄物処理系焼却炉機能検査	●	—	—	2023.9.22 終了
流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査	●	○	—	2023.7.27 終了 (※1分)
計測制御系機能検査	—	○	—	
計測制御系監視機能検査	—	○	○	
原子炉の停止制御回路健全性確認検査	—	○	—	
燃料取扱設備検査	—	○	—	
放射線監視装置機能検査	●	○	○	2023.9.8 終了 (※1分)
1次系換気空調設備検査	●	○	—	2023.9.22 終了 (※1分)
格納容器サンプル水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	—	○	—	
原子炉格納容器供用期間中検査	/	/	/	今回計画なし
炉物理検査	—	—	○	
1次系ポンプ機能検査	—	○	—	
1次系弁検査	○	○	—	
1次系安全弁検査	●	○	—	2023.3.16 終了 (※1分)
1次系逆止弁検査	●	○	—	2023.9.19 終了 (※1分)
1次系真空破壊弁検査	/	/	/	今回計画なし
1次系破壊板検査	/	/	/	今回計画なし
1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査	—	○	—	
1次系熱交換器検査	—	○	—	
1次冷却材ポンプ機能検査	—	○	○	
燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	●	○	—	2023.7.31 終了 (※1分)
液体廃棄物処理系設備検査	—	○	—	
耐震健全性検査	—	○	—	
構造健全性検査	—	○	—	
核計装設備検査	—	○	○	
制御棒クラスタ動作検査	—	○	—	
制御棒クラスタ検査	—	○	—	
制御棒位置指示装置設定値検査	—	○	—	
炉内計装用シングルチューブ体積検査	/	/	/	今回計画なし

今回定期事業者検査計画及び実績 (○：計画、●：実績、—：計画・実績なし)

※1：先行実施検査 (前回の検査終了～解列前の期間)

※2：解列後～原子炉起動前の期間

※3：原子炉起動後～総合負荷性能検査までの期間

検査名	今回の計画及び実績			備考
	※1	※2	※3	
安全保護系機能検査（パーミッシブロジック検査）	—	○	—	
インバータ機能検査	—	○	—	
総合インターロック検査	—	○	—	
レストレイント検査	—	○	—	
液体廃棄物処理系アスファルト固化設備機能検査	○	—	—	
廃樹脂処理装置運転性能検査	—	○	○	
固体廃棄物処理系溶融炉運転性能検査	—	○	—	
流体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査（最終の流入サンプル）	●	○	—	2023.9.14 終了（※1分）
2次系ポンプ分解検査	—	○	—	
2次系ポンプ機能検査	—	○	—	
2次系弁検査	—	○	—	
2次系安全弁検査	●	○	—	2023.9.1 終了（※1分）
2次系容器検査	—	○	—	
2次系熱交換器検査	—	○	—	
2次系配管検査	—	○	—	
補助ボイラー開放検査	/	/	/	今回計画なし
補助ボイラー性能検査	/	/	/	今回計画なし
補助ボイラー設備検査	/	/	/	今回計画なし
非常用予備発電機付属設備検査	—	○	—	
クラス3機器供用期間中検査	—	○	—	
蒸気タービン附属設備機能検査	—	—	○	
化学体積制御系機能検査	—	—	○	
浸水防護設備検査	/	/	/	今回計画なし
その他非常用発電装置の付属設備検査	—	○	—	
可搬型重大事故等対処設備機能検査	●	○	—	2023.9.1 終了（※1分）
可搬型代替電源設備検査	—	○	—	
火災防護設備検査	/	/	/	今回計画なし
原子炉格納容器再循環サンプルスクリーン検査	/	/	/	今回計画なし
可搬型換気空調設備検査	●	○	—	2022.11.2 終了（※1分）
重大事故等クラス3機器供用期間中検査	●	—	—	2023.3.31 終了
燃料取扱設備検査（使用済燃料取扱工具）	/	/	/	今回計画なし

今回定期事業者検査計画及び実績（○：計画、●：実績、—：計画・実績なし）

※1：先行実施検査（前回の検査終了～解列前の期間）

※2：解列後～原子炉起動前の期間

※3：原子炉起動後～総合負荷性能検査までの期間

# 添 付 書 類

- 添付書類一 定期事業者検査の計画
- 添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について  
定量的に定める施設管理の目標
- 添付書類三 施設管理の実施に関する計画
- 添付書類四 定期事業者検査の判定方法
- 添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容からの変更内容
- 添付書類六 保全の有効性評価の結果に関する説明書
- 添付書類七 特定重大事故等対処施設に関する説明書

添付書類一 定期事業者検査の計画

美 浜 発 電 所

第 3 号 機

第 27 回定期事業者検査計画書



## 目 次

1. 定期事業者検査の計画工程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 前回の定期事業者検査からの変更点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

別紙：定期事業者検査工程

1. 定期事業者検査の計画工程

定期事業者検査（実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第55条第1項の時期に行う定期事業者検査）については、次の期間で実施する。

（1）定期事業者検査の工程

自 2023年10月25日

至 2024年 2月14日

（並列日は、2024年 1月20日 （解列から並列までの期間は88日間））

（2）当該定期事業者検査中に実施する工事

なし

2. 前回の定期事業者検査からの変更点

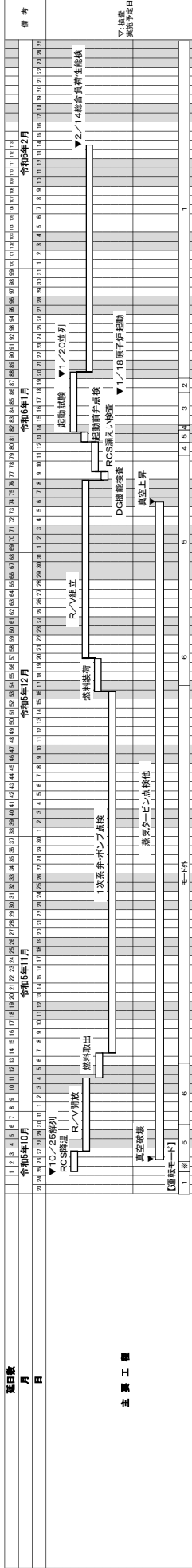
（1）特定重大事故等対処施設、常用直流電源設備（3系統目）に係る検査項目を設定した。

（2）重大事故等クラス1機器供用期間中検査

- ・特定重大事故等対処施設の供用開始を受け、特定重大事故等対処施設に関連する検査を追加。

# 定期事業者検査工程





要領番号	分類	検 査 名	27回定常検査 計画の進捗
M8- 27 -146	(2/2)	原子炉格納容器隔離弁分解検査	○
M8- 27 -147	-	原子炉格納容器真空度及び弁機能検査	○
M8- 27 -148	(1/2)	原子炉格納容器安全系統機能検査	○
M8- 27 -149	(2/2)	原子炉格納容器安全系統機能検査	○
M8- 27 -149	-	原子炉格納容器安全系統ポンプ分解検査	○
M8- 27 -150	-	原子炉格納容器安全系統弁分解検査	○
M8- 27 -151	(1/2)	原子炉格納容器安全系統弁分解検査	○
M8- 27 -151	(2/2)	原子炉格納容器安全系統弁分解検査	○
M8- 27 -152-1/2	-	炉内用予備用電源設備機能検査 (予備用予備用電源設備の機能検査) (予備用予備用電源設備の機能検査)	○
M8- 27 -153-2/2	-	炉内用予備用電源設備機能検査	○
M8- 27 -154	-	非炉内予備用電源設備機能検査	○
M8- 27 -155	-	緊急負荷試験	○
M8- 27 -156	(1/2)	蒸気タービン運転検査	○
M8- 27 -156	(2/2)	蒸気タービン運転検査	○
M8- 27 -158	(2/2)	蒸気タービン運転検査	○
M8- 27 -157	-	蒸気タービン運転検査	○
M8- 27 -158	-	原子炉格納容器機能検査	○
M8- 27 -159	-	重大事故シナリオ1 燃料供給用配管中絶検査	○
M8- 27 -160	-	重大事故シナリオ2 燃料供給用配管中絶検査	○
M8- 27 -161	-	使用済燃料貯蔵庫外部炉心冷却機能検査	○
M8- 27 -162	-	その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	○
M8- 27 -163	-	その他原子炉注水系統弁分解検査	○
M8- 27 -164	(1/2)	その他原子炉注水系統機能検査	○
M8- 27 -164	(2/2)	その他原子炉注水系統機能検査	○
M8- 27 -165	-	最終ヒートシンク熱伝達設備動作試験	○
M8- 27 -166	-	重大事故安全停止回線機能検査	○
M8- 27 -168	-	エリアモニタ機能検査	○
M8- 27 -169	-	緊急時制御非常用電源系統機能検査	○
M8- 27 -171	-	緊急時制御非常用電源系統フィルタ試験	○
M8- 27 -173	-	中央制御室の居住性試験	○
M8- 27 -174	-	緊急時制御室の居住性試験	○
M8- 27 -175	-	緊急時制御室の居住性試験	○
M8- 27 -176	-	圧力差がし家作動試験	○
M8- 27 -178	-	可動性がし家作動試験	○
M8- 27 -180	-	その他非常用電源系統の機能検査	○
M8- 27 -181	-	直流電源系統機能検査	○
M8- 27 -182	-	直流電源系統機能検査	○
M8- 27 -244(1)	-	使用済燃料貯蔵庫のラックラック2層(原子炉格納容器内)特別検査	○
M8- 27 -244(2)	-	使用済燃料貯蔵庫のラックラック1層(原子炉格納容器内)特別検査	○
M8- 27 -244(4)	-	炉内用予備用電源設備のラックラック1層特別検査	○
M8- 27 -244(6)	-	炉内用予備用電源設備のラックラック1層特別検査	○
M8- 27 -207	-	タービンバイパス弁機能検査	○
M8- 27 -208	-	炉外モニタ機能検査	○
M8- 27 -210	-	炉外モニタ機能検査	○
M8- 27 -212	-	炉外モニタ機能検査	○

主 要 工 程

備考





添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について  
定量的に定める施設管理の目標



## 目 次

1. 保全活動管理指標	1
-------------	---

別紙：保全活動管理指標

1. 保全活動管理指標

保全の有効性を監視、評価するために、保全重要度を踏まえ、「プラントレベル」及び「系統」レベルの保全活動管理指標及びその目標値を別紙のとおり設定する。※

※特定重大事故等対処施設に関する事項については添付書類七にて掲載する。

別 紙

## 保 全 活 動 管 理 指 標

## 保全活動管理指標

(1/17)

### 1. プラントレベル

項目	目標値
計画外原子炉自動・手動スクラム回数	< 1回 / 7000臨界時間
計画外出力変動回数	< 2回 / 7000臨界時間
工学的安全施設の計画外作動回数	< 1回

## 2. 系統レベル

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
原子炉冷却系統	原子炉冷却材圧力バカダリ機能 (PS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉冷却材圧力バカダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能 (PS-2)	<1回/サイクル	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	[加圧器逃がし弁、加圧器逃がし弁元弁] <1回/サイクル [加圧器後備ヒータ] <2回/サイクル	[加圧器逃がし弁、元弁、加圧器後備ヒータ] <72時間/2サイクル/弁、ヒータ	※：逃がし弁駆動空気、ヒータ電源含む
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
化学体積制御系統	未臨界維持機能(充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	[系統共通箇所以外] <240時間/2サイクル	
	・未臨界維持機能(ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ提供) (MS-1) ・炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	トリンA<240時間/2サイクル トリンB<240時間/2サイクル	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2) (補給水制御弁閉止)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
余熱除去系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	< 1回/サイクル	—	
	炉心冷却機能 (MS-1)	< 1回/サイクル	トリンA < 240時間/2サイクル トリンB < 240時間/2サイクル	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (PS-2)	< 2回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	< 2回/サイクル	—	
燃料取替用水系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未臨界維持機能 (MS-1)</li> <li>・炉心冷却機能、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)</li> </ul>	< 1回/サイクル	[燃料取替用水カク] < 1時間/2サイクル	
	燃料プールの水の補給機能 (MS-2)	< 2回/サイクル	[燃料取替用水カク] < 1時間/2サイクル [燃料取替用水カク以外] < 240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	< 1回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
安全注入系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>炉心冷却機能 (MS-1)</li> <li>未臨界維持機能 (MS-1)</li> </ul>	< 1回/サイクル	[高圧注入系、低圧注入系] トラインA < 240時間/2サイクル トラインB < 240時間/2サイクル [蓄圧注入系※] 1時間/2サイクル/基 [ほう酸注入系] < 1時間/2サイクル	※：蓄圧注入系は未臨界維持機能を有しない。
	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	< 1回/サイクル	—	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (PS-2)	< 2回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	< 2回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	< 1回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	< 1回/サイクル	[よう素除去薬品系] < 72時間/2サイクル [よう素除去薬品系以外] トラインA < 240時間/2サイクル トラインB < 240時間/2サイクル	
格納容器圧力低減系統 (格納容器冷却設備)	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	< 2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
蒸気発生器ブローダウン系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	< 1回/サイクル	< 72時間/2サイクル/弁	
換気空調設備 (補助建屋よう素除去排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	< 1回/サイクル	レインA < 240時間/2サイクル レインB < 240時間/2サイクル レイン共通箇所 < 72時間/2サイクル	
換気空調設備 (フェニックス気再循環系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1) (1次格納容器からフェニックス部に漏えいした空気を浄化再循環し、環境に放出される核分裂性生物の濃度を減少させる機能)	< 1回/サイクル	レインA < 240時間/2サイクル レインB < 240時間/2サイクル	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1) (フェニックス圧力が設定値に達すると、フェニックス戻り弁及び全量排気弁/少量排気弁を自動開閉し、フェニックス部を負圧に保つ機能)	< 1回/サイクル	レインA < 240時間/2サイクル レインB < 240時間/2サイクル	
換気空調設備 (格納容器排気筒)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	< 2回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-2)	< 1回/サイクル	—	



系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
換気空調設備（ボイラ/高圧注入ポンプ室冷却系）	炉心冷却機能（間接関連系）（MS-2）	<2回/サイクル	トインA<240時間/2サイクル トインB<240時間/2サイクル	当該空調設備は次の安全機能を兼ねる。 ・未臨界維持機能（間接関連系）（MS-2） ・原子炉停止後の除熱機能（間接関連系）（MS-2） ・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び低減機能（間接関連系）（MS-2）
換気空調設備（マテリアル余熱除去ポンプ室冷却系）	炉心冷却機能（間接関連系）（MS-2）	<2回/サイクル	トインA<240時間/2サイクル トインB<240時間/2サイクル	当該空調設備は次の安全機能を兼ねる。 ・原子炉停止後の除熱機能（間接関連系）（MS-2） ・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び低減機能（間接関連系）（MS-2）
換気空調設備（制御建屋空調系）	・安全上特に重要な関連機能（MS-1） ・安全上特に重要な関連機能（直接関連系）（MS-1）	<1回/サイクル	トインA<720時間/2サイクル トインB<720時間/2サイクル トイン共通箇所<240時間/2サイクル	
換気空調設備（中央制御室非常用循環系）	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	トインA<720時間/2サイクル トインB<720時間/2サイクル トイン共通箇所<240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系（MS-2）	<2回/サイクル	—	
換気空調設備（マイセル発電機室換気系）	安全上特に重要な関連機能（間接関連系）（MS-2）	<1回/サイクル	トインA<240時間/2サイクル トインB<240時間/2サイクル	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
換気空調設備(中間建 屋送・排気系)	安全上特に重要な関連機能(間接関連系)(MS-2)	<1回/サイクル	トレインA<240時間/2サイクル トレインB<240時間/2サイクル	
	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	[主蒸気安全弁] <6時間/2サイクル/弁 [主蒸気逃がし弁] <168時間/2サイクル/弁 [主蒸気止弁※] <8時間/2サイクル/弁	※:パ:パ:ス弁を含む
	異常状態の緩和機能(MS-2)	<2回/サイクル	<72時間/2サイクル/弁	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	—	
主管系統 (主蒸気系統)	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	[主給水隔離弁] <72時間/2サイクル/弁	
	異常状態の緩和機能(MS-2)	<2回/サイクル	[主給水制御弁※] <72時間/2サイクル/弁	※:パ:パ:ス制御弁を含む
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	—	
	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	[復水タンク] <168時間/2サイクル [復水タンク以外] 補助給水系(電動)トレインA<240時間/2サイクル トレインB<240時間/2サイクル 補助給水系(タービン動)<240時間/2サイクル	
主管系統 (補助給水系統)	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<1回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
主単線結線	安全上特に重要な関連機能 (当該系) (MS-1)	<1回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	
直流系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	[直流母線] <2時間/2サイクル/母線 [警電地] <240時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
特高開閉所設備	電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	—	
計器用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	
起動変圧器設備	電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	—	
予備変圧器設備	A. 電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	—	
所内保護・計量設備	安全上特に重要な関連機能 (非常用母線の保護機能) (MS-1)	<1回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な関連機能 (非常用所内電源系) (MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャネル	
	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャネル	
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系 (MS-2)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
系統独立制御盤(緊急時対応 (中央制御室))	制御室外からの安全停止機能(MS-2)	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル/機能	
	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	トリップA<196時間/2サイクル トリップB<195時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(直接関連系) (MS-2)	<2回/サイクル	-	
原子炉補機冷却水系統	事故時のプラント状態の把握機能(P-AM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	-	
	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	トリップA<212時間/2サイクル トリップB<212時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能(間接関連系)(MS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	
1次系海水系統	安全上特に重要な関連機能の情報提供系(MS-2)	<1回/サイクル	-	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
冷水系統	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	レインA<240時間/2サイクル レインB<240時間/2サイクル	
1次系試料採取系統	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
計器用空気系統 (1次系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	レインA<1時間/2サイクル レインB<1時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	レインA<240時間/2サイクル レインB<240時間/2サイクル	
ディーゼル発電機始動空気系統	A. 安全上特に重要な関連機能 (MS-1) C. 安全上特に重要な関連機能 (或気系) (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
ディーゼル発電機潤滑油系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機燃料系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
非常用ディーゼル発電機設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
気体廃棄物処理系統	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	-	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
原子炉保護装置	原子炉停止系への作動(信号)の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	原子炉保護系論理回路 モード1, 2<6時間/2サイクル/トリン モード3, 4(トリップ遮断器が閉じている場合) <48時間/2サイクル/トリン 原子炉保護系信号部手動トリップ <48時間/2サイクル/チャンネル 自動トリップ<6時間/2サイクル/チャンネル インターロック<1時間/2サイクル/チャンネル	
	工学的安全施設への作動(信号)の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	工学的安全施設等作動論理回路 <6時間/2サイクル/トリン 工学的安全施設等作動信号部 手動<48時間/2サイクル/チャンネル 自動<6時間/2サイクル/チャンネル インターロック<1時間/2サイクル/チャンネル デベージブル発電機起動論理回路 <6時間/2サイクル/トリン 中央制御室非常用循環系作動論理回路 <720時間/2サイクル/トリン	
炉外核計装装置	定検中の炉心の監視機能 [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	-	
エリア・プロセス装置	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	-	
燃料取扱設備	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	-	
燃料取扱設備 構築物	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル	-	
	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	-	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
炉内構造物	<ul style="list-style-type: none"> <li>炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (PS-1)</li> <li>炉心形状の維持機能 (冷却材流路形成機能) (PS-1)</li> </ul>	<1回/サイクル	—	
	原子炉の緊急停止機能 (制御棒クラスタ案内機能) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	炉心形状の維持機能 (PS-1)	<1回/サイクル	—	
燃料集合体及び非核燃料炉心構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉の緊急停止機能 (MS-1)</li> <li>未臨界維持機能 (MS-1)</li> </ul>	<1回/サイクル	—	
	放射性物質の閉じ込み機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (原子炉格納容器ハワンタリ機能) (MS-1)	<1回/サイクル	<4時間/2サイクル/弁 <24時間/2サイクル/エアロフク	
原子炉格納容器及びフニェアス	過剰反応度の印加防止機能 (PS-1)	<1回/サイクル	—	
	制御棒駆動装置 (機械系)	<1回/サイクル	—	
制御棒駆動装置 (電気系)	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	トリップ遮断器 モード1, 2 <1時間/2サイクル/トリップ モード3, 4 (トリップ遮断器が閉じている場合) <48時間/2サイクル/トリップ	
	事故時のブランク状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	



系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
原子炉建屋	・放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1) ・放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (アニュラス部を構成する機能) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	火災防護機能 (間接関連系) (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
	溢水による損傷防止機能 (間接関連系) (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
付属建屋	竜巻防護機能 (間接関連系) (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
取水口・放水口設備	浸水防護機能 (間接関連系) (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
	津波監視機能 (間接関連系) (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	
	火災防護機能 (間接関連系) (MS-2相当)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
重大事故等対処設備	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	< 720時間/2サイクル	
	1次系のフィードアンドブリードをするための設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	充てん/高圧注入ポンプ < 240時間/2サイクル 加圧器逃がし弁 < 72時間/2サイクル	
	炉心注水をするための設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	炉心注水 (非常用炉心冷却系) 炉心注水 (蓄圧注入系) 代替炉心注水 (C充てん/高圧注入ポンプ) < 720時間/2サイクル 代替炉心注水 (A、B内部スプレポンプ) < 720時間/2サイクル 代替炉心注水 (可搬式代替低圧注水ポンプ) < 720時間/2サイクル 代替再循環 代替再循環 (A、B内部スプレポンプ (RHRS-CSS連絡ライン 使用) ) < 72時間/2サイクル 代替再循環 (B余熱除去ポンプ・B充てん/高圧注入ポンプ (海水冷却) ) < 720時間/2サイクル	
	1次冷却系の減圧をするための設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	加圧器逃がし弁による減圧 (窒素ポンプまたは可搬式空圧縮機を使用した減圧) < 240時間/2サイクル (可搬型バッテリーを使用した減圧) < 720時間/2サイクル	
	原子炉格納容器スプレレイ等をするための設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	原子炉格納容器スプレレイ 代替原子炉格納容器スプレレイ (恒設代替低圧注水 ポンプ) < 720時間/2サイクル 代替原子炉格納容器スプレレイ (原子炉下部キャビ ティ注水ポンプ) < 72時間/2サイクル	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
重大事故等対処設備	原子炉格納容器内自然対流冷却するための設備 (SA-2)	< 1回/サイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル 大容量ポンプによる原子炉格納容器内自然対流冷却 <240時間/2サイクル	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備(SA-2)	< 1回/サイクル	—	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備(SA-2)	< 1回/サイクル	<72時間/2サイクル	
	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備(SA-2)	< 1回/サイクル	水素濃度低減 (静的触媒式水素再結合装置) <72時間/2サイクル 水素濃度低減 (原子炉格納容器水素燃焼装置) — 水素濃度監視 <720時間/2サイクル	
	水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止する等のための設備(SA-2)	< 1回/サイクル	Bアニュウラス循環系 <72時間/2サイクル 代替空気(窒素)系統 <240時間/2サイクル	
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備(SA-2)	< 1回/サイクル	海水から使用済燃料ピットへの注水 — 使用済燃料ピットへのスプレー — 使用済燃料ピットの監視 — 軽油用ドラム缶による燃料補給 <48時間/2サイクル	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備(SA-2)	< 1回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	重大事故等の収束に必要な水の供給設備(SA-2)	< 1回/サイクル	海水を用いた復水タンクへの補給 <240時間/2サイクル 燃料取替用水タンク <1時間/2サイクル 復水タンク <72時間/2サイクル	

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数	非待機時間 目標値	
重大事故等対処設備	電源設備 (SA-2)	<1回/サイクル	空冷式非常用発電装置、電源車 <720時間/2サイクル 蓄電池 (安全防護系用) 蓄電池 (3系統目) <720時間/2サイクル 可搬式整流器 <240時間/2サイクル 代管所内電気設備 <72時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリー、燃料油移 送ポンプ <48時間/2サイクル	
	計装設備 (-)	<2回/サイクル	記録以外 <720時間/2サイクル 記録	
	中央制御室 (SA-2)	<1回/サイクル	中央制御室非常用循環系 <72時間/2サイクル 可搬型照明 (SA)、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 <240時間/2サイクル	
	監視測定設備 (SA-2)	<1回/サイクル	-	
	緊急時対策所 (SA-2)	<1回/サイクル	電源車 (緊急時対策所用) <240時間/2サイクル 居住性 (緊急時対策所エリアモニタ) 居住性 (緊急時対策所エリアモニタ以外) <240時間/2サイクル	
	通信連絡を行うために必要な設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	その他の設備 (-)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	

添付書類三 施設管理の実施に関する計画

## 目 次

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間・・・ 1
2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期・・・・・・・・ 2
4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置・・ 2

別紙：点検計画（第27保全サイクル）

別図：定期事業者検査時の安全管理の計画

別表：長期施設管理方針実施状況総括

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第27回定期事業者検査開始日から第28回定期事業者検査開始日の前日までの期間（第27回定期事業者検査終了日以降13ヶ月までの間（※））とし、以降、この期間を第27保全サイクルという。

ただし、この期間内に第28回定期事業者検査を開始した場合には、その前日までの期間とする。

※：第27回定期事業者検査終了日以降13ヶ月までの間を『実運転期間』という。

2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期

(1) 工事の計画

a. 火災感知器追加設置工事：設計及び工事計画認可申請

○工事概要

新火災防護基準バックフィット対応として、火災区域に対し、異なる種類の火災感知器を消防法に準じた箇所に設置する。

○予定時期

2019年2月～2024年1月

b. 電線管耐火隔壁他設置工事：設計及び工事計画認可申請

○工事概要

火災防護対象ケーブルの系統分離対策を実施する。

○予定時期

2023年6月～2024年1月

c. 1次系試料採取系統配管取替工事

○工事概要

大飯3号機原子炉格納容器内での漏えい事象（H17.3）に鑑み、1次系試料採取系統の小口径配管の接続部について、信頼性向上の観点より、カップリング溶接式継手から、突合せ溶接式継手の配管に取り替える。

○予定時期

第27回定期事業者検査期間中

d. 抽出水オリフィス取替工事

○工事概要

余熱除去系統の信頼性向上の観点より、プラント起動時に化学体積制御系統を用いた一次冷却材系統の圧力調整が実施できるよう、当該系統の抽出水オリフィスを口径の大きいものに取り替える。

○予定時期

第27回定期事業者検査期間中

### 3. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期

#### (1) 点検計画

定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「美浜発電所 保守業務所則（平成15美原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「美浜発電所 土木建築業務所則（平成19美原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。※

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」等に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなど運転経験
- ・安全性向上評価
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

### 4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置

定期事業者検査に伴う停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。※

また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特にない。

※特定重大事故等対処施設に関する事項については添付書類七にて記載する。



点 検 計 画  
(第 2 7 保 全 サ イ ク ル)

## 点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、設計及び工事計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具、現地操作時に用いる工具類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

② 保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a. 安全機能の重要度が高い設備

b. 供給信頼性重要度が高い設備

c. リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・ 定期事業者検査に係る点検
- ・ 定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備<sup>※1</sup>の点検等）については、「美浜発電所 保守業務所則（平成15美原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」及び「美浜発電所 土木建築業務所則（平成19美原土所則 第1号）」に定めている。

※1：附帯設備の例

〔 潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、  
レデューサ、フローグラス 等 〕

(3) 保全の重要度について

「グレード分け通達（平成18原品証通達第2号）」等の考え方に従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全（時間基準保全、状態基準保全）を選定、事後保全是選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・事後保全を採用しているもの：BM

(5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間（総合負荷性能検査～解列）に応じた値を示している。また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
- ・供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」※2表記している。なお、回転機器（ポンプ、ファン等）等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
- ・これ以外で性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」※2により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検がプラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
- ・機能・性能試験の結果等を踏まえて適宜実施する点検については、「X」により表記している。

※2：「B」、「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検や定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“定期事業者検査起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（定期事業者検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備は備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。
- ・状態監視技術のうち振動診断の頻度については、年度におけるデータ採取回数を「M」表示となるよう平均し記載している。

なお、第27保全サイクル中に点検を計画するものについては、「点検計画」に「○」<sup>※3</sup>を記載している。

また、「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）<sup>※4</sup>も記載している。

※3：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※4：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあつては、最新実績を記載している。

点検計画 目次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/41
【炉心】	
【原子炉容器】	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/41
【燃料取扱設備】	
【使用済燃料貯蔵設備】	
【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】	
【燃料取替用水設備】	
原子炉冷却系統施設	3/41
【一次冷却材の循環設備】	
【主蒸気・主給水設備】	
【余熱除去設備】	
【非常用炉心冷却設備】	
【化学体積制御設備】	
【蒸気タービンの附属設備】	
【原子炉補機冷却設備】	
【原子炉補機冷却海水設備】	
【原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置】	
計測制御系統施設	11/41
【制御材】	
【制御棒駆動装置】	
【ほう酸注入機能を有する設備】	
【工学的安全施設等の作動信号】	
【制御用空気設備】	
【その他設備】	
放射性廃棄物の廃棄施設	14/41
【気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備】	
【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	
【原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置】	
放射線管理施設	19/41
【放射線管理用計測装置】	
【換気設備】	
【生体遮蔽装置】	
【その他設備】	

機器又は系統名	ページ
原子炉格納施設	27/41
【原子炉格納容器】	
【圧力低減設備その他の安全設備】	
原子力設備	31/41
【その他設備】	
原子力設備・タービン設備	31/41
【その他設備】	
蒸気タービン	32/41
【車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸】	
【调速装置及び非常调速装置並びに调速装置で制御される主要弁】	
【復水器】	
【蒸気タービンに附属する熱交換器】	
【蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備】	
【蒸気タービンに附属する管等】	
【その他設備】	
その他発電用原子炉の附属施設	38/41
【補助ボイラー】	
【非常用電源設備】	
【その他の電源装置】	
【常用電源設備】	
【火災防護設備】	
【浸水防護設備】	
【補機駆動用燃料設備】	
【非常用取水設備】	
土木建築設備	41/41
プラント総合	41/41
全般機器	41/41

- 別表－１：クラス１機器供用期間中検査７年計画  
 別表－２：クラス２機器供用期間中検査１０年計画  
 別表－３：クラス３機器供用期間中検査１０年計画  
 別表－４：クラス１機器N i 基合金使用部位特別検査７年計画  
 別表－５：クラス２管（原子炉格納容器内）特別検査７年計画  
 別表－６：原子炉格納容器供用期間中検査１０年計画  
 別表－７：重大事故等クラス１機器供用期間中検査１０年計画  
 別表－８：重大事故等クラス２機器供用期間中検査１０年計画  
 別表－９：重大事故等クラス３機器供用期間中検査１０年計画  
 別表－１０：クラス１配管特別検査計画

※特定重大事故等対処施設に関する事項については添付書類七に記載する。

## 1. 点検計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術	
原子炉本体 【炉心】	照射燃料集合体	※1式	高	1F	○	26回	燃料集合体外観検査	※炉心設計による	
	照射燃料集合体(取出燃料)	※1式	高	1F	○	26回		※炉心設計による	
	1. 燃料集合体	157体	高	1F	○	26回	燃料集合体炉内配置検査		
	2. 内挿物	※1式	高	1F	○	26回	燃料集合体炉内配置検査	※炉心設計による	
	(1) 制御棒クラスタ								
	(2) パーナブルポイズン								
	(3) フラキシングデハイス								
	(4) 2次中性子源								
	原子炉本体のうち炉心		1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	原子炉停止余裕検査 炉物理検査	定期事業者検査起動後 定期事業者検査起動後
	原子炉容器		1. 開放点検	高	13M	○	26回		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取扱設備】	燃料移送装置	1台	高	1F	○	26回	燃料取扱装置機能検査		
	燃料取扱クレーン	1台	1. 機能・性能試験 (リフト・フレーム)	1F	○	26回	燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)		
			2. 機能・性能試験	1F	○	26回			
			3. 簡易点検(点検手入)	13M	○	26回			
	燃料取扱エレベータ	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	燃料取扱装置機能検査	
			2. 機能・性能試験	高・低	1F	○	26回	燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	
			3. 簡易点検(点検手入)	13M	○	26回		先行実施	
	補助建屋クレーン	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	燃料取扱設備検査	
			2. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	
			3. 簡易点検(点検手入)	13M	○	26回		先行実施	
燃料取扱工具	3台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	燃料取扱設備検査		
		2. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)		
		3. 簡易点検(点検手入)	1Y	ー	R5.5~6		年次点検		
制御棒取換装置	1台	1. 外観点検	低	1F	○	26回	燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)	先行実施	
		1. 外観点検	高	1F	○	26回	燃料取扱設備検査(動作・インター ロック試験等)		
		1. 分解点検他	高	13M~169M	○	26回			
使用済燃料取扱工具	1台	1. 分解点検他	低	65M~169M	○	26回			
		1. 外観点検	低	B※	ー	25回	燃料取扱設備検査(使用済燃料取扱工 具)	※: 使用の都度(前)実施 先行実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (〇内は適用する設備診断技術)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】	使用済燃料ピット温度	1台	高	13M	○	26回	計測制御系監視機能検査		
	使用済燃料ピット水位	1台	高	13M	○	26回	計測制御系監視機能検査		
	可搬型使用済燃料ピット水位	2台	高	13M	○	26回	計測制御系監視機能検査		
	使用済燃料ピット温度 (AM用)	1台	高	13M	○	26回	プラント状態監視設備機能検査		
	使用済燃料ピット水位 (広域)	1台	高	13M	○	26回	プラント状態監視設備機能検査		
	使用済燃料ピットエリア監視カメラ	1台	高	13M	○	26回	一部先行実施		
	使用済燃料ピットエリア監視カメラ空冷装置	2台	高	13M	○	26回	可搬型重大事故等対処設備機能検査		
	使用済燃料ピット浄化冷却設備	1式	低	1F	○	26回	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査		
	A 燃料ピットポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 (ポンプ)	高	130M	—	25回	先行実施 (振動診断: 6M) (メカ測定: 1F)	
			2. 分解点検 (電動機)	高	130M	—	25回		
	B 燃料ピットポンプ・電動機		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	13M	○	26回	先行実施 (振動診断: 6M) (メカ測定: 1F)	
			1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	25回		
送水車	3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	26回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	先行実施	
		2. 外観点検	高	1Y	○	26回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	先行実施	
大容量ポンプ (放水用)	1台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	26回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	先行実施	
		2. 分解点検	高	10Y	—	—			
燃料ピットフィルタ		1. 開放点検	高	130M	—	25回	先行実施		
		2. 非破壊試験	低	195M	—	25回	先行実施		
A 燃料ピットクレー		1. 開放点検	高	195M	—	25回	1次系熱交換器検査	先行実施	
		2. 非破壊試験	低	195M	—	25回	1次系熱交換器検査	先行実施	
B 燃料ピットクレー		1. 開放点検	高	195M	—	25回	1次系熱交換器検査	先行実施	
		2. 非破壊試験	低	195M	—	25回	1次系熱交換器検査	先行実施	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】その他の弁	1式	1. 分解点検	高・低	104M~260M	○	26回	1次系弁検査	先行実施	
		2. 簡易点検 (グラントバットキーン取替)	高	130M~195M	○	26回	1次系弁検査	一部BMあり 一部先行実施 (振動診断: 6M) 燃料ピットスキマポンプ、燃料ピットスキマポンプ用電動機; 3M)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】その他の機器	1式	1. 分解点検他	高	130M	○	26回	1次系熱交換器検査	一部BMあり 一部先行実施 (振動診断: 6M) 燃料ピットスキマポンプ、燃料ピットスキマポンプ用電動機; 3M)	
		1. 分解点検他	低	13M~169M	○	26回	1次系熱交換器検査	一部BMあり 一部先行実施 (振動診断: 6M) 燃料ピットスキマポンプ、燃料ピットスキマポンプ用電動機; 3M)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取換用水設備】	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	25回	1次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 6M) B※: ポンプ又は電動機の分解点検にあわせて実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	24回			
		3. 分解点検 (電動機)	高	52M	—	25回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	13M	○	26回			
	B 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	26回	1次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 6M) B※: ポンプ又は電動機の分解点検にあわせて実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	26回			
		3. 分解点検 (電動機)	高	52M	—	25回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	13M	○	26回			
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設【燃料取換用水設備】その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	23回	1次系安全弁検査	
			2. 分解点検	高・低	39M~195M	—	26回	1次系安全弁検査	
			3. 簡易点検 (グラントバットキーン取替)	高	130M~195M	—	22回	1次系安全弁検査	
			1. 分解点検他	高	13M~195M	○	26回	1次系安全弁検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設【燃料取換用水設備】その他の機器	1式	1. 分解点検他	低	52M~169M	—	26回	1次系安全弁検査	一部BMあり	
		2. 分解点検	低	52M~169M	—	26回	1次系安全弁検査	一部BMあり	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)		
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A 蒸気発生器	伝熱管 3379本 1次側 2次側	高	26M	—	26回	蒸気発生器伝熱管体積検査			
		マンホール	高	13M	○	26回				
		B 蒸気発生器	1. 開放点検	高	13M	○	26回			
			2. 簡易点検 (スラッジラン シング)	高	13M	○	26回			
			1. 簡易点検 (ガスケット取 替他)	高	13M	○	26回			
			1. 非破壊試験	高	26M	—	26回	蒸気発生器伝熱管体積検査		
	C 蒸気発生器	伝熱管 3382本 1次側 2次側	高	13M	○	26回				
		マンホール	高	13M	○	26回				
		1. 開放点検	高	13M	○	26回				
		2. 簡易点検 (スラッジラン シング)	高	13M	○	26回				
		1. 簡易点検 (ガスケット取 替他)	高	13M	○	26回				
		1. 非破壊試験	高	26M	○	25回	蒸気発生器伝熱管体積検査			
	加圧器安全弁	3個	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	加圧器安全弁機能検査		
		加圧器逃がし弁	2. 漏えい試験	高	B	○	26回	加圧器安全弁漏えい検査		
			3. 分解点検	高	13M	○	26回	加圧器安全弁分解検査		
		加圧器逃がし弁	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	26回	加圧器逃がし弁機能検査		
			1. 漏えい試験	高	1F	○	26回	加圧器逃がし弁漏えい検査		
		加圧器逃がし弁駆動部	2. 分解点検	高	26M	—	26回	加圧器逃がし弁分解検査		
			1. 漏えい試験	高	1F	○	26回	加圧器逃がし弁漏えい検査		
		加圧器逃がし弁入口止弁	2. 分解点検	高	26M	—	26回	加圧器逃がし弁分解検査		
			1. 分解点検	高	13M	○	26回	加圧器逃がし弁元弁機能検査		
		加圧器逃がし弁入口止弁駆動部 A 冷却材ポンプ・電動機	2個	1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	130M	—	25回		
			2個	2. 簡易点検 (グラウンドパッキ ン取替)	高	65M	—	25回		
			3MOV-8000A	1. 分解点検	高	130M	—	25回		
3MOV-8000B	2. 簡易点検 (グラウンドパッキ ン取替)		高	65M	—	25回				
加圧器逃がし弁入口止弁駆動部 B 冷却材ポンプ・電動機	2個		1. 分解点検	高	156M	—	25回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	2. 機能・性能試験		高	1F	○	26回				
		2. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	23回				
		3. 分解点検 (メカニカル シール) (ポンプ)	高	13M	○	26回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分 解検査			
		4. 分解点検 (フライホイー ル) (電動機)	高	104M	—	26回				
		5. 分解点検 (軸受点検) (電動機)	高	52M	—	26回				
		6. 分解点検 (全分解) (電 動機)	高	104M	—	26回				
		7. 簡易点検 (潤滑油入替 他) (電動機)	高	13M	○	26回				



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(診断技術) 一部定期事業者検査起動後						
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	B冷却材ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	IF	○	26回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後						
		2.分解点検 (ポンプ)		130M	-	24回								
		3.分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)		13M	○	26回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査							
		4.分解点検 (フライホイール) (電動機)		104M	-	26回								
		5.分解点検 (軸受点検) (電動機)		52M	-	26回								
		6.分解点検 (全分解) (電動機)		104M	-	26回								
		7.簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)		13M	○	26回								
		1.機能・性能試験		高	IF	○	26回		1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後				
		2.分解点検 (ポンプ)			7V	-	25回							
		3.分解点検 (メカニカルシール) (ポンプ)			13M	○	26回		1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査					
		4.分解点検 (フライホイール) (電動機)			104M	-	26回							
		5.分解点検 (軸受点検) (電動機)			52M	-	26回							
		6.分解点検 (全分解) (電動機)			104M	-	26回							
		7.簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)			13M	○	26回							
1.開放点検	13M	○	26回											
2.簡易点検 (マンホールガスケッチ取替)	13M	○	26回											
1.機能・性能試験	高・低	B	-		25回	1次系弁検査	1次系弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査							
2.分解点検		26M~260M	○		26回									
3.簡易点検 (グラウンドバッドキ取替)		26M~195M	○		25回									
1.機能・性能試験		高・低	B		-	26回		1次系弁検査	1次系弁検査					
2.分解点検			13M~65M		○	26回								
3.簡易点検 (特性点検)			13M~65M	○	26回									
1.分解点検他			高	52M~195M	○	26回		1次系弁検査		1次系弁検査				
1.分解点検他				39M~195M	○	26回								
1.機能・性能試験				高	IF	○		26回			主蒸気安全弁機能検査	主蒸気安全弁機能検査 主蒸気安全弁漏えい検査		
2.漏えい試験					B	-		26回						
3.分解点検					26M	-		26回						
1.機能・性能試験					高	3MS-521A		高			○		26回	保全の有効性評価結果No.2の反映 一部BMあり
2.漏えい試験						3MS-521B					○		26回	
3.分解点検						3MS-521C					○		26回	
	3MS-522A					○	26回							
	3MS-522B					○	26回							
	3MS-522C					○	26回							
	3MS-523A	○				26回								
	3MS-523B	○				26回								
	3MS-523C	○				26回								
	3MS-524A	○	26回											
	3MS-524B	○	26回											
	3MS-524C	○	26回											
	3MS-524D	○	26回											
	3MS-524E	○	26回											

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)		
原子炉冷却系統施設 【主蒸気・主給水設備】	主蒸気安全弁	3MS-525A 3MS-525B 3MS-525C 3MS-526A 3MS-526B 3MS-526C 3MS-527A 3MS-527B 3MS-527C	高	IF B 26M	○ ○ ○	26回 25回 25回	主蒸気安全弁機能検査 主蒸気安全弁漏えい検査			
		主蒸気逃がし弁	3個	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 漏えい試験	高	IF B	○ ○	26回 26回	主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシロッキング熱輸送設備作動検査 主蒸気逃がし弁漏えい検査	
			主蒸気逃がし弁駆動部	3個	3. 分解点検	高	13M	○	26回	
	3個			1. 分解点検 1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 分解点検	高	13M IF	○ ○	26回 26回	主蒸気隔離弁機能検査	
	主蒸気隔離弁駆動部	3個	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高	26M 26M 13M	- ○ ○	26回 25回 26回	2次系弁検査		
		8個	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 分解点検	高	IF	○	26回	タービンバイパス弁機能検査		
	タービンバイパス弁駆動部	8個	1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性点検)	高	52M 52M 13M	- - ○	26回 26回 26回			
		1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	B 39M~195M	○ ○	26回 26回	2次系弁検査 2次系安全弁検査 2次系弁検査	先行実施	
	原子炉冷却系統施設【主蒸気・主給水設備】 【その他の弁】	1式	3. 簡易点検 (グラウンドバツキン取替)	高	65M~195M	○	26回			
			1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特性点検)	高	B 52M~156M 13M	- - ○	25回 25回 26回	2次系弁検査		
	原子炉冷却系統施設 【余熱除去設備】	原子炉冷却系統施設【主蒸気・主給水設備】 【その他の機器】	1式	高	13M~260M 39M~260M	○ ○	26回 26回		一部BMあり	
			A 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	高	B 130M	- -	25回 25回	1次系ポンプ機能検査 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断【電動機】: 1M) 保全の有効性評価結果No. 3の反映
3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)				高	130M 26M	- ○	25回 25回			
B 余熱除去ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	高	B 130M	- -	25回 25回	1次系ポンプ機能検査 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断【電動機】: 1M) 保全の有効性評価結果No. 3の反映		
		3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	130M 26M	- ○	24回 25回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	A 余熱除去クローラ	1. 開放点検	高	130M	-	25回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		130M	-	25回			
	B 余熱除去クローラ	1. 開放点検	高	130M	-	25回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験		130M	-	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査		
	低圧注入系主要弁	3V-8935A	1. 分解点検	高	130M	-	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-8935B	1. 分解点検	高	130M	-	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
	3V-8973A	1. 分解点検	高	130M	-	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		3V-8973B	1. 分解点検	高	130M	-	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	3V-8973C	1. 分解点検	高	130M	-	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		1式	1. 機能・性能試験	高	B	-	25回	1次系安全弁検査 1次系弁検査	
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その 他の弁	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その 1式	2. 分解点検		39M~195M	○	26回	1次系逆止弁検査 1次系弁検査		
		3. 簡易点検 (グラントバツ キン取替)		52M~195M	○	26回	1次系弁検査		
		1. 機能・性能試験	高	B	○	25回	1次系弁検査		
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その 1式	2. 分解点検		52M~156M	○	25回	1次系弁検査		
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M	○	26回	1次系弁検査		
		1. 分解点検他	高	78M~195M	-	26回			
	高圧及び低圧注入系 (余熱除去設備 (低圧注入機能) を含む)	1式	1. 機能・性能試験 (ポン プ、電動機、弁、弁駆動部 を含む)	高	1F	○	26回	非常用炉心冷却系機能検査 その他原子炉注水系機能検査	
			1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	-	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M)
	A 充てん/高圧注入ポンプ・電動機	1式	2. 分解点検 (電動機)		78M	-	25回		
			3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	26回		
4. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))				26M	○	25回			
1. 分解点検 (ポンプ)			高	117M	-	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M)	
2式		2. 分解点検 (電動機)		78M	-	25回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	26回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		26M	-	26回			
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	-	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M)	
C 充てん/高圧注入ポンプ・電動機		1式	2. 分解点検 (電動機)		78M	-	25回		
			3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	26回		
	4. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))			26M	○	26回			
	1. 分解点検 (ポンプ)		高	117M	-	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M)	



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系系統施設 [非常用炉心冷却設備]	蓄圧注入系主要弁	3V-8956A	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	( ) 内は適用する設備診断技術)	
		3V-8956B	高	130M	○	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
		3V-8956C	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査		
	蓄圧注入系主要弁駆動部	1式	3.簡易点検 (グラブドハットキーン取替)	高	65M	—	25回		
		1式	1.分解点検	高	156M	—	25回		
		A.アキユムレータ B.アキユムレータ C.アキユムレータ	1.開放点検	高	130M	—	24回		
	ほう酸注入タンク	1.開放点検	高	130M	○	22回			
		1.開放点検	高	130M	—	25回			
		1.外観点検	高	1F	○	26回			
	格納容器再循環サンプスクリュー	1.外観点検	高	10Y	—	25回			原子炉格納容器再循環サンプスクリュー検査
		1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	26回		1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査
		1式	2.分解点検 3.簡易点検 (グラブドハットキーン取替)	高・低	39M~260M 52M~195M	○ ○	26回 26回		
	原子炉冷却系系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	26回		1次系弁検査
		1式	2.分解点検 3.簡易点検 (特性点検)	高・低	52M~156M 52M	○ ○	26回 26回		
		1式	1.分解点検他	高	78M~195M	—	26回		(振動診断) 充てん/高圧注入ポンプ補助ポンプ用電動機 充てん/高圧注入ポンプ増速機 : 3M
その他原子炉注水系	1.分解点検他	低	13M~195M	○	26回		一部BMあり 一部先行実施 [対義設備]		
	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回		A,B低圧注入系 A,B高圧注入系 B高圧注入系 (海水冷却) A,B,C充てん系 C充てん系 (自己冷却)		
	1.機能・性能試験 (ポンプ・電動機含む)	高	1F	○	26回		その他原子炉注水系機能検査		
恒設代替低圧注入系	1台	1.武運転	高	26M	—	26回		(振動診断 : 1M)	
		2.分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	—		原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	
		3.分解点検 (電動機)	高	130M	—	—			
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	—	26回			
原子炉下部キャビティ注水ポンプ・電動機	1台	1.武運転	高	26M	○	—		(振動診断 : 1M)	
		2.分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	—		原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	
		3.分解点検 (電動機)	高	130M	—	—			
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	26M	○	—			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機 3台	1.機能・性能試験	高	1Y	○	26回	可搬式重大事故等対処設備機能検査	
		2.作動確認		3M	○	26回		
		3.分解点検 (ポンプ)		10Y	○	—		
		4.潤滑油補給 (電動機)		1Y	—	26回		
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	化学体積制御系 体積制御タンク 冷却材フィルタ 非再生クロー 1式	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	化学体積制御系機能検査	定期事業者検査起動後
		1.開放点検	高	130M	—	25回		
		1.開放点検 (ガスケット取替含む)	高	130M	—	25回		
		2.非破壊試験	高	130M	—	23回		
		1.機能・性能試験	高	B	○	26回	1次系熱交換器検査 1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	
		2.分解点検	高・低	13M~260M	○	26回		
		3.簡易点検 (グラウンドバツキン取替)		13M~195M	○	26回		
		1.機能・性能試験	高	B	○	26回	1次系弁検査	
		2.分解点検		52M~156M	○	26回		
		3.簡易点検 (特性点検)		13M~78M	○	26回		
		1.分解点検他	高	26M~195M	○	26回	一部先行実施	
		1.分解点検他	低	13M~195M	○	26回	一部先行実施 一部BMあり	
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	補助給水系 A 電動補助給水ポンプ・電動機 B 電動補助給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機、原動機、弁、弁駆動部等含む)	高	130M	—	25回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断: 1M) 保全の有効性評価結果No. 4の反映 (ポンプ)
		1.分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	25回		
		2.分解点検 (電動機)		13M	○	26回		
		3.簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		26M	○	25回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		130M	—	25回	補助給水系ポンプ分解検査	
		2.分解点検 (電動機)	高	78M	—	25回		
		3.簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		13M	○	26回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	—	26回		
		1.機能・性能試験	高	B	—	25回	2次系ポンプ機能検査	
		2.分解点検		52M	—	25回	補助給水系ポンプ分解検査	
		3.簡易点検 (潤滑油入替)		13M	○	26回		
		原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁	原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] 1式	1.機能・性能試験	高	B	—	
2.分解点検				52M~195M	○	26回		
3.簡易点検 (グラウンドバツキン取替)				195M	—	26回		
1.機能・性能試験	高			B	—	25回		
2.分解点検				52M	○	25回		
3.簡易点検 (特性点検)				13M	○	26回		
1.分解点検他	高			13M~260M	○	26回		
1.分解点検他	低			65M~195M	—	26回		
1.分解点検他								
1.分解点検他								
1.分解点検他								

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却設備】	原子炉補機冷却系	1.機能・性能試験 (弁駆動部等含む) 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	1F	○	26回	原子炉補機冷却系機能検査	( ) 内は適用する設備診断技術)
	A-1次系冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	B 78M 130M 13M	○ ○ - ○	25回 25回 25回 26回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M)
	B-1次系冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	B 78M 130M 13M	- - ○	25回 25回 26回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M)
	C-1次系冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	B 78M 130M 13M	- - ○	25回 25回 26回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M)
	D-1次系冷却水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	B 78M 130M 13M	- - ○	26回 26回 25回 26回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M)
	1次系冷却水タンク	1.開放点検	高	195M	-	25回		
	A-1次系冷却水クローラ	1.開放点検 2.非破壊試験	高	13M 39M	○ ○	26回 26回	1次系熱交換器検査	
	B-1次系冷却水クローラ	1.開放点検 2.非破壊試験	高	13M 39M	○ ○	26回 26回	1次系熱交換器検査	
	C-1次系冷却水クローラ	1.開放点検 2.非破壊試験	高	13M 39M	○ ○	26回 26回	1次系熱交換器検査	
	原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却水設備】その他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検	高・低	B 104M~260M	○ ○	25回 26回	1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系真空破断弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却水設備】その他の弁駆動部	3.簡易点検 (グラントドハッキン取替)	高・低	104M~195M	○	26回		
	原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却水設備】その他の機器	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (特性点検)	高・低	B 52M~156M 13M	- ○	25回 25回 26回	1次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却水設備】その他のAM (代替補機冷却、格納容器自然対流冷却) 機器	1.分解点検他	高	13M~234M	○	26回		
	大容量ポンプ	1.分解点検他	低	13M~195M	○	26回		一部BMあり
		1.機能・性能試験	高	1Y	○	26回	可搬型重大事故等対応設備機能検査	先行実施
	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	2.分解点検	高	10Y	-	26回		
		1.機能・性能試験	高	1F	○	26回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却海水設備】	原子炉補機冷却海水系 A 海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (弁駆動部含む)	高	1F	○	26回	原子炉補機冷却系機能検査	(振動診断「電動機」: 2M) 保全の有効性評価結果No. 6の反映 (ポンプ)
		1. 機能・性能試験	高	B	○	26回	2次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	○	26回	2次系ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)	高	52M	○	26回		
B 海水ポンプ・電動機		4. 簡易点検 (グラウンドバツキン取替) (ポンプ)	高	26M	○	26回		(振動診断「電動機」: 2M) 保全の有効性評価結果No. 6の反映 (ポンプ)
		1. 機能・性能試験	高	B	—	26回	2次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	26回	2次系ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)	高	52M	—	26回		
C 海水ポンプ・電動機		4. 簡易点検 (グラウンドバツキン取替) (ポンプ)	高	26M	○	26回		(振動診断「電動機」: 2M) 保全の有効性評価結果No. 6の反映 (ポンプ)
		1. 機能・性能試験	高	B	—	26回	2次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	26回	2次系ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)	高	52M	—	26回		
D 海水ポンプ・電動機		4. 簡易点検 (グラウンドバツキン取替) (ポンプ)	高	26M	○	26回		(振動診断「電動機」: 2M) 保全の有効性評価結果No. 6の反映 (ポンプ)
		1. 機能・性能試験	高	B	—	26回	2次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	26回	2次系ポンプ分解検査	
		3. 分解点検 (電動機)	高	52M	—	26回		
原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却海水設備】その他の弁	1式	4. 簡易点検 (グラウンドバツキン取替) (ポンプ)	高	26M	○	26回		保全の有効性評価結果No. 7の反映
		1. 機能・性能試験	高	B	—	25回	1次系弁検査	
		2. 分解点検	高・低	13M~130M	○	26回	1次系弁検査	
		1. 機能・性能試験	高	B	—	26回		
原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却海水設備】 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置 伝送器	1式	2. 分解点検	高	65M~156M	—	26回	1次系弁検査	
		1. 機能・性能試験	高	39M~65M	—	26回		
		2. 分解点検	高	39M~65M	—	26回		
		3. 簡易点検 (特性点検)	高	39M~65M	—	26回		
原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却海水設備】 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置 伝送器	2台	1. 分解点検他	高	13M~130M	○	26回		格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい 検出器機能検査
		1. 特性試験	低	13M	○	26回		
		1. 特性試験	低	13M	○	26回		
		2. 機能・性能試験	低	13M	○	26回		
計測制御系統施設【制御材】	※1式	1. 外観点検	高	1F	○	26回	制御棒クラスタ検査	※炉心設計による ※炉心設計による ※炉心設計による ※炉心設計による
		1. 外観点検	高	1F	○	26回	制御棒クラスタ検査	
		2. パーナバルボイスン	高	1F	○	26回	制御棒クラスタ検査	
		3. プラキニングデバイス	高	1F	○	26回	制御棒クラスタ検査	
原子炉冷却系統施設【原子炉補機冷却海水設備】	※1式	4. 2次中性子源	高	1F	○	26回	制御棒クラスタ検査	
		1. 外観点検	高	1F	○	26回		
		1. 外観点検	高	1F	○	26回		
		2. 機能・性能試験	高	1F	○	26回		



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)	
計測制御系統施設 【制御棒駆動装置】	制御棒クラスタ	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	制御棒駆動系機能検査	(振動診断：3M)	
	A 制御棒駆動装置MGセット・電動機	1.機能・性能試験	高	B	—	26回			
		2.分解点検 (発電機)		52M	—	25回			
		3.分解点検 (電動機)		52M	—	26回			
		4.簡易点検 (潤滑油入替)		13M	○	26回			
	B 制御棒駆動装置MGセット・電動機	1.機能・性能試験	高	B	—	26回			(振動診断：3M)
		2.分解点検 (発電機)		52M	—	25回			
		3.分解点検 (電動機)		52M	—	26回			
		4.簡易点検 (潤滑油入替)		13M	○	26回			
	A ほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B	—	26回		ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：4M)
		2.分解点検 (ポンプ)		39M	—	26回		ほう酸ポンプ分解検査	
		3.分解点検 (電動機)		52M	—	25回			
		4.簡易点検 (潤滑油入替)		13M	○	26回			
	B ほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B	—	25回		ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：4M)
		2.分解点検 (ポンプ)		39M	—	25回		ほう酸ポンプ分解検査	
3.分解点検 (電動機)			52M	—	25回				
4.簡易点検 (潤滑油入替)			13M	○	26回				
C ほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B	—	25回		ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：4M)	
	2.分解点検 (ポンプ)		39M	—	25回		ほう酸ポンプ分解検査		
	3.分解点検 (電動機)		52M	—	25回				
	4.簡易点検 (潤滑油入替)		13M	○	26回				
A-1 次系純水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B	—	25回		1次系ポンプ機能検査	(振動診断：6M)	
	2.分解点検 (ポンプ)		130M	—	25回				
	3.分解点検 (電動機)		39M	○	25回				
	4.簡易点検 (潤滑油入替)		13M	○	26回				
B-1 次系純水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B	—	25回		1次系ポンプ機能検査	(振動診断：6M)	
	2.分解点検 (ポンプ)		130M	—	23回				
	3.分解点検 (電動機)		39M	—	25回				
	4.簡易点検 (潤滑油入替)		13M	○	26回				
A ほう酸タンク	1.開放点検	高	130M	○	22回				
	1.開放点検	高	130M	○	22回				
	1.開放点検	高	130M	—	24回				
	1.開放点検	高	130M	—	25回				
計測制御系統施設【ほう酸注入機能を有する設備】その他の弁	1.分解点検	高・低	39M～260M	—	25回		1次系真空破壊弁検査		
				○			1次系逆止弁検査		
計測制御系統施設【ほう酸注入機能を有する設備】その他機器	2.簡易点検 (グラントバツキン取替)	高	195M	—	25回				
	1.分解点検他	高	65M～195M	○	25回				
	1.分解点検他	低	39M～195M	○	26回			一部BMあり	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （○内は適用する設備診断技術）	
計測制御系統施設 [工学的安全施設等の作動信号]	A TWS緩和設備	1. 1式	高	1F	○	26回	重大事故時安全停止回路機能検査		
	計器用空気圧縮機	2. 機能・性能試験		1F	○	26回	重大事故時安全停止回路機能検査		
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	A 計器用空気圧縮機・電動機	1. 機能・性能試験（電動機含む）	高	1F	○	26回	制御用空気圧縮系機能検査	（振動診断 [電動機] : 2M）	
		1. 分解点検他（圧縮機）		CBM	—	25回			
	B 計器用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検他（圧縮機）	高	13M	○	26回		（振動診断 [電動機] : 2M）	
		2. 分解点検（電動機）		CBM	—	25回			
	計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高	B	—	25回	1次系安全弁検査	保全の有効性評価結果No. 8の反映	
		2. 分解点検	高・低	52M~260M	○	26回	1次系逆止弁検査		
		3. 簡易点検（ブランドバッキン取替）	高	130M~195M	—	25回			
	計測制御系統施設 [制御用空気設備] 他機器	1. 分解点検他	高	13M~234M	○	26回		保全の有効性評価結果No. 9の反映	
		1. 分解点検他	低	104M~260M	—	26回			
	計測制御系統施設 [その他設備]	代書制御用空気供給設備	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	安全保護系機能検査	一部定期事業者検査起動後
1. 機能・性能試験				13M	○	26回	安全保護系設定値確認検査		
1. 原子炉保護系ロジック回路 2. 安全防護系ロジック回路 原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送線、設定器及び保護継電器 (1) 1次冷却材等計測装置 伝送器 設定器（保護継電器含む） (2) 核計測装置 設定器		1. 1式	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	安全保護系機能検査	一部定期事業者検査起動後
		33回路 26回路	1. 特性試験	高	13M	○	26回	安全保護系設定値確認検査	
2. 現場における重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 現場指示計 ・ 1次冷却材等計測装置 現場指示計 ・ 核計測装置 現場指示計 現場指示計		13個 2個	1. 特性試験	高	13M	○	26回	安全保護系設定値確認検査	一部定期事業者検査起動後
		78個 141個 20個	1. 特性試験	高	13M	○	26回	安全保護系設定値確認検査	
1. 事故時監視計器 2. 事故時燃料採取設備		2個 15個 7個 8個	1. 特性試験	高	13M	○	26回	フロント状態監視設備機能検査	一部定期事業者検査起動後
		1. 事故時監視計器 圧力監視計器 水位監視計器 流量監視計器 温度監視計器	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	フロント状態監視設備機能検査	
1. 制御棒制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系		1. 1式	1. 特性試験	高・低	13M	—	26回	計測制御系機能検査	一部定期事業者検査起動後
		1. 1式	1. 特性試験 2. 機能・性能試験	高・低	1F	○	26回	計測制御系機能検査	
1. 1次系計測制御装置 2. 2次系計測制御装置		2個 2個 8個 5個	1. 特性試験	高・低	13M	○	26回	計測制御系監視機能検査	一部定期事業者検査起動後
		1. 1式	1. 特性試験	高	13M	○	26回	核計装設備検査	
炉外核計装装置 中性子源領域計測装置 中間領域計測装置 出力領域計測装置 炉内計装装置	2個 2個 8個 5個	1. 機能・性能試験	高	13M	○	26回	核計装設備検査	一部定期事業者検査起動後	
	1. 1式	1. 特性試験	高	13M	○	26回	制御棒位置指示装置設定値検査		
制御棒位置指示装置	1. 1式	1. 非破壊試験	高	39M	—	25回	炉内計装用シンブルチェーン体積検査	安全保護系機能検査（バーミッシュシジック検査）	
	50本	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	安全保護系機能検査		
炉内計装用シンブルチェーン	3回路 3回路	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	安全保護系機能検査	安全保護系機能検査	
	1. 1式	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	安全保護系機能検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)	
計測制御系統施設 【その他設備】	総合インターロック 1. 原子炉トリップによるタービン、発電機トリップ検査 2. タービントリップによる原子炉、発電機トリップ検査 3. 発電機トリップによる原子炉、タービントリップ検査	1式	高	1F	○	26回	総合インターロック検査		
	中央制御室外原子炉停止装置補機操作回路計測制御系統施設【その他設備】その他の弁	1回路 1式	高	1F	○	26回	原子炉の停止制御回路健全性確認検査		
	計測制御系統施設【その他設備】その他の弁駆動部	1式	高	B 39M~195M 130M~195M	○	26回			
	計測制御系統施設【その他設備】その他の弁	1式	高	B 65M 65M	○	25回 25回 25回			
	計測制御系統施設【その他設備】その他機器	1式	高 低	13M~195M 13M~52M	○	26回 26回		一部先行実施 一部BMあり	
	恒設代替低圧注水ポンプ出口流量積算	1個	1. 特性試験	高	13M	○	26回	プラント状態監視設備機能検査	
	原子炉水位	1個	1. 特性試験	高	13M	○	26回	プラント状態監視設備機能検査	
	1次系冷却水タンク水位	2個	1. 特性試験	高	13M	○	26回	計測制御系監視設備機能検査	
	可搬型格納容器内水素濃度計測装置	2個	1. 特性試験	高	13M	○	26回	計測制御系監視設備機能検査	
	1次系冷却水タンク加圧ライン圧力	2個	1. 特性試験	高	13M	○	26回	計測制御系監視設備機能検査	
	格納容器スレイ積算流量	1個	1. 特性試験	高	13M	○	26回	プラント状態監視設備機能検査	
	原子炉格納容器水位	1対	1. 特性試験	高	1F	○	26回	プラント状態監視設備機能検査	
	原子炉下部キャビタイ水位	1対	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	プラント状態監視設備機能検査	
	原子炉下部キャビタイ注水ポンプ出口流量	1個	1. 特性試験	高	13M	○	26回	プラント状態監視設備機能検査	
	可搬型アニュラ管内水素濃度計測装置	2個	1. 特性試験	高	13M	○	26回	計測制御系監視設備機能検査	
	可搬型格納容器ガス試料圧縮装置	2台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	可搬型重大事故等対処設備機能検査	
	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (S A))	4個	1. 特性試験	高	13M	○	26回	計測制御系監視設備機能検査	
	廃棄物庫 (1, 2, 3号機共用) 蒸気発生器保管庫 (1, 2, 3号機共用) 放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備】その他機器 ガス圧縮機・電動機	4棟	1. 機能・性能試験 2. 外観点検	低	1W	○	26回	プラント運転中又は定期事業者検査停止中	
		2棟	1. 機能・性能試験 2. 外観点検	低	1W	○	26回	プラント運転中又は定期事業者検査停止中	
		1式	1. 分解点検他	低	130M	○	26回	一部BMあり 一部先行実施	
		2台	1. 機能・性能試験 2. 開放点検 (圧縮機) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油取替) (圧縮機)	低	1F 195M CBM 13M	○ ○ ○ ○	26回 25回 25回 26回	先行実施 (振動診断: 6M)	
	ガス減衰タンク入口圧力制御弁	4台	1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 分解点検	低	1F 130M	○ ○	26回 25回	気体廃棄物処理系機能検査	
	ガス減衰タンク入口圧力制御弁駆動部 水素再結合装置	4台 1台	1. 分解点検 2. 機能・性能試験	低	65M 1F	○ ○	25回 26回	定期事業者検査起動後	
	ほう酸回収装置	1基	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	低	13M~195M	○	26回	先行実施	
	廃液蒸発装置	1基	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	低	1F 13M~195M	○ ○	26回 26回	先行実施	
	A. ガス減衰タンクラブチャブチャブ B. ガス減衰タンクラブチャブチャブ C. ガス減衰タンクラブチャブチャブ D. ガス減衰タンクラブチャブチャブ	4棟 1棟 1棟 1棟	1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検	高 高 高 高	195M 195M 195M 195M	○ ○ ○ ○	25回 21回 21回 21回	先行実施 先行実施 先行実施 先行実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施 計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する 設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	A 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	○	25回	液体廃棄物処理系設備検査	(メカ測定：1F)
		2.分解点検 (ポンプ)		26M	○	25回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	18回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	26回		
	B 格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	26回	液体廃棄物処理系設備検査	(メカ測定：1F)
		2.分解点検 (ポンプ)		26M	—	26回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	15回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	26回		
	A 補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メカ測定：1F)
		2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	23回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	12回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	○	25回		
	B 補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メカ測定：1F)
		2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	24回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	15回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	○	25回		
	A サンプタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	14回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
		2.分解点検 (ポンプ)		260M	—	14回		
		3.分解点検 (電動機)		130M	—	25回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	○	25回		
B サンプタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2.分解点検 (ポンプ)		260M	—	14回			
	3.分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
	4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	○	25回			
A モニタータンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 [ポンプ]：12M (メカ測定：1F)	
	2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回			
	3.分解点検 (電動機)		CBM	—	11回			
	4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	○	25回			
B モニタータンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 [ポンプ]：12M) (メカ測定：1F)	
	2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回			
	3.分解点検 (電動機)		CBM	—	9回			
	4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	○	25回			
ホールドアップタンク循環ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：12M)	
	2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回			
	3.分解点検 (電動機)		78M	—	25回			
	4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	○	25回			
A ホールドアップタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 [ポンプ]：12M) (メカ測定：1F)	
	2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回			
	3.分解点検 (電動機)		CBM	—	9回			
	4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	○	25回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射線性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	B ホールドアップタブタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 [ポンプ] : 12M) (メカ測定 : 1F)
		2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	10回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回		
	A 格納容器サンプポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	
		2.分解点検		130M	—	24回		
		3.簡易点検 (メカ測定)		1F	○	26回		
		4.簡易点検 (サクションストレーナ清掃)		13M	○	26回		
	B 格納容器サンプポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	
		2.分解点検		130M	—	24回		
		3.簡易点検 (メカ測定)		1F	○	26回		
		4.簡易点検 (サクションストレーナ清掃)		13M	○	26回		
	A 薬品ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メカ測定 : 1F)
		2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	9回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	26回		
B 薬品ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メカ測定 : 1F)	
	2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回			
	3.分解点検 (電動機)		CBM	—	13回			
	4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	26回			
A 廃液給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 [ポンプ] : 12M) (メカ測定 : 1F)	
	2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回			
	3.分解点検 (電動機)		CBM	—	14回			
	4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	26回			
B 廃液給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 [ポンプ] : 12M) (メカ測定 : 1F)	
	2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回			
	3.分解点検 (電動機)		CBM	—	12回			
	4.簡易点検 (潤滑油入替 他) (ポンプ)		26M	—	26回			
C 廃液給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断 [ポンプ] : 12M) (メカ測定 : 1F)	
	2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回			
	3.分解点検 (電動機)		CBM	—	13回			
	4.簡易点検 (潤滑油入替 他) (ポンプ)		26M	—	26回			
A 循環ポンプ・電動機 (洗浄排水ろ過装置)	1.機能・性能試験	低	B	—	26回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2.分解点検 (ポンプ)		130M	—	26回			
	3.分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
	4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	26回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
放射線性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	B 循環ポンプ・電動機(洗浄排水ろ過装置)	1.機能・性能試験	低	B	—	26回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
		2.分解点検 (ポンプ)		130M	—	26回		
		3.分解点検 (電動機)		130M	—	25回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	26回		
	A 洗浄排水モニタタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 〔ポンプ〕 : 12M (メガ測定 : 1F)
		2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	23回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	15回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	—	26回		
	B 洗浄排水モニタタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 〔ポンプ〕 : 12M (メガ測定 : 1F)
		2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	—		
		4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	—	26回		
A 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 〔ポンプ〕 : 12M (メガ測定 : 1F)	
	2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	24回			
	3.分解点検 (電動機)		CBM	—	14回			
	4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	—	26回			
B 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 〔ポンプ〕 : 12M (メガ測定 : 1F)	
	2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回			
	3.分解点検 (電動機)		CBM	—	15回			
	4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		26M	—	26回			
A 補助建屋サンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	26回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2.分解点検 (ポンプ)		260M	—	26回			
	3.分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
	4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		B	—	25回			
B 補助建屋サンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2.分解点検 (ポンプ)		260M	—	14回			
	3.分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
	4.簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		B	—	14回			
酸液ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	260M	—	14回		先行実施	
	2.分解点検 (ポンプ)		1F	○	26回			
	3.簡易点検 (メガ測定)		B	—	25回			
	4.簡易点検 (ポンプ)		260M	—	25回			
固化建屋末ドレンタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2.分解点検 (ポンプ)		260M	—	25回			
	3.簡易点検 (メガ測定)		1F	○	25回			
	4.簡易点検 (ポンプ)		B	—	25回			
固化建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2.分解点検 (ポンプ)		260M	—	25回			
	3.簡易点検 (メガ測定)		1F	○	25回			
	4.簡易点検 (ポンプ)		B	—	25回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (〇内は適用する設備診断技術)
放射線性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	固化建屋ドレンピットポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (メカ測定) 3.簡易点検 (メカ測定)	低	B 260M	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
	A 固化建屋洗浄排水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (メカ測定)	低	B 260M	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
	B 固化建屋洗浄排水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (メカ測定)	低	B 260M	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
	第2 固体廃棄物処理建屋A サンプポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (メカ測定)	低	IF 195M	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
	第2 固体廃棄物処理建屋B サンプポンプ・電動機	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (メカ測定)	低	B 195M	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
	液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置 1式 又は自動警報装置	1.特性試験 2.機能・性能試験	低	IF 104M	—	25回	液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査	先行実施
	雑固体焼却設備	1.機能・性能試験 2.分解点検他	低	IF 13M~260M	○	25回	固体廃棄物処理系焼却炉機能検査	先行実施 (振動診断 [焼却炉排灰]、冷却ファン、焼却炉排灰用電動機、燃焼用送気補助用電動機、燃焼用送気補助用電動機、排ガス補助用電動機、排ガス補助用電動機] : 3M)
	アスファルト固化設備	1.機能・性能試験 2.分解点検他	低	IF 13M~260M	○	25回	液体廃棄物処理系アスファルト固化設備機能検査	先行実施 (振動診断 [固化建屋冷却水ポンプ用電動機] : 4M, [固化建屋冷却水ポンプ用電動機、固化建屋冷却水ポンプ用電動機] : 6M, [固化廃液受入タンクポンプ用電動機] : 2M, [固化蒸発器駆動装置用電動機] : 3M)
	廃樹脂処理装置	1.機能・性能試験 2.分解点検他	低	IF 13M~260M	○	26回	廃樹脂処理装置運転性能検査	先行実施 (振動診断 [冷却塔準備ポンプ、冷却塔循環ポンプ用電動機、補機冷却水ポンプ、補機冷却水ポンプ用電動機] : 2M)
	雑固体溶融炉	1.機能・性能試験 2.分解点検他	低	IF 13M~260M	○	26回	固体廃棄物処理系溶融炉運転性能検査	先行実施 (振動診断 [排ガスポンプ、排ガスポンプ用電動機、冷却室排気ファン、冷却室排気ファン用電動機、排ガス補助用電動機、排ガス補助用電動機] : 3M, [空調冷却水ポンプ用電動機] : 2M)
	放射性廃棄物の廃棄施設【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】その他の弁	1.機能・性能試験 2.分解点検	高・低	B 39M~260M	—	25回	1 次系安全弁検査 1 次系弁検査	
	放射性廃棄物の廃棄施設【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】その他の弁駆動部	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (特許点検)	高・低	52M~65M 65M	○	24回 25回	1 次系真空破壊弁検査 1 次系逆止弁検査 1 次系弁検査	一部先行実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)
放射線廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	放射線廃棄物の廃棄施設【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】その他機器	1.分解点検他 1.分解点検他	高 低	13M~195M 13M~260M	○ ○	26回 26回	流体中の放射性廃棄物の漏えいの検出 装置及び警報装置機能検査 流体中の放射性廃棄物の漏えいの検出 装置及び警報装置機能検査(最終の流入サンパ)	一部先行実施 一部BMあり 一部先行実施 先行実施
	流体中の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置	1.特性試験	低	13M	○	26回	流体中の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 流体中の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査(最終の流入サンパ)	先行実施
放射線廃棄物の廃棄施設 【原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置】	放射線廃棄物の廃棄施設【原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置】その他の機器	1.特性試験 2.機能・性能試験	低	13M 1F	○ ○	26回 26回		
	格納容器内高レベルエアモニタ	1.特性試験 2.機能・性能試験	高 低	13M 1F	○ ○	26回 26回	エアモニタ機能検査	
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	格納容器じんあいモニタ	1.特性試験 2.特性試験	高 低	13M 1F	○ ○	26回 26回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器ガスモニタ	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	補助建屋排気筒ガスモニタ	1.機能・性能試験 2.特性試験	高	1F	○	26回	放射線監視装置機能検査	
	復水器空気抽出器ガスモニタ	1.機能・性能試験 2.特性試験	高	1F	○	26回	放射線監視装置機能検査	
	1次系補機冷却水モニタ	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	
	廃棄物処理設備排水モニタ	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	蒸気発生器ブロウダウン水モニタ	1.機能・性能試験 2.特性試験	高	1F	○	26回	放射線監視装置機能検査	
	放水口水モニタ	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	格納容器排気筒ガスモニタ	1.機能・性能試験 2.特性試験	高	1F	○	26回	放射線監視装置機能検査	
	補助蒸気復水モニタ	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	
	タービンサンプ水モニタ	1.機能・性能試験 2.特性試験	低	1F	○	26回	放射線監視装置機能検査	
	水素再結合装置ガスモニタ	1.特性試験	低	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	
	水素再結合装置循環ガスモニタ	1.特性試験	低	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	
	冷却材凍結モニタ	1.特性試験	低	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	
	A高感度型主蒸気管モニタ	1.特性試験	高	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(診断技術)
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	B高感度型主蒸気管モニタ	3R-66	高	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	C高感度型主蒸気管モニタ	3R-67	高	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	格納容器排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)	3R-80A	高	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)	3R-80B	高	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)	3R-81A	高	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)	3R-81B	高	13M	○	26回	放射線監視装置機能検査	
	A主蒸気管モニタ	3R-87	1. 特性試験	高	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	B主蒸気管モニタ	3R-88	1. 特性試験	高	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	C主蒸気管モニタ	3R-89	1. 特性試験	高	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	固化建屋排気ガスモニタ	RA-11	1. 機能・性能試験	低	1F	○	放射線監視装置機能検査	先行実施
			2. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	固化装置オフガスモニタ	RA-12	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	雑固体焼却炉排ガスモニタ	RA-13	1. 機能・性能試験	低	1F	○	放射線監視装置機能検査	
			2. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	雑固体焼却炉排ガスモニタ	RA-14	1. 機能・性能試験	低	1F	○	放射線監視装置機能検査	
			2. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	第2 固体廃棄物処理建屋排ガスモニタ	RA-31	1. 機能・性能試験	低	1F	○	放射線監視装置機能検査	先行実施
			2. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	第2 固体廃棄物処理建屋排ガスモニタ	RA-32	1. 機能・性能試験	低	1F	○	放射線監視装置機能検査	先行実施
			2. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	第2 固体廃棄物処理建屋補機冷却水モニタ	RA-33	1. 機能・性能試験	低	1F	○	放射線監視装置機能検査	先行実施
			2. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	中央制御室エリアモニタ	3R-1	1. 機能・性能試験	低	1F	○	放射線監視装置機能検査	中央制御室非常用循環系機能検査
			2. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	格納容器入口エリアモニタ	3R-2	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	放射化学室エリアモニタ	3R-3	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	充てんポンプ運転室エリアモニタ	3R-4	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット区域エリアモニタ	3R-5	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	サンブル室エリアモニタ	3R-6	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	炉内計装区域エリアモニタ	3R-7	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	ドラム貯留室エリアモニタ	3R-8	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	ガス圧縮装置エリアモニタ	3R-51	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料輸送容器保管区域エリアモニタ	RC-1	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	
固化建屋制御室エリアモニタ	RA-1	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
充填操作室エリアモニタ	RA-2	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
焼却処理室エリアモニタ	RA-3	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査		
第2 固体廃棄物処理建屋分別室エリアモニタ	RA-5	1. 特性試験	低	13M	○	放射線監視装置機能検査	先行実施	



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 【換気設備】	B 格納容器循環冷暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	高	1F 52M	○ -	26回 25回	1次系換気空調設備検査	
	C 格納容器循環冷暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	高	1F 52M	○ -	26回 25回	1次系換気空調設備検査	
	A 補助建屋送気冷暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 52M	○ -	26回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	B 補助建屋送気冷暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 52M	○ -	26回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	A 制御建屋冷暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	高	1F 52M	○ -	26回 25回	1次系換気空調設備検査	
	B 制御建屋冷暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	高	1F 52M	○ -	26回 26回	1次系換気空調設備検査	
	A 補助建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 52M	○ -	26回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	B 補助建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 52M	○ -	26回 26回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	出入管理室フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 52M	○ -	26回 25回	1次系換気空調設備検査	
	ホット保修室排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 52M	○ -	26回 26回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	ベアラ排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 52M	○ -	26回 26回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	A 固化建屋暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	B 固化建屋暖房ユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	A 固化建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	B 固化建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	第2 固体廃棄物処理建屋給気フィルタユニット	1.機能・性能試験 2.開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 [換気設備]	第2個体廃棄物処理建屋排気ファンユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2.開放点検		52M	—	25回			
		1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査		
	A格納容器循環ファン・電動機	2.分解点検 (ファン)			39M	—	26回		
		3.分解点検 (電動機)			39M	—	26回		
		1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査		
	B格納容器循環ファン・電動機	2.分解点検 (ファン)			39M	○	25回		
		3.分解点検 (電動機)			39M	○	25回		
		1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査		
	C格納容器循環ファン・電動機	2.分解点検 (ファン)			39M	○	25回		
		3.分解点検 (電動機)			39M	○	25回		
		1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査		
	A格納容器浄化ファン・電動機	3.分解点検 (電動機)			39M	—	25回		
		1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査		
		2.分解点検 (ファン)			104M	—	25回		
	B格納容器浄化ファン・電動機	3.分解点検 (電動機)			104M	—	25回		
		1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査		
		2.分解点検 (ファン)			104M	—	25回		
	A格納容器送気ファン・電動機	3.分解点検 (電動機)			104M	—	25回		
		1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 3M) (メカ測定: 1F)	
		2.分解点検 (ファン)			130M	○	22回		
	B格納容器送気ファン・電動機	3.分解点検 (電動機)			CBM	—	25回		
		1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 3M) (メカ測定: 1F)	
		2.分解点検 (ファン)			130M	—	25回		
A格納容器非気ファン・電動機	3.分解点検 (電動機)			CBM	—	25回			
	1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施		
	2.分解点検 (ファン)			130M	—	26回			
B格納容器非気ファン・電動機	3.分解点検 (電動機)			78M	○	25回			
	1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施		
	2.分解点検 (ファン)			130M	—	25回			
Aエアユース循環ファン・電動機	3.分解点検 (電動機)			78M	○	25回			
	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査			
	2.分解点検 (ファン)			104M	—	25回			
Bエアユース循環ファン・電動機	3.分解点検 (電動機)			156M	—	25回			
	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査			
	2.分解点検 (ファン)			104M	—	25回			
A補助建屋送気ファン・電動機	3.分解点検 (電動機)			156M	—	25回			
	1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 3M) (メカ測定: 1F)		
	2.分解点検 (ファン)			78M	—	25回			
B補助建屋送気ファン・電動機	3.分解点検 (電動機)			CBM	—	25回			
	1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 3M) (メカ測定: 1F)		
	2.分解点検 (ファン)			78M	—	26回			
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	25回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	A補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断:3M) (メカ測定:1F)
		2.分解点検 (ファン)		104M	-	25回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	-	25回		
	B補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断:3M) (メカ測定:1F)
		2.分解点検 (ファン)		104M	-	25回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	-	25回		
	C補助建屋排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断:3M) (メカ測定:1F)
		2.分解点検 (ファン)		104M	-	25回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	-	25回		
	A制御建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検 (ファン)		78M	-	25回		
		3.分解点検 (電動機)		52M	-	25回		
	B制御建屋送気ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検 (ファン)		78M	-	25回		
		3.分解点検 (電動機)		52M	-	25回		
	A制御建屋循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検 (ファン)		156M	-	22回		
		3.分解点検 (電動機)		52M	○	25回		
	B制御建屋循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検 (ファン)		156M	-	25回		
		3.分解点検 (電動機)		52M	-	25回		
	A補助建屋よう素除去排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	
		2.分解点検 (ファン)		130M	-	25回		
		3.分解点検 (電動機)		52M	-	25回		
B補助建屋よう素除去排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査		
	2.分解点検 (ファン)		130M	-	25回			
	3.分解点検 (電動機)		52M	-	25回			
A中央制御室非常用循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査		
	2.分解点検 (ファン)		130M	-	25回			
	3.分解点検 (電動機)		52M	-	25回			
B中央制御室非常用循環ファン・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査		
	2.分解点検 (ファン)		130M	-	23回			
	3.分解点検 (電動機)		156M	-	21回			
A出入管理室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査		
	2.分解点検 (ファン)		130M	-	26回			
	3.分解点検 (電動機)		52M	-	25回			
B出入管理室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査		
	2.分解点検 (ファン)		130M	-	25回			
	3.分解点検 (電動機)		52M	-	25回			
ホット保修室排気ファン・電動機	1.機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (メカ測定:1F)	
	2.分解点検 (ファン)		130M	-	26回			
	3.分解点検 (電動機)		CBM	-	9回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 [換気設備]	ベーパー排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	26回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2. 分解点検 (ファン)		130M	—	26回			
		3. 分解点検 (電動機)		156M	—	25回		先行実施	
	A 固化建屋送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	※		1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M) ※ 1号機設備として 第24回保全サイクルに実施
		2. 分解点検 (ファン)		CBM	—				
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		先行実施 (振動診断: 4M) (メガ測定: 1F)	
	B 固化建屋送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	※		1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M) ※ 1号機設備として 第21回定検時に実施
		2. 分解点検 (ファン)		CBM	—				
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		先行実施 (振動診断: 4M) (メガ測定: 1F)	
	A 固化建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	※		1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M) ※ 1号機設備として 第23回定検時に実施
		2. 分解点検 (ファン)		CBM	—				
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		先行実施 (振動診断: 4M) (メガ測定: 1F)	
B 固化建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	※		1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M) ※ 1号機設備として 第23回定検時に実施	
	2. 分解点検 (ファン)		CBM	—					
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		先行実施 (振動診断: 4M) (メガ測定: 1F)		
第2 固体廃棄物処理建屋 A 給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	※		1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M) ※ 1号機設備として 第2回定検時に実施	
	2. 分解点検 (ファン)		CBM	—					
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		先行実施 (振動診断: 4M) (メガ測定: 1F)		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 【換気設備】	第2 固体廃棄物処理建屋B 給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：【電動機】2M)	
		2. 分解点検		78M	—	25回			
		3. 分解点検		78M	—	25回			
		1. 機能・性能試験		1F	○	26回	1 次系換気空調設備検査		
		2. 分解点検		78M	—	25回			
		3. 分解点検		78M	—	25回			
	第2 固体廃棄物処理建屋A 排気ファン・電動機	第2 固体廃棄物処理建屋B 排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：【電動機】2M)
			2. 分解点検		78M	—	25回		
			3. 分解点検		78M	—	25回		
			1. 機能・性能試験		78M	—	25回		
			2. 分解点検		78M	—	25回		
			3. 分解点検		78M	—	25回		
	換気空調設備のファン	自動ダンパ	1. 簡易点検	高・低	13M~91M	○	26回	1 次系換気空調設備検査	一部先行実施
			2. 分解点検		1F	○	26回		
			1. 機能・性能試験		13M~130M	○	26回		
			2. 分解点検		130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
			1. 分解点検		130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
			1. 分解点検		130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
			1. 分解点検		130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
			1. 分解点検		130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
1. 分解点検			130M		—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
1. 分解点検			130M		—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
1. 分解点検			130M		—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
1. 分解点検			130M		—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
1. 分解点検			130M		—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
1. 分解点検			130M		—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
放射線管理施設【換気設備】その他の弁	1式	1. 分解点検	高・低	104M~280M	○	26回	1 次系弁検査		
		2. 簡易点検		195M	○	26回			
放射線管理施設【換気設備】その他機器	1式	1. 分解点検	高	13M~260M	○	26回		一部先行実施 (振動診断【固定化装置からの排気ファン用電動機】：4M)	
		1. 分解点検		13M~260M	○	26回			
緊急時対策所非常用空気浄化ファン	2台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	26回			
緊急時対策所非常用空気浄化ファンユニット	2台	1. 機能・性能試験(よう素フィルタ性能検査)	高	1Y	○	26回	可搬型換気空調設備検査	先行実施	
放射線管理施設【生体遮蔽装置】	中央制御室遮蔽	1. 漏えい試験	高	6Y	—	25回	中央制御室の居住性確認検査		
放射線管理施設【生体遮蔽装置】	緊急時対策所	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回	緊急時対策所の居住性確認検査	先行実施	





機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
原子炉格納容器 【原子炉格納容器】	原子炉格納容器隔離弁	3A0V-8025	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-8026	高	104M	—	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9157	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9159A	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9159B	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3LCV-1003	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-8028	高	130M	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-8033	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9160A	高	130M	—	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9160B	高	130M	—	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9170	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9832A	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9832B	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5000	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5001	高	52M	—	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5002	高	52M	—	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5003	高	52M	—	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5004A	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5004B	高	78M	—	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5005	高	52M	—	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5018A	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5018B	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5018C	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5019	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709A	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709B	高	130M	—	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709C	高	130M	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709D	高	130M	—	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709E	高	130M	—	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6710A	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6710B	高	130M	—	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6710C	高	130M	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6710D	高	130M	—	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6710E	高	130M	—	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-6752	高	130M	—	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-6753	高	130M	—	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-6756A	高	130M	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-6756B	高	130M	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-6757A	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-6757B	高	130M	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3A0V-6758A	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3A0V-6758B	高	130M	○	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器隔離弁	3A0V-5502A	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5502B	高	104M	○	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5502C	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5505A	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5505B	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5505C	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3M0V-6931	高	130M	—	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3M0V-6200	高	130M	—	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3M0V-6201	高	130M	—	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3M0V-6203	高	130M	—	26回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
	原子炉格納容器隔離弁駆動部	3A0V-6746	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-6747	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		1式	高	39M~130M	○	26回		
		1式	高	52M~156M	○	26回		
		2.簡易点検 (特性点検)	高	13M~52M	○	26回		
		5個	高	1F	○	26回	原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査	
		3D-6707A	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6707B	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6707C	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6707D	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
原子炉格納施設 [原子炉格納容器] の弁	3D-6707E	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	1式	低	B	—	25回	1次系安全弁検査		
原子炉格納施設 [原子炉格納容器] の機器	1式	高・低	39M~234M	○	25回		一部BMあり	
	1式	低	195M	—	26回			
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	原子炉格納容器スプレイ系	1.機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	26回	原子炉格納容器安全系機能検査	[対象設備] A・B内部スプレポンプによる代替炉心注入系  (振動診断：[電動機] 1M)
		2.機能・性能試験 (状態監視含む)	高	1F	○	26回	その他原子炉注水系統機能検査	
		1.分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		2.分解点検 (電動機)	高	130M	—	25回		
		3.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	26M	○	25回		
		1.分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		2.分解点検 (電動機)	高	130M	—	25回		
		3.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	26M	—	26回		
		1.分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	
		2.分解点検 (電動機)	高	130M	—	25回		
3.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)	高	26M	○	25回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術 (振動診断: [電動機] 1M)	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	D)内部スプレポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査		
		2. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	—	26回			
		A)内部スプレクーラ	1. 開放点検 (電動機)	高	195M	—	25回		
			2. 非破壊試験	高	195M	—	25回	1次系熱交換器検査	
			1. 開放点検	高	195M	—	25回	1次系熱交換器検査	
		B)内部スプレクーラ	1. 開放点検	高	195M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
			2. 非破壊試験	高	195M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
			1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		原子炉格納容器スプレレイ系主要弁	3MOV-6405A	1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査
	3MOV-6405B		1. 分解点検	高	130M	—	23回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	3MOV-6417A		1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	原子炉格納容器スプレレイ系主要弁駆動部	3MOV-6417B	1. 分解点検	高	130M	—	24回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		1式	1. 分解点検	高	156M	—	25回		
		1式	1. 開放点検 1. 機能・性能試験	高	195M B	— —	25回 25回	1次系安全弁検査 1次系弁検査	保全の有効性評価結果No.10の反映
	よう素除去薬品タンク 原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁	1式	2. 分解点検	高・低	39M~260M	— ○	26回 26回	1次系真空破壊弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	保全の有効性評価結果No.10の反映
		1式	3. 簡易点検 (グラランドバツキン取替)	高	65M~195M	○	26回		保全の有効性評価結果No.10の反映
		1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	22回	1次系弁検査	
	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の機器	1式	1. 分解点検	高	156M	—	22回		
		1式	1. 分解点検	高	78M~195M	—	26回		
5個		1. 機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		
静的触媒式水素再結合装置	13個	2. 外観点検 (触媒プレート)		5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査		
		3. 外観点検 (本体)		1F	○	26回			
		1. 外観点検	高	1F	○	26回			
原子炉格納容器水素燃焼装置	13個	2. 絶縁抵抗測定		1F	○	26回			
		3. 抵抗測定		1F	○	26回			
		4. 機能・性能試験 (シムケンス試験)		1F	○	26回			
動的触媒式水素再結合装置 温度監視装置	1. 特性試験	1. 特性試験	高	13M	○	26回	計測制御系監視機能検査		
		1. 特性試験	高	13M	○	26回	計測制御系監視機能検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
原子力設備 【その他設備】	クラス1機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス1・2機器供用期間中検査対象含む)	1.非破壊試験	高	7Y	○	26回	クラス1機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 【別表-1】	
		2.漏えい試験		1F	○	26回	クラス1機器供用期間中検査		
	クラス2機器 (供用期間中検査対象) (重大事故等クラス1・2機器供用期間中検査対象含む)	1.非破壊試験	高	10Y	○	25回	クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 【別表-2】	
		2.漏えい試験		10Y	○	26回	クラス2機器供用期間中検査		
	クラス3機器 (供用期間中検査対象)	1.非破壊試験	高	10Y	○	26回	クラス3機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 【別表-3】	
		2.漏えい試験		10Y	-	26回	クラス3機器供用期間中検査		
	クラス1機器Ni基金金使用部位 (重大事故等クラス1・2機器供用期間中検査対象含む)	1.非破壊試験	高	3.5Y	-	26回	供用期間中特別検査のうちクラス1機器Ni基金金使用部位特別検査	ISIプログラムによる。 【別表-4】	
		1.非破壊試験	高	25%/10Y	-	26回	供用期間中特別検査のうちクラス2管(原子炉格納容器内)特別検査		
	蒸気発生器管台溶接部 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1.非破壊試験	高	7Y	○	-	供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査	ISIプログラムによる。 【別表-1】	
		1.外観点検	高・低	100%/10Y	-	26回	構造健全性検査		
	RCPBのベント・ドレン弁の閉止栓	1式	1.漏えい検査	高	1F	○	26回	構造健全性検査	排気筒については65Mで実施
	レストレイント	1式	1.外観点検	高	100%/10Y	○	25回	レストレイント検査	
	原子力設備【その他設備】 その他の弁	1式	1.機能・性能試験	低	B	-	25回	1次系安全弁検査	
			2.分解点検	高・低	130M~195M	-	25回	1次系逆止弁検査	
			3.簡易点検 (グラブドハットキレン取替)	高	195M	-	22回		
	原子力設備【その他設備】 その他機器	1式	1.分解点検他	高・低	13M~234M	○	26回	一部BMあり	ISIプログラムによる。 【別表-8】
			1.非破壊試験	高	10Y	○	26回	重大事故等クラス2機器供用期間中検査	
	重大事故等クラス2機器	1式	2.漏えい試験	高	10Y	○	-	重大事故等クラス2機器供用期間中検査	先行実施 ISIプログラムによる。 【別表-9】
			1.漏えい試験	高	10Y	○	26回	重大事故等クラス3機器供用期間中検査	
	重大事故等クラス3機器	1式	1.非破壊試験	高	100%/1F	○	26回	供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査	ISIプログラムによる。 【別表-10】
1.外観点検			高	100%/10Y	○	26回	耐震健全性検査		
耐震クラスS、Bに属する支持構造物	1式	1.外観点検	高	100%/10Y	○	26回	クラス1, 2, 3機器供用期間中検査の対象範囲を除く		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
蒸気タービン [車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	高圧タービン	1. 開放点検 2. 組立状況点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	39M B 13M	— — —	26回 26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	保全の有効性評価結果No.12の反映
	第1 低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	39M 1F 13M	○ ○ —	25回 26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	開放点検実施時は開放点検内で実施 保全の有効性評価結果No.12の反映
	第2 低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	39M 1F 13M	— ○ ○	26回 26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	開放点検実施時は開放点検内で実施 保全の有効性評価結果No.12の反映
	第3 低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	39M 1F 13M	— ○ ○	25回 26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	開放点検実施時は開放点検内で実施 保全の有効性評価結果No.12の反映
	ロータライメント	1. 組立状況点検	高	B※	○	26回	蒸気タービン開放検査	※タービンの開放時期に合わせて実施
蒸気タービン [調速装置および非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	調速装置および非常調速装置 No. 1 主蒸気止め弁	1. 外観点検 1. 開放点検 2. 組立状況点検	高 高	13M 13M	○ ○	26回 26回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	No. 2 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査	
	No. 3 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査	
	No. 4 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査	
	No. 1 蒸気加減弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査	
	No. 2 蒸気加減弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査	
	No. 3 蒸気加減弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査	
	No. 4 蒸気加減弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査	
	1A 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査	
	1B 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査	
	2A 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	—	26回	蒸気タービン開放検査	
	2B 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	—	26回	蒸気タービン開放検査	
	3A 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査	
	3B 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	—	26回	蒸気タービン開放検査	
	1A インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	—	26回	蒸気タービン開放検査	
	1B インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査	
	2A インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	—	26回	蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン [調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁] 蒸気タービン [復水器]	2 B インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	—	26回	蒸気タービン開放検査		
	3 A インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査		
	3 B インターセプト弁	1. 開放点検	高	13M	○	26回	蒸気タービン開放検査		
	復水器	A 循環水ポンプ・電動機	2. 防汚塗装	高	13M	○	26回		
			1. 分解点検 (ポンプ)	高	26M	○	25回		
	B 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (電動機)	2. 簡易点検 (圧油導入装置点検) (ポンプ)	高	52M	—	25回		
			3. 簡易点検 (圧油導入装置点検) (ポンプ)	高	13M	○	26回		
	A 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	2. 分解点検 (電動機)	高	78M	—	26回		先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No.13の反映 (ポンプ)
			2. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	24回		
	蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器]	A 復水器真空ポンプシール水タンク	1. 開放点検	高	234M	—	26回	2次系容器検査	
			1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	25回		先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No.13の反映 (ポンプ)
		B 復水器真空ポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機)	1. 開放点検	高	CBM	—	25回	
2. 分解点検 (電動機)				高	CBM	—	25回		
B 復水器真空ポンプシール水タンク		1. 分解点検 (ポンプ)	1. 開放点検	高	234M	○	22回	2次系容器検査	
			2. 分解点検 (電動機)	高	78M	—	25回		先行実施 (振動診断: 6M) (メガ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No.13の反映 (ポンプ)
C 復水器真空ポンプ・電動機		2. 分解点検 (電動機)	1. 開放点検	高	CBM	—	25回		
			2. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	25回		
A 復水器真空ポンプシール水タンク		1. 分解点検 (ポンプ)	1. 開放点検	高	234M	—	25回	2次系容器検査	
			2. 分解点検 (電動機)	高	78M	—	25回		(振動診断 [電動機] : 3M)
B 復水器真空ポンプ・電動機		2. 分解点検 (電動機)	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	—	25回		
			2. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	25回		(振動診断 [電動機] : 3M)
C 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	1. 分解点検 (電動機)	高	78M	—	25回			
		2. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	25回		(振動診断 [電動機] : 3M)	
蒸気タービン [復水器] その他機器 1式	1式	1. 分解点検 (ポンプ)	高	78M	○	26回			
		2. 分解点検 (電動機)	高	CBM	—	25回			
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器]	A 湿分離加熱器	1. 分解点検 (他)	高	52M~260M	○	26回			
		1. 分解点検 (他)	低	13M~208M	○	26回		一部BMあり 保全の有効性評価結果No.14の反映	
	1 A 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	2. 開放点検 (胴側)	高	130M	—	26回	蒸気タービン開放検査	
			3. 漏えい試験	高	26M	—	26回	蒸気タービン開放検査	
	1 B 湿分離加熱器	4. 非破壊試験 (加熱管)	5. 非破壊試験 (シール溶接部)	高	130M	—	26回	蒸気タービン開放検査	
			5. 非破壊試験 (シール溶接部)	高	130M	—	26回	蒸気タービン開放検査	
	1 A 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	2. 開放点検 (胴側)	高	130M	○	23回	蒸気タービン開放検査	
			3. 漏えい試験	高	26M	○	25回	蒸気タービン開放検査	
	1 B 湿分離加熱器	4. 非破壊試験 (加熱管)	5. 非破壊試験 (シール溶接部)	高	130M	○	23回	蒸気タービン開放検査	
			5. 非破壊試験 (シール溶接部)	高	130M	○	23回	蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器]	2 A 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
		2. 開放点検 (胴側)						
		3. 漏えい試験						
		4. 非破壊試験 (加熱管)						
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)						
	2 B 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	-	23回	蒸気タービン開放検査	
		2. 開放点検 (胴側)						
		3. 漏えい試験						
		4. 非破壊試験 (加熱管)						
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)						
	3 A 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	-	22回	蒸気タービン開放検査	
		2. 開放点検 (胴側)						
		3. 漏えい試験						
		4. 非破壊試験 (加熱管)						
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)						
3 B 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	-	23回	蒸気タービン開放検査		
	2. 開放点検 (胴側)							
	3. 漏えい試験							
	4. 非破壊試験 (加熱管)							
	5. 非破壊試験 (シール溶接部)							
A 脱気器 B 脱気器 脱気器タンク 第 1 A 低圧給水加熱器 第 1 B 低圧給水加熱器 第 1 C 低圧給水加熱器 第 2 A 低圧給水加熱器 第 2 B 低圧給水加熱器	A 脱気器	1. 開放点検	高	39M	-	25回	蒸気タービン開放検査	
		2. 開放点検						
		3. 漏えい試験						
		4. 非破壊試験 (加熱管)						
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)						
	B 脱気器	1. 開放点検	高	39M	-	26回	2次系容器検査	
		2. 開放点検						
		3. 漏えい試験						
		4. 非破壊試験 (加熱管)						
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)						
	脱気器タンク	1. 開放点検	高	39M	-	26回	2次系容器検査	
		2. 開放点検						
		3. 漏えい試験						
		4. 非破壊試験 (加熱管)						
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)						
第 1 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	-	25回	2次系熱交換器検査		
	2. 開放点検							
	3. 漏えい試験							
	4. 非破壊試験 (加熱管)							
	5. 非破壊試験 (シール溶接部)							
第 1 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	-	25回	2次系熱交換器検査		
	2. 開放点検							
	3. 漏えい試験							
	4. 非破壊試験 (加熱管)							
	5. 非破壊試験 (シール溶接部)							
第 1 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	-	26回	2次系熱交換器検査		
	2. 開放点検							
	3. 漏えい試験							
	4. 非破壊試験 (加熱管)							
	5. 非破壊試験 (シール溶接部)							
第 2 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	-	24回	2次系熱交換器検査		
	2. 開放点検							
	3. 漏えい試験							
	4. 非破壊試験 (加熱管)							
	5. 非破壊試験 (シール溶接部)							
第 2 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	-	24回	2次系熱交換器検査		
	2. 開放点検							
	3. 漏えい試験							
	4. 非破壊試験 (加熱管)							
	5. 非破壊試験 (シール溶接部)							

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)		
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕	第2 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	24回	2次系熱交換器検査	( ) 内は適用する設備診断技術)		
		2. 漏えい試験		B	○	24回	2次系熱交換器検査			
		3. 非破壊試験		130M	—	24回	2次系熱交換器検査			
		第3 A 低圧給水加熱器		1. 開放点検	高	65M	—		25回	2次系熱交換器検査
				2. 漏えい試験		B	—		25回	2次系熱交換器検査
				3. 非破壊試験		130M	—		22回	2次系熱交換器検査
	第3 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	26回	2次系熱交換器検査			
		2. 漏えい試験		B	—	26回	2次系熱交換器検査			
		3. 非破壊試験		130M	—	23回	2次系熱交換器検査			
	第3 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	24回	2次系熱交換器検査			
		2. 漏えい試験		B	○	24回	2次系熱交換器検査			
		3. 非破壊試験		130M	—	24回	2次系熱交換器検査			
	第4 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	25回	2次系熱交換器検査			
		2. 漏えい試験		B	—	25回	2次系熱交換器検査			
		3. 非破壊試験		130M	—	25回	2次系熱交換器検査			
	第4 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	26回	2次系熱交換器検査			
		2. 漏えい試験		B	—	26回	2次系熱交換器検査			
		3. 非破壊試験		130M	—	26回	2次系熱交換器検査			
	第4 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	24回	2次系熱交換器検査			
		2. 漏えい試験		B	○	24回	2次系熱交換器検査			
		3. 非破壊試験		130M	—	24回	2次系熱交換器検査			
	第6 A 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	22回	2次系熱交換器検査			
		2. 漏えい試験		B	—	22回	2次系熱交換器検査			
		3. 非破壊試験 (加熱管)		130M	—	22回	2次系熱交換器検査			
4. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M		—	22回	2次系熱交換器検査				
第6 B 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	23回	2次系熱交換器検査				
	2. 漏えい試験		B	—	23回	2次系熱交換器検査				
	3. 非破壊試験 (加熱管)		130M	—	23回	2次系熱交換器検査				
グラウンド蒸気復水器	1. 開放点検	高	130M	—	23回	2次系熱交換器検査				
	2. 漏えい試験		B	—	23回	2次系熱交換器検査				
	3. 非破壊試験		130M	—	23回	2次系熱交換器検査				
	4. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	—	23回	2次系熱交換器検査				
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕 その 他機器	1式	1. 分解点検他	低	65M~130M	○	24回		一部先行実施		
		1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	26回	蒸気タービン附属設備機能検査	定期事業者検査起動後		
給水・復水・循環水系統 A 主給水ポンプ・電動機	1式	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	26回				
		2. 分解点検 (A 1 電動機)	高	52M	—	26回				
		3. 分解点検 (A 2 電動機)		52M	—	25回				
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	26回				



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	B 主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	25回		
		2. 分解点検 (B 1 電動機)		104M	—	25回		
		3. 分解点検 (B 2 電動機)		104M	—	25回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	26回		
	C 主給水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	25回		
		2. 分解点検 (C 1 電動機)		104M	—	25回		
		3. 分解点検 (C 2 電動機)		104M	—	25回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	26回		
	A 給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	26回		(振動診断 [電動機] : 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	21回		
	B 給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	25回		(振動診断 [電動機] : 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	24回		
	C 給水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	25回		(振動診断 [電動機] : 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	26回		
	A 復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	—	26回		(振動診断 : 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	26回		
	B 復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	—	25回		(振動診断 : 3M)
		2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M		○	26回			
C 復水ブースタポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	156M	—	25回		(振動診断 : 3M)	
	2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回			
	3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	26回			
A 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	65M	—	24回		2次系容器検査	
	1. 開放点検		65M	—	25回			
	1. 開放点検		65M	—	26回			
	1. 開放点検		65M	○	22回			
	1. 開放点検		65M	—	23回			
B 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	65M	—	25回		2次系容器検査	
	1. 開放点検		65M	—	25回			
	1. 開放点検		65M	—	26回			
	1. 開放点検		65M	○	22回			
	1. 開放点検		65M	—	23回			
C 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	65M	—	25回		2次系容器検査	
	1. 開放点検		65M	—	25回			
	1. 開放点検		65M	—	26回			
	1. 開放点検		65M	○	22回			
	1. 開放点検		65M	—	23回			
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備] その他機器	1. 分解点検他	低	13M~260M	○	26回		一部先行実施	
	1. 外観・目視点検		1F	○	26回			
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等]	2. 非破壊試験	高	肉厚管理指針による	○	26回		蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	1. 外観点検		100%/10Y	○	26回			
蒸気タービン [蒸気タービンに附属する管等] その他機器	2. 非破壊試験	高・低	肉厚管理指針による	○	26回		定期事業者検査起動後 2次系配管検査	
	1. 分解点検他		52M	○	26回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術
蒸気タービン [その他設備]	蒸気タービン本体、蒸気タービンの附属設備	1. 保安装置点検	高	IF	○	26回	蒸気タービン性能検査	プラント運転中及び定期事業者検査起動後
	蒸気タービン [その他設備] 1式	2. 負荷点検	高・低	B	-	26回	総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後
		1. 機能・性能試験					原子炉補機冷却系機能検査	
		2. 分解点検					1次系弁検査 1次系安全弁検査 2次系弁検査 2次系安全弁検査	
蒸気タービン [その他設備] 1式	蒸気タービン [その他設備] 1式	3. 簡易点検 (ブランドバッキン取替)	高	B	-	25回	2次系弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査	
		1. 機能・性能試験					1次系弁検査 2次系弁検査 原子炉補機冷却系機能検査	
		2. 分解点検						
蒸気タービン [その他設備] 1式	蒸気タービン [その他設備] 1式	3. 簡易点検 (特性点検)	高	52M~156M 13M	○	26回		一部先行実施 (振動診断 [強分離器ドレンポンプ用電動機、EHガバナ油ポンプ用電動機、循環水ポンプ用電動機、循環水ポンプ用電動機] ; 4M、[2次系冷却水ポンプ、2次系冷却水ポンプ用電動機、低圧ドレンポンプ用電動機] ; 3M)
		1. 分解点検他						
その他AM (格納容器内注水) 機器	1式	1. 分解点検他	低	13M~260M	○	26回		一部先行実施一部BMあり (振動診断 [復水処理装置置降液中和槽排液ポンプ、復水処理装置置降液中和槽排液ポンプ用電動機、再生用水ポンプ、再生用水ポンプ用電動機、復水脱塩塔循環ポンプ、逆洗用水ポンプ、原水ポンプ用電動機] ; 12M、[復水器水空気を抜くポンプ、補助蒸気復水器取水ポンプ] ; 6M、[循環水ポンプ、潤滑水ポンプ] ; 潤滑水ポンプ用電動機、雑用空気圧縮機用電動機] ; 2M、[油清浄器ポンプ、油清浄器ポンプ用電動機、復水器細管洗浄装置ポンプ循環ポンプ、油清浄器ポンプ用電動機、主油タンク用電動機、空気側密封ポンプ用電動機、水素側密封ポンプ用電動機、密封油ポンプ用電動機] ; 3M)

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期（定検回次）	検査名	備考 （〇内は適用する設備診断技術）
その相発電用原子炉の附属施設 〔補助ボイラー〕	補助ボイラー系統	1. 外観点検	低	B ※1	—	47回※2	補助ボイラー設備検査	※1 プラント運転中 補助ボイラー設備検査は、補助ボイラー開放検査に合わせて実施する。ただし、前回の点検後の運転時間が4000時間、かつ起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回次
	胴管寄せ及び管 安全弁 ボイラーに附属する給水設備 ボイラーに附属する熱交換器 ボイラーに附属する通風設備 ボイラーに附属する空気圧縮設備及びガス 圧縮設備 ボイラーに附属する管等油燃焼用機器	1. 性能試験	低	B ※1	—	47回※2	補助ボイラー性能検査	※1 プラント運転中 補助ボイラー性能検査は、補助ボイラー開放検査に合わせて実施する。ただし、前回の点検後の運転時間が4000時間、かつ起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回次
		2. 開放点検	10V※1	—	47回※2	補助ボイラー開放検査	※1 プラント運転中 補助ボイラー性能検査は、補助ボイラー開放検査に合わせて実施する。ただし、前回の点検後の運転時間が4000時間、又は起動回数が120回に達すると見込まれる時期までに定期事業者検査を実施する。 ※2 自主点検回次	
	燃料運搬設備に係る油の輸送管、燃料貯蔵設備に係る油タンク	3. 開放点検他	3V～20V	○	48回※1		プラント運転中 ※1 自主点検回次 (振動診断〔補助ボイラー給水ポンプ、補助ボイラー加圧ポンプ用電動機、補助ボイラー押込通風機用電動機〕：12M)	
		4. 簡易点検（ホース取替）	5V	○	47回※1		プラント運転中 ※1 自主点検回次	
	補助ボイラー集じん機 ばいり処理設備に附属する空気圧縮機、通風機、破砕機又は塵砕機 補助ボイラー附属設備その他の弁	1. 開放点検	2V～20V	○	47回※1		プラント運転中 ※1 自主点検回次 (振動診断〔補助ボイラー燃料ポンプ、補助ボイラー燃料ポンプ用電動機〕：12M)	
		1. 開放点検	10V～20V	低	—	38回※1	プラント運転中 ※1 自主点検回次	
	補助ボイラー附属設備その他機器	1. 機能・性能試験	B	低	—	47回※1	プラント運転中 ※1 自主点検回次	
		1. 分解点検	1V～10V	○	48回※1		プラント運転中 ※1 自主点検回次	
			1. 分解点検他	低	1V～20V	○	48回※1	プラント運転中 ※1 自主点検回次

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用電源設備]	ディーゼル発電機	2台	高	1F	○	26回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機定格容量検査) 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)		
	安全注入信号及び内部スプレ信号発信時にディーゼル発電機に電源を求める機器	33台	高	1F	○	26回	非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼル発電機の作動検査)		
	Aディーゼル発電機		高	52M	—	25回			
	Bディーゼル発電機		高	52M	○	25回			
	Aディーゼル機関		高	26M	○	25回			
	Aディーゼル機関のシリンダ (ピストン、ピストン接続棒、シム、クランク軸)	No.1	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.2	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.3	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.4	1. 分解点検	高	130M	○	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.5	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.6	1. 分解点検	高	130M	—	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
		No.7	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査	
	No.8	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	No.9	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	No.10	1. 分解点検	高	130M	○	23回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	No.11	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	No.12	1. 分解点検	高	130M	—	24回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関		高	26M	—	26回			
	Bディーゼル機関のシリンダ (ピストン、ピストン接続棒、シム、クランク軸)	No.1	1. 分解点検	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		No.2	1. 分解点検	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		No.3	1. 分解点検	130M	—	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		No.4	1. 分解点検	130M	—	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		No.5	1. 分解点検	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		No.6	1. 分解点検	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		No.7	1. 分解点検	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		No.8	1. 分解点検	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		No.9	1. 分解点検	130M	—	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		No.10	1. 分解点検	130M	—	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		No.11	1. 分解点検	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
		No.12	1. 分解点検	130M	—	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Aディーゼル機関の吸気弁	24個	高	26M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の吸気弁	24個	高	26M	—	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Aディーゼル機関の排気弁	24個	高	26M	○	25回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の排気弁	24個	高	26M	—	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Aディーゼル機関の燃料噴射弁	12個	高	13M	○	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査		
	Bディーゼル機関の燃料噴射弁	12個	高	13M	○	26回	非常用ディーゼル発電機分解検査		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用電源設備]	ディーゼル発電機附属設備	1. 機能・性能試験 2. 非破壊試験 3. 外観点検 4. 特牲試験 5. 分解点検 6. 開放点検 7. 漏えい試験	高 高・低 高 高 高 高	1F 13M~33M 1F 13M 26M~130M 13M~130M 13M~39M	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	26回 26回 26回 26回 26回 26回 26回	非常用予備発電機付属設備検査 非常用予備発電機付属設備検査 非常用予備発電機付属設備検査 非常用予備発電機付属設備検査 その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属設備検査	(振動診断 [燃料冷却水ポンプ、燃料弁冷却水ポンプ用電動機] ; LM ; [温床循環ポンプ、温床循環ポンプ用電動機、潤滑油ブライミングポンプ用電動機] ; 3M)
	空冷式非常用発電装置	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回		
	電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用)	2. 取替他		10Y	—	—		
	電源車 (緊急時対策用)	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回		
	電源車	1. 機能・性能試験	高	1F	○	26回		
	燃料油貯蔵タンク	1. 開放点検	高	10F	—	—		
	タンクローリー	1. 外観点検他	高	6M~1Y	—	26回		消防法に基づく点検
	その他発電用原子炉の附属施設 [非常用予備発電装置] 其他の弁	1. 分解点検	高・低	13M~130M	○	26回		
	その他発電用原子炉の附属施設 [非常用予備発電装置] 其他の機器	1. 分解点検他 1. 分解点検他	高 低	13M~195M 13M~260M	○ ○	26回 26回		一部BMあり
	直流通源装置蓄電池	1. 機能・性能試験 2. 機能 3. 簡易点検 (充電)	高	1F	○	26回		直流通源系作動検査 直流通源系機能検査
	直流通源装置蓄電池 (3系統目)	1. 機能・性能試験 2. 機能 3. 簡易点検 (充電)	高	1F	○	—		直流通源系機能検査 直流通源系機能検査
	計器用電源	1. 機能・性能試験 2. 特牲試験他	高	2回/Y 13M	○ ○	26回		直流通源系機能検査 インバータ機能検査
	SA監視用計器用電源	1. 機能・性能試験 2. 特牲試験他	高	1F 13M	○ ○	26回		インバータ機能検査
	可搬式整流器	1. 外観点検	高	1Y	—	26回		
	可搬型バッテリー (加圧器逃がし弁用)	2. 電圧測定 2. 電圧測定	高	1Y 1Y	○ ○	26回 26回		
その他発電用原子炉の附属施設 [其他の電源装置] 其他の機器	1. 分解点検他 1. 分解点検他	高 低	13M~273M 13M~208M	○ ○	26回 26回		直流通源系機能検査 一部BMあり	
発電機設備	1. 分解点検他	高	13M~104M	○	26回			
変圧器設備	1. 分解点検他	高	13M~78M	○	26回			
しゃ断器	1. 分解点検他	高	156M	—	25回			
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用電源設備] 其他の機器	1. 分解点検他	高	13M~364M	○	26回		(振動診断 [相分離母線冷却ファン電動機] ; 6M)	
その他発電用原子炉の附属施設 [非常用電源装置]	1. 分解点検他	低	13M~208M	○	26回		一部BMあり	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回の実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護設備]	電動消火ポンプ・電動機	1台	高	1Y 4Y	○ -	26回 25回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中 (振動診断 [電動機] : 1M)
	消火水ポンプ	2台	高	B※ 130M	- -	- -	火災防護設備検査	B※: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
	消火水タンク	8台	高	130M	-	-		
	煙等流入防止装置	1式	高	130M	-	-		
	オイルパン、ドレンパン (燃料取替用水ポンプ、充てん高圧注入ポンプ、ほう酸ポンプ、計器用コンプレッサ、チラーユニット、冷水ポンプ、1次系冷却水ポンプ他)	1式	低	10F	-	-		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	その他発電用原子炉の附属施設 [火災防護設備] その他機器	1式	高	1Y~130M	○	26回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	浸水防止蓋	1式	高	1M~130M	○	26回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	堰、浸水防止堰、伝播防止堰	1式	高	10Y	-	-		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	水密扉	1式	高	1F	○	26回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	潮位計	2台	高・低	1F	○	26回	計測制御系監視機能検査	
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護設備]	津波監視カメラ	2台	高	1F	○	26回	浸水防護設備検査	B※: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
	湧水サンプリング排水系統		低	B※	-	-		
	湧水サンプリングポンプ・電動機	1台	低	130M CBM	- -	- -		(メカ測定: 1F)
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他の弁	1式	低	B	-	-	浸水防護設備検査	
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他の弁駆動部	1式	低	B	-	-	浸水防護設備検査	
	その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設] その他機器	1式	高・低	156M 10Y	- -	- -		
	軽油用ドラム缶	32個	高	2Y	○	-		先行実施 プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	海水ポンプ室		高	1F	-	26回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	外部遮へい壁、内部コンクリート、原子炉格納施設基礎、原子炉補助建屋、取水構造物、タービン建屋 (タービン架台)		高・低	5Y	-	26回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
	原子炉建屋	1式	高・低	1F	○	26回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中
取水口設備	1式	高	1F	○	26回		プラント運転中又は定期事業者検査停止中	
原子炉及びその附属設備 (補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除く)		高	1F	○	26回	総合負荷性能検査	定期事業者検査起動後	
プラント総合		低	13M~104M	○	26回		一部先行実施	
全般機器								

# クラス1機器供用期間中検査7年計画

## 1. 原子炉容器 (1/2)

項目 番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考		
								2008年度 第23回 サイクル*	2009年度 第24回 サイクル*	2010年度	2011年度 ～ 2020年度 第25回 サイクル	2021年度 第26回 サイクル	2022年度	2023年度 第27回 サイクル			
B1.101	B-A	上部胴と中間胴との周溶接継手	体積	100%	1シーーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		中間胴と下部胴との周溶接継手	体積	100%	1シーーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B1.102	B-A	中間胴の長手溶接継手	体積	100%	3シーーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		下部胴の長手溶接継手	体積	100%	3シーーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B2.111	B-B	下部胴と下部鏡板との周溶接継手	体積	100%	1シーーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B2.121		下部鏡板の周溶接継手	体積	100%	1シーーム	UT	100% (可能範囲)	—	—	100%	—	—	—	—	—	—	
B2.122		下部鏡板の長手溶接継手	体積	100%	4シーーム	UT	100% (可能範囲)	—	5%	—	100%	—	—	—	—	—	—
B3.105		上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積	100%	1シーーム	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	—	—	—	—	100%	—	—	—	—	—
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積	100%	1シーーム	UT	100% (可能範囲)	—	20%	—	—	20%	—	—	—	20%	—
B3.10		冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積	100%	3箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B3.20	B-D	冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積	100%	3箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	100%	3箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	100%	3箇所	水中UT (内面)	100% (可能範囲)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を亀裂解釈NRA文書改正の施行日より適用する。なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。

- ・維持規格2002年版：2008年度～2013年6月(本サイクル開始～新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用まで)
- ・維持規格2008年版：2013年7月～2019年5月(新規制基準施行による維持規格2008年版の即時適用～亀裂解釈NRA文書改正まで)

## 1. 原子炉容器 (2/2)

項目 番号	カテ ゴリ	維 持 規 格 J S M E S N A 1 - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4	美 浜 発 電 所 第 3 号 機 検 査 計 画 ( 7 年 間 )							備 考					
			検査の対 象 箇 所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008 年度 第23回 第24回 保全 サイクル		2009 年度 第24回 保全 サイクル	2010 年度 -	2011年度 ～ 2020年度 第25回 保全 サイクル	2021 年度 第26回 保全 サイクル	2022 年度 -
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエントとの溶接 継手	体 積 及び表面	100%	3 箇所	水中UT・PT (内面)	100% (可能範囲)	C#-7 (PT)	-	-	3箇所 (UT) B#-7 (PT)	-	-	-	
															冷却材出口管台とセーフエントとの溶接 継手
B6.10		ナット	VT-1	100%	58個	VT-1	100%	11個	12個	12個	12個	12個	12個	11個	
B6.30		スタッドボルト	体 積	100%	58本	UT	100%	11本	12本	12本	12本	12本	12本	11本	
B6.40	B-G-1	洞フランジネジ穴のネジ部	体 積	100%	58箇所	UT	100%	11箇所	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所	12箇所	11箇所	
B6.50		上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	58個	VT-1	100%	11個	12個	12個	12個	12個	12個	11個	
B7.10	B-G-2	T/Cハウジングのマーマンクランプ用 ボルト、ナット	VT-1	25%	4組	VT-1	25% (1組)		1組						
B14.10	B-0	制御棒駆動ハウジングの溶接継手	体 積 又は表面	最外周の 25%	20箇所	PT	最外周の 25% (5箇所)		2箇所		3箇所				
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい試験時 100% (可能範囲)	100%	100%		100%			100%	
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25%	6箇所	VT-3	25% (2箇所)		1箇所 (C出口)					1箇所 (A入口)	
G1.10		原子炉容器の内部	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中テレビ)	各検査時期に 100% (可能範囲)		100%		100%				
G1.40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	7.5%	4箇所	VT-3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)								
G1.40		構造物・取付け物	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)					100%			
G1.50	G-P-2	炉心支持構造物	VT-3	7.5%	1基	VT-3 (水中テレビ)	100% (可能範囲)				100%				下段の構造物・ 取付け物に統合







3. 蒸気発生器 (1/1)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度 第23回	2009年度 第24回 サイクル	2010年度	2011年度 ～ 2020年度 第25回 サイクル	2021年度 第26回 サイクル	2022年度	2023年度 第27回 サイクル
B2.40	B-B	管板と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基の 25%	1ヶ所/基 ×3基	UT	代表1基の 25%		A 15%	-		A 10%	-	
B3.60	B-D	冷却材入口管台及び出口管台の内面の丸みの部分	体積	代表1基の 25%	2箇所/基 ×3基	UT	代表1基の 25% (1箇所)			-			-	A入口 1箇所
B5.70	B-F	冷却材入口管台及び出口管台とセーフエントドとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の 25%	2箇所/基 ×3基	UT・PT	代表1基の 25% (1箇所)			-			-	A入口 1箇所
B7.30	B-G-2	1次側マンホールの取付ボルト	VT-1	代表1基の 25%	20本× 2箇所/基 ×3基	VT-1	代表1基の 25% (10本)		A 5本	-		A 5本	-	
B8.30	B-H	支持部材の容器への取付溶接継手(水室鏡とサブポートパッドとの溶接継手)	表面	代表1基の 7.5%	4箇所/基 ×3基	PT	代表1基の 7.5% (1箇所)			-		A 1箇所	-	
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい試験時 100% (可能範囲)	100%	100%	-		100%	-	100%
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基の 25%	4箇所/基 ×3基	VT-3	代表1基の 25% (1箇所)			-			-	A 1箇所

\* : 「供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査」も合わせて実施



4. 配管 (2/5)

項目番号	カテゴリ	規格	J S M E S N A 1 - 2 0 1 2 / 2 0 1 3 / 2 0 1 4										備考	
			美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)											
検査の対象箇所			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度 第23回 サイクル	2009年度 第24回 サイクル	2010年度 第25回 サイクル	2011年度 ~ 2020年度 第26回 サイクル	2021年度 第27回 サイクル	2022年度	2023年度 第28回 サイクル
B9.31		母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)												
		主冷却材管	体積	2.5%	14箇所	UT	2.5% (4箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所
B9.32		母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)												
		主冷却材管	表面	2.5%	17箇所	PT	2.5% (5箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所
		加圧器スプレライン	表面	2.5%	1箇所	PT	2.5% (1箇所)							
		加圧器スプレライン	表面	2.5%	0箇所	PT	2.5% (0箇所)							
		高温側低圧注入ライン	表面	2.5%	2箇所	PT	2.5% (1箇所)							
		低温側低圧注入ライン	表面	2.5%	6箇所	PT	2.5% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
B9.40		ソケット溶接継手												
		主冷却材管	表面	2.5%	4箇所	PT	2.5% (1箇所)				1箇所			
		加圧器補助スプレライン	表面	2.5%	20箇所	PT	2.5% (5箇所)	2箇所						
		加圧器補助スプレライン	表面	2.5%	0箇所	PT	2.5% (0箇所)							
		抽出及び冷却材ドレンライン	表面	2.5%	1箇所	PT	2.5% (1箇所)				1箇所			
		低温側ほう酸注入ライン	表面	2.5%	21箇所	PT	2.5% (6箇所)	4箇所				2箇所		
		高温側補助注入ライン	表面	2.5%	8箇所	PT	2.5% (2箇所)		3箇所					
		低温側補助注入ライン	表面	2.5%	8箇所	PT	2.5% (2箇所)	1箇所			1箇所			
		封水注入ライン	表面	2.5%	115箇所	PT	2.5% (29箇所)	5箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所	6箇所
		配管部分への支持部材の取付溶接継手												
B10.20	B-K	加圧器サージライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)							1箇所
		加圧器逃がしライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所		
		加圧器スプレライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)					1箇所		
		抽出ライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)		1箇所					
		充てんライン	表面	7.5%	1箇所	PT	7.5% (1箇所)	1箇所						

改造工事により  
全設備撤去

改造工事により  
全設備撤去









## 5. ポンプ (1/1)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考					
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2008年度 第23回		2009年度 第24保全サイクル	2010年度	2011年度 2010年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度
B6.180		スタッドボルト	体積	代表1台の 2.5%	24本/台 ×3台	UT	代表1台の 2.5% (6本)			-	C 6本		-	
B6.190	B-G-1	フランジ表面	VT-1	代表1台の 2.5%	24箇所/台 ×3台	VT-1	代表1台の 2.5% (6箇所)			-	C 6箇所		-	
B6.200		ナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の 2.5%	24組/台 ×3台	VT-1	代表1台の 2.5% (6組)			-	C 6組		-	
B10.30	B-K	ポンプ支持部材取付溶接継手	表面	代表1台の 7.5%	3箇所/台 ×3台	PT	代表1台の 7.5% (1箇所)			-	C 1箇所		-	
B12.10	B-L-1	ポンプケーシングの溶接継手	体積 又は 表面	代表1台の 2.5%	1箇所/台 ×3台	PT	代表1台の 2.5% (1箇所)			-	C 1箇所		-	
B12.20	B-L-2	ポンプケーシングの内表面	VT-3	代表1台の 100%	1/台 ×3台	VT-3	代表1台の 100%			-	C 100%		-	
B15.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%	1式	VT-2	漏えい試験時 100% (可能範囲)	100%	100%	-	100%	100%	-	100%
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1台の 2.5%	3箇所/台 ×3台	VT-3	代表1台の 2.5% (1箇所)			-	C 1箇所		-	





原子炉冷却材圧力バウンダリ範囲拡大に伴う特別検査計画

7. 配管

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考		
								2008年度 第23回	2009年度 第24保全 サイクル	2010年度 -	2011年度 ～ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル			
-	-	配管と管台の溶接継手 余熱除去ポンプ入ロライン	表面	100%	5箇所	PT	100% (5箇所)										

\* : 再稼働前の自主点検にて、外面PTを全数実施し、異常のないことを確認済み

1. 蒸気発生器

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考							
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	
C1.10		中間胴と下部胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	1箇所/基×3基	UT	1つの容器の7.5%	-	第27保全サイクル	第28保全サイクル	-	第29保全サイクル	第30保全サイクル	-	第31保全サイクル	第32保全サイクル	第33保全サイクル	※1	
		円錐胴と中間胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	1箇所/基×3基	UT	1つの容器の7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※1
		C-A 上部胴と円錐胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	1箇所/基×3基	UT	1つの容器の7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※1
C1.20		上部鏡と上部胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	1箇所/基×3基	UT	1つの容器の7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※1	
C1.30		下部胴と管板の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	1箇所/基×3基	UT	1つの容器の7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※1	
C2.21		給水入口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	1つの容器の7.5%	1箇所/基×3基	UT・PT	1つの容器の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	※1	
		蒸気出口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	1つの容器の7.5%	1箇所/基×3基	UT・PT	1つの容器の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	※1	
C2.22		蒸気出口管台内面の丸みの部分	体積	1つの容器の7.5%	1箇所/基×3基	UT	1つの容器の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	※1	
		給水入口管台内面の丸みの部分	体積	1つの容器の7.5%	1箇所/基×3基	UT	1つの容器の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	※1	

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

2. 余熱除去クーラ

維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考					
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度		2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
C1.20	管側鏡板と管側フランジとの周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	1箇所/基×2基	UT	1つの容器の7.5%	-	第27保全サイクル	第28保全サイクル	-	第29保全サイクル	第30保全サイクル	-	第31保全サイクル	第32保全サイクル	第33保全サイクル	
C2.21	管側入口管台と管側鏡板との溶接継手	体積及び表面	7.5%	1箇所/基×2基	UT・PT	7.5% (1箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	管側出口管台と管側鏡板との溶接継手	体積及び表面	7.5%	1箇所/基×2基	UT・PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-

## 3. 内部スプレクター

項目番号	カテゴリー	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
C1.10	C-A	管側鏡板と管側フランジとの溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	1箇所/基×2基	UT	1つの容器の7.5%	-	第27保全サイクル	-	第29保全サイクル	-	第30保全サイクル	-	第31保全サイクル	7.5%	第32保全サイクル	第33保全サイクル	※1
C2.21	C-B	出入口管台と管側胴(鏡板)との溶接継手	体積及び表面	1つの容器の7.5%	2箇所/基×2基	UT・PT	1つの容器の7.5%(1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	※1
C2.22	C-B	呼び径300Aを超える管台内面の丸みの部分	体積	1つの容器の7.5%	2箇所/基×2基	UT	1つの容器の7.5%(1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 4. ほろ酸注入タンク

項目番号	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考							
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	
C1.20	C-A	胴と鏡板との溶接継手	体積	7.5%	2箇所/ 基 ×1基	UT	7.5%	-	第27保全 サイクル	-	第29保全 サイクル	第30保全 サイクル	-	第31保全 サイクル	-	第32保全 サイクル	第33保全 サイクル	7.5%	※1
C2.21	C-B	管台と胴(鏡板)との溶接継手	体積 及び表面	7.5%	2箇所/ 基 ×1基	UT・PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	※1
C3.10	C-C	支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%	4箇所/ 基 ×1基	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	※1
C4.10	C-D	ボルト及び種込みボルト	体積	7.5%	16本/ 基 ×1基	UT	7.5% (2本)	-	-	-	-	1本	-	-	-	-	1本	1本	※1
F1.43	F-A	支持脚	VT-3	7.5%	4箇所/ 基 ×1基	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加





項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)												備考						
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル		2028年度	2029年度 第31保全 サイクル	2030年度 第32保全 サイクル	2031年度 第33保全 サイクル		
C3.20	C-C		余熱除去クーラーバイパスライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-			
			高温側ループ注入ライン	表面	7.5%	14箇所	PT	7.5% (2箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-		
			低温側ループ注入ライン	表面	7.5%	30箇所	PT	7.5% (3箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-		
			充てん/高圧注入ポンプ 入口ライン	表面	7.5%	※3 12箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	※2	
			充てん/高圧注入ポンプ 出口ライン	表面	7.5%	※4 15箇所	PT	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	※5 1箇所	-	-	※2
			充てん/高圧注入ポンプ ミニマムフローライン	表面	7.5%	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	※1	
			余熱除去ポンプ入口ライン	表面	7.5%	20箇所	PT	7.5% (2箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	
			余熱除去ポンプ出口ライン	表面	7.5%	27箇所	PT	7.5% (3箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所	-	-	
			余熱除去クーラー出口ライン	表面	7.5%	41箇所	PT	7.5% (4箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所	-	-	
			補助注入ライン	表面	7.5%	6箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	
			A 高温側補助注入ライン	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	
			B 高温側補助注入ライン	表面	7.5%	5箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	
			低温側補助注入ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	
低温側ほう酸注入ライン	表面	7.5%	4箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-				
格納容器再循環ポンプ 戻りライン (RRRS)	表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-				
燃料取替用水タンク 出口ライン (SIS)	表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加  
 ※2：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む  
 ※3：非破壊検査免除の適用除外により設備数10→12箇所、検査箇所数は変更なし  
 ※4：非破壊検査免除の適用除外により設備数11→15箇所、検査箇所数は1→2箇所  
 ※5：非破壊検査免除の適用除外により第1検査時期に検査箇所数が1箇所追加となったため、第2、3検査時期の何れかに1箇所を割り振る

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考								
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度		
C5.11	C-F	配管の周溶接継手 (呼び径100A超、肉厚9.5mm超)	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	肉厚12.7mm超 ※1		
			主給水ライン	体積及び表面	7.5%	91箇所	UT・PT	7.5% (7箇所)	-	-	-	-	-	-	2箇所	-	-	-		2箇所	
			主蒸気ライン	体積及び表面	7.5%	114箇所	UT・PT	7.5% (9箇所)	-	-	-	-	-	-	3箇所	-	-	-		-	3箇所
			主蒸気逃がしライン	体積又は表面	7.5%	3箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-		-	1箇所
			タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気管	体積又は表面	7.5%	43箇所	PT	7.5% (4箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-		-	1箇所
			ほう酸注入タンク入口ライン	体積及び表面	7.5%	2箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-		-	-
			ほう酸注入タンク入口ライン (機器付き配管)	体積及び表面	7.5%	1箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	1箇所
			ほう酸注入タンク出口ライン	体積及び表面	7.5%	1箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-		-	-
			ほう酸注入タンク出口ライン (機器付き配管)	体積及び表面	7.5%	1箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	1箇所
			内部スプレッポンプ入口ライン	体積又は表面	7.5%	14箇所	PT	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-		-	-

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度		2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	
C5.11	C-F	高温側ループ注入ライン	体積及び表面	7.5%	33箇所	UT・PT	7.5% (3箇所)	-	1箇所	-	1箇所	-	-	-	-	-	1箇所	肉厚12.7mm超	
		低温側ループ注入ライン	体積及び表面	7.5%	89箇所	UT・PT	7.5% (7箇所)	-	2箇所	-	-	2箇所	-	-	-	-	3箇所	肉厚12.7mm超	
		余熱除去ポンプ吸入ライン	体積又は表面	7.5%	36箇所	PT	7.5% (3箇所)	-	1箇所	-	1箇所	-	-	-	-	-	1箇所	肉厚12.7mm以下	
		格納容器再循環ポンプ戻りライン (RHRS)	体積又は表面	7.5%	33箇所	PT	7.5% (3箇所)	-	1箇所	-	-	1箇所	-	-	-	-	1箇所	肉厚12.7mm以下	
		格納容器再循環ポンプ出口ライン (CSS)	体積又は表面	7.5%	29箇所	PT	7.5% (3箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	1箇所	肉厚12.7mm以下 ※1
		燃料取替用水タンク出口ライン (SIS)	体積又は表面	7.5%	17箇所	PT	7.5% (2箇所)	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	肉厚12.7mm以下
		燃料取替用水タンク出口ライン (CSS)	体積又は表面	7.5%	7箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	肉厚12.7mm以下 ※1
		格納容器負圧調整ライン (A, B, C, D, Eライン)	体積又は表面	7.5%	10箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所	肉厚12.7mm以下 ※1
		格納容器排気ライン	体積及び表面	7.5%	4箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所	肉厚12.7mm超 ※1
		格納容器送気ライン	体積及び表面	7.5%	4箇所	UT・PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所	肉厚12.7mm超 ※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考							
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル		2030年度 第32保全 サイクル	2031年度 第33保全 サイクル					
C5.12	C-F	配管の長手溶接継手 (呼び径100A超、肉厚9.5mm超)																					
		主蒸気ライン	体積 及び表面	7.5%	129箇所	U・P・T	7.5% (10箇所)											3箇所	3箇所	肉厚12.7mm超 ※1			
C5.21	C-F	配管の周溶接継手 (呼び径50A以上100A以下、肉厚5mm超)																					
		ほう酸注入タンク入ロライン	表面	7.5%	9箇所	P・T	7.5% (1箇所)														※1		
		ほう酸注入タンク出ロライン	表面	7.5%	49箇所	P・T	7.5% (4箇所)																
		補助注入ライン	表面	7.5%	36箇所	P・T	7.5% (3箇所)																
		A高温側補助注入ライン	表面	7.5%	64箇所	P・T	7.5% (5箇所)																
		B高温側補助注入ライン	表面	7.5%	37箇所	P・T	7.5% (3箇所)																
		低温側補助注入ライン	表面	7.5%	60箇所	P・T	7.5% (5箇所)																
		低温側ほう酸注入ライン	表面	7.5%	66箇所	P・T	7.5% (5箇所)																

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014				美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考		
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度		2030年度	2031年度
C5.21	C-F	体積制御タンク出口ライン	表面	7.5%	2箇所	P T	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	※1	
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	表面	7.5%	※6 189箇所	P T	7.5% (15箇所)	-	2箇所	-	※7 2箇所	2箇所	-	-	3箇所	※7 2箇所	※2	
		充てん/高圧注入ポンプ出口パイプライン	表面	7.5%	15箇所	P T	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	1箇所	※1	
		C充てん/高圧注入ポンプ出口ライン～C充てん/高圧注入ポンプ入口冷却水ライン接続ライン	表面	7.5%	10箇所	P T	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	※1
		充てん/高圧注入ポンプミニマムフローライン	表面	7.5%	15箇所	P T	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	1箇所	※1
		封水注入フィルタ入口ライン	表面	7.5%	9箇所	P T	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	※1
		充てん流量制御弁パイプライン	表面	7.5%	1箇所	P T	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	※1
		C充てん/高圧注入ポンプ出口冷却水ライン～C充てん/高圧注入ポンプ入口ライン接続ライン	表面	7.5%	26箇所	P T	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	1箇所	※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加  
 ※2：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む  
 ※6：非破壊検査免除の適用除外により設備数81→189箇所、検査箇所数は7→15箇所  
 ※7：非破壊検査免除の適用除外により第1検査時期に検査箇所数が8箇所追加となったため、第2、3検査時期にそれぞれ2箇所(8箇所の25%以上)ずつ割り振る

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考																																																																																																																																																									
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度		2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル	2030年度 第32保全 サイクル	2031年度 第33保全 サイクル																																																																																																																																																			
C5.30	C-F	ソケット溶接継手	A高温側補助注入ライン	表面	7.5% (4箇所)	46箇所	PT	7.5% (4箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																				
																			B高温側補助注入ライン	表面	7.5% (5箇所)	66箇所	PT	7.5% (5箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																		
																																					低温側補助注入ライン	表面	7.5% (8箇所)	100箇所	PT	7.5% (8箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																
																																																							低温側ほう酸注入ライン	表面	7.5% (5箇所)	61箇所	PT	7.5% (5箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																														
																																																																									ほう酸注入ライン	表面	7.5% (1箇所)	1箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																												
																																																																																											充てん/高圧注入ポンプ ミニマムフローライン	表面	7.5% (4箇所)	47箇所	PT	7.5% (4箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																									
																																																																																																														充てん流量制御弁バイパス ライン	表面	7.5% (1箇所)	2箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																						
																																																																																																																																	封水注入フィルタ入ロライン	表面	7.5% (1箇所)	5箇所	PT	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																			
																																																																																																																																																				配管の周溶接継手 (呼び径50Aを超える母管と管台及 び母管と枝管との溶接継手)																		

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI－2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考																	
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度		2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル	2030年度 第32保全 サイクル	2031年度 第33保全 サイクル											
F1.21	F-A	支持構造物	検査の対象箇所	VT-3	7.5%	115箇所 RH 14 MS 51 HS 29 SH 21	VT-3	7.5% (9箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-												
									主給水ライン	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	※1					
									主蒸気ライン	193箇所 RH 53 MS 85 HS 30 SH 15 CH 10	VT-3	7.5% (15箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	※1		
									内部スプレッポンプ入口ライン	32箇所 RH 10 HS 13 AN 2 MS 7	VT-3	7.5% (3箇所)	-	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所	※1		
									内部スプレッポンプ出口ライン	26箇所 RH 4 MS 5 HS 12 SH 5	VT-3	7.5% (2箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	1箇所	※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加















項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度		2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル	2030年度 第32保全 サイクル	2031年度 第33保全 サイクル
F1.21	F-A	支持構造物	C充電/高圧注入ポンプ出口 冷却水ライン～C充電/高圧 注入ポンプ入口ライン接続ラ イン	VT-3	7.5%	10 箇所	RH 10	VT-3	7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
							3 箇所												
							RH 3												
							RH 10												
							AN 2												
							MS 5												
							RH 8												
							MS 5												
							HS 1												
							AN 2												
10 箇所																			
VT-3																			
7.5% (1箇所)																			
10 箇所																			
VT-3																			
7.5% (1箇所)																			
2 箇所																			
VT-3																			
7.5% (1箇所)																			

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

## 6. 充てん／高圧注入ポンプ

項目 番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考					
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度		2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル	2030年度 第32保全 サイクル
C3.30	C-C	ポンプ支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%	16箇所/ 台 ×3台	P T	7.5% (4箇所)	－	－	－	－	1箇所	－	－	1箇所	－	1箇所	※1
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台 の7.5%	16本/ 台 ×3台	U T	代表1台の 7.5% (2本)	－	－	－	－	1本	－	－	1本	－	1本	※1
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	2箇所/ 台 ×3台	P T	代表1台の 7.5% (1箇所)	－	－	－	－	1箇所	－	－	1箇所	－	1箇所	※1
F1.43	F-A	支持構造物ポンプ台板脚	V T-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 台 ×3台	V T-3	代表1台の 7.5% (1箇所)	－	－	－	－	1箇所	－	－	1箇所	－	1箇所	※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加



7. 余熱除去ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考					
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度		2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
C6.10	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	3箇所/台 ×2台	P T	代表1台の7.5% (1箇所)	-	第27保全サイクル	第28保全サイクル	-	第29保全サイクル	第30保全サイクル	-	第31保全サイクル	第32保全サイクル	第33保全サイクル	
F1.43	支持構造物ポンプ台板脚	V T-3	代表1台の7.5%	1箇所/台 ×2台	V T-3	代表1台の7.5% (1箇所)	-	第27保全サイクル	第28保全サイクル	-	第29保全サイクル	第30保全サイクル	-	第31保全サイクル	第32保全サイクル	第33保全サイクル	

8. 内部スプレポンプ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度		2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	3箇所/台 ×4台	P T	代表1台の7.5% (1箇所)	-	第27保全サイクル	第28保全サイクル	-	第29保全サイクル	第30保全サイクル	-	第31保全サイクル	第32保全サイクル	第33保全サイクル	※1
F1.43	F-A	支持構造物ポンプ台板脚	V T-3	代表1台の7.5%	1箇所/台 ×4台	V T-3	代表1台の7.5% (1箇所)	-			-			-	1箇所	1箇所		※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

9. 弁

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考							
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度		2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル	2030年度 第32保全 サイクル	2031年度 第33保全 サイクル	
C6.20	C-G		弁本体の溶接継手																	
			充てん/高圧注入ポンプ ミニマムフローライン	表面	7.5%	3箇所	P T	7.5% (1箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	※1
F1.43	F-A		封水注入フィルタ入ロライン	表面	7.5%	1箇所	P T	7.5% (1箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	※1	
			支持構造物																	
F1.43	F-A		主給水ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所/ 個×2個 1箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	GM37 ※1	
			主蒸気逃がしライン	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所/ 個×2個 3箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	GM36S ※1	
			タービン動補給水ポンプ 駆動蒸気管	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所/ 個×2個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	A5114BM -15A ※1
			内部スプレッケーラ出ロライン	VT-3	代表1個 の7.5%	1箇所/ 個×1個 2箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	-	GM54FC ※1
			RHRS-CSS連絡ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	1箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	GM54FE ※1
			燃料取替用水タンク 出ロライン (CSS)	VT-3	代表1個 の7.5%	1箇所/ 個×1個 2箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-	-	-	-

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加









項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		運転圧力又は最高使用圧力 [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考			
		系統名・ライン名	安全注入系統				2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル	2030年度 第32保全 サイクル	2031年度 第33保全 サイクル				
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	安全注入系統				VT-2	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル	2030年度 第32保全 サイクル	2031年度 第33保全 サイクル				
		燃料取替用水タンクまわり (燃料取替用水タンク～3V-6415A・B、3V-6451、3V-6470A・B、3V-5400、3V-5412、3V-6413、3V-5410、3V-8869、3V-5413、3V-8932、3V-8434、3V-8918、3V-5414A、3V-5415A、3V-5471、3V-5472、3V-5473、3MOV-6400A・B、3LCV-115D・E、3MOV-8809A・B)	安全注入系統		○			－				－			－					
		ほう酸注入タンクまわり (3MOV-8803A・B～3MOV-8801A・B、3V-8852、3V-8904、3V-8915、3V-8912)	安全注入系統	11.83	11.83			－		○		－			－					
		高圧注入ライン (ループ/低温側) (3MOV-8801A・B、3V-8911～3V-8944A・B・C、3V-9148D、3V-9149P)	安全注入系統	15.41	15.41			－				－			○					
		高圧補助注入ライン (ループ/高温側その他) (3MOV-8814～3V-8939A・B・C)	安全注入系統	15.41	15.41			－				－			－				○	
		高圧補助注入ライン (ループ/低温側) (3MOV-8815～3V-8942A・B・C)	安全注入系統	15.41	15.41			－				－			－			○		
		高圧補助注入ライン (ループ/高温側その他) (3MOV-8816～3V-8937A・B・C)	安全注入系統	15.41	15.41			－				－			－				○	
		低圧補助注入ライン (3MOV-8819～3V-8935A・B)	安全注入系統	15.41	15.41			－				－			－			○		
		アキュムレータ窒素供給ライン (3A0V-8880～3V-8947)	安全注入系統	4.55	4.55			－				－		○		－				
		アキュムレータ水張りライン (3V-8968～3V-8989)	安全注入系統	7.8	7.8			－				－		○		－				
アキュムレータトラストライン (3A0V-8871～3A0V-8961)	安全注入系統	4.12	4.12		－				－		○		－							
原子炉キャビティ入口ライン (3V-5420～PEN#301)	安全注入系統	0.85	0.85		－				－		○		－							



項目 番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	運転圧力又は 最高使用圧力 [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
						2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル	2030年度 第32保全 サイクル	2031年度 第33保全 サイクル							
C-H C7.10 C7.30 C7.50 C7.70		安全注入系統																				
		原子炉キヤビテイルライン (PEN#265~3V-5441)	0.11	0.11	VT-2																	
		余熱除去系統																				
		A 余熱除去ポンプ入口ライン (3MOV-8701A~3FCV-602A、3MOV-8811A、3V-8708A、3MOV-8809A、3V-8728A)	2.75	2.75																		
		B 余熱除去ポンプ入口ライン (3MOV-8701B~3FCV-602B、3MOV-8811B、3V-8708B、3MOV-8809B、3V-8728B)	2.75	2.75																		
		A 余熱除去ポンプ出口ライン (3V-8728A~3V-8973A・B、3V-8972B、3MOV-8819、3MOV-8817B、3FCV-602A、3MOV-8706A、3MOV-761、3V-8717A、3V-8720A)	3.44	3.44	VT-2																	
		B 余熱除去ポンプ出口ライン (3V-8728B~3V-8973C、3V-8972B、3MOV-8817B、3FCV-602B、3MOV-8706B、3V-8717B、3V-8720B)	3.44	3.44																		
		格納容器圧力低減系統																				
		内部スプレポンプ入口ライン A系列 (3MOV-6400A、3MOV-6408A~3V-6403A・B)	水張状態	水張状態																		
		内部スプレポンプ入口ライン B系列 (3MOV-6400B、3MOV-6408B~3V-6403C・D)	水張状態	水張状態																		
内部スプレポンプ出口ライン A系列 (3V-6403A・B~3V-6407A・B、3MOV-760、3V-2381、3V-6411A)	2.01	2.01	VT-2																			
内部スプレポンプ出口ライン B系列 (3V-6403C・D~3V-6407C・D、3V-6411B)	2.01	2.01																				
よう素除去薬品タンクまわり (よう素除去薬品タンク~3V-6416A・B)	34kPa	34kPa																				
よう素除去薬品タンク出口ラインA系列 (その1) (3V-6416A~3V-6460A)	34kPa	34kPa																				

※一部気圧試験により検査







クラス3機器供用期間中検査10年計画

1. 余熱除去クーラ(胴側)

維持規格 JSME NAI-2012/2013/2014※1		美浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)											備考				
		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
項目番号	検査の対象箇所																
D1.10	胴と当板との溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所/基 x 2基	VT-1	7.5% 1箇所	1箇所										
F1.44	支持脚	VT-3	7.5%	2箇所/基 x 2基	VT-3	7.5% 1箇所	1箇所										

2. 内部スプレクーラ

維持規格 JSME NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)											備考				
		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
項目番号	検査の対象箇所																
D1.10	胴と当板との溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所/基 x 2基	VT-1	7.5% 1箇所					1箇所						
F1.44	支持脚	VT-3	7.5%	2箇所/基 x 2基	VT-3	7.5% 1箇所					1箇所						

3. 1次系冷却水クーラ

維持規格 JSME NAI-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)											備考				
		検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
項目番号	検査の対象箇所																
D1.10	胴と当板との溶接継手	VT-1	7.5%	3箇所/基 x 3基	VT-1	7.5% 1箇所					1箇所						
F1.44	支持脚	VT-3	7.5%	3箇所/基 x 3基	VT-3	7.5% 1箇所					1箇所						

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1900051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、維持規格(2012年版/2013年追補/2014年追補)を亀裂解釈NRA文書改正の施行日より適用する。なお、本サイクル内の過去の維持規格適用期間は以下の通り。  
・維持規格2008年版：2014年～2019年5月(本サイクル開始～亀裂解釈NRA文書改正まで)

4. D/G清水冷却器

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
D1.10	D-A	胴と取付脚との溶接継手	VT-1	7.5% 1箇所	2箇所/基 × 2基	VT-1	7.5% 1箇所											第27保全 サイクル
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	7.5%	2箇所/基 × 2基	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所			第26保全 サイクル

5. D/G潤滑油冷却器

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
D1.10	D-A	胴と取付脚との溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所/基 × 2基	VT-1	7.5% 1箇所											第27保全 サイクル
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	7.5%	2箇所/基 × 2基	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所			第26保全 サイクル

6. D/G温巻ストレートナ

		維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014										美浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)			備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度		2021年度	2022年度
								第25保全サイクル									
D1.10	D-A	胴とサポート用ブラケットとの溶接継手	VT-1	7.5%	2箇所/基 x 2基	VT-1	7.5% 1箇所								1箇所	-	
F1.44	F-A	サポート用ブラケット	VT-3	7.5%	2箇所/基 x 2基	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所	-	
F1.44	F-A	サポート	VT-3	7.5%	2箇所/基 x 2基	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所	-	

7. 海水ストレートナ

		維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014										美浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)			備考		
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度		2021年度	2022年度
								第25保全サイクル									
F1.44	F-A	支持構造物	VT-3	7.5%	4箇所 AN 4	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所	-	

8. 配管

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		配管支持部材取付溶接継手																
D1.20	D-A	原子炉補機冷却水系統	VT-1	7.5%	41箇所	VT-1	7.5% 4箇所		1箇所				1箇所		1箇所		1箇所	
		原子炉補機冷却海水系統	VT-1	7.5%	40箇所	VT-1	7.5% 3箇所		1箇所				1箇所		1箇所			
		支持構造物																
F1.31	F-A	原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	265箇所 RH 230 AN 35	VT-3	7.5% 20箇所		3箇所					5箇所		8箇所		1箇所
		原子炉補機冷却海水系統	VT-3	7.5%	189箇所 RH 155 AN 34	VT-3	7.5% 15箇所		2箇所				1箇所		4箇所		1箇所	

9. 1次系冷却水ポンプ

維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		第25保全サイクル																
F1.31	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	7.5%	2箇所/基 ×4基	VT-3	7.5% 1箇所							1箇所				



10. 弁

		維持規格 JSME NA1-2012/2013/2014										美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)			備考			
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度		2021年度	2022年度	2023年度
		支持構造物																
F1.31	F-A	原子炉補機冷却海水系統	VT-3	7.5%	4 箇所	VT-3	7.5% 1箇所								1箇所	—		
		原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	2 箇所		7.5% 1箇所									1箇所	—	



クラス1機器Ni基金金使用部位特別検査7年計画

原子炉容器

項目	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	美浜3号機7年計画							備考						
					設備数	検査方法	検査範囲	2011年度 ～2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル		2024年度 第28保全 サイクル	2025年度 -	2026年度 第29保全 サイクル			
-	-	600系Ni基金金製の底部	BMV	100% (3.5年)	50箇所	BMV	50箇所											
		底部管台	BMV	100% (3.5年)	50箇所	BMV	50箇所											

BMV：ベアメタル検査

クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査7年計画

項目	カテゴリ	試験検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)							備考		
								2009年度 第24保全 サイクル	2010年度	2011年度 ～2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度			
		配管の円周方向溶接部															
		抽出ライン	体積	25%	30箇所	UT	8	4			4						
		充てんライン	体積	25%	67箇所	UT	17	12			5						
		再生クーラー連絡管															
		抽出ライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	3	1				2					
		充てんライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	3	1				2					

# 原子炉格納容器供用期間中検査10年計画

## 1. 原子炉格納容器

維持規格 JSME S NA1－20012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画（10ヵ年）										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2014年	2015年	2016年	2017年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
E8.10	E-G	機器搬入口用ボルト締め付け部	VT-4	25%	56	VT-4	25% 14								第25保全サイクル	第26保全サイクル	第27保全サイクル	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表

1. 1次系冷却水クーラ

項目 番号	カテゴリ	検査の対象箇所	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考				
				検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～ 2020年度 第25回保全 サイクル	2021年度 第26回保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27回保全 サイクル	2024年度 第28回保全 サイクル		2025年度 -	2026年度 第29回保全 サイクル	2027年度 第30回保全 サイクル	2028年度 -
C1.10	C-A	胴の周溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	4箇所/ 基 ×3基	UT	1つの 容器の 7.5%	7.5%	-	7.5%	-	7.5%	-	7.5%	-	-	-	
C1.30	C-A	胴と管板との溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	2箇所/ 基 ×3基	UT	1つの 容器の 7.5%	7.5%	-	-	-	7.5%	-	7.5%	-	-	-	
C2.21	C-B	出入口管台と胴との溶接継手	体積 及び表面	1つの 容器の 7.5%	2箇所/ 基 ×3基	UT・PT	1つの 容器の 7.5% (1箇所)	7.5%	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-
C2.22	C-B	呼び径300Aを超える管台内面の 丸みの部分	体積	1つの 容器の 7.5%	2箇所/ 基 ×3基	UT	1つの 容器の 7.5% (1箇所)	7.5%	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-
C3.10	C-C	胴と当板との溶接継手	表面	1つの 容器の 7.5%	3箇所/ 基 ×3基	PT	1つの 容器の 7.5% (1箇所)	7.5%	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-
F1.43	F-A	支持脚	VT-3	1つの 容器の 7.5%	3箇所/ 基 ×3基	VT-3	1つの 容器の 7.5% (1箇所)	7.5%	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	-	-

2. 配管(1/5)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考								
			2014/2013/2012/2011/2010	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル		2025年度	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル			
C3.20	C-C	配管支持部材取付溶接継手																			
		燃料取扱用水タンク補給用移送ライン	表面	7.5%	4箇所	P T	7.5% (1箇所)														
		原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	P T	7.5% (1箇所)														
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	2箇所	P T	7.5% (1箇所)														
		可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	18箇所	P T	7.5% (2箇所)													1箇所	
		1次系冷却水Cへッダ戻りライン	表面	7.5%	3箇所	P T	7.5% (1箇所)														
		1次系冷却水ポンプ入口ライン	表面	7.5%	4箇所	P T	7.5% (1箇所)														
		1次系冷却水ポンプ出口ライン	表面	7.5%	8箇所	P T	7.5% (1箇所)														
		タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気管	表面	7.5%	13箇所	P T	7.5% (1箇所)														※1
		格納容器循環空調装置冷却水供給ライン	表面	7.5%	2箇所	P T	7.5% (1箇所)														※1
格納容器循環空調装置冷却水戻りライン	表面	7.5%	2箇所	P T	7.5% (1箇所)														※1		
原子炉下部キャビティ注水ライン	表面	7.5%	8箇所	P T	7.5% (1箇所)														※1		

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加





2. 配管(3/5)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考								
			検査対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル		2024年度 第28保全 サイクル	2025年度	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル		
FI.21	F-A		支持構造物																		
			RHRS-CSS連絡ライン	VT-3	7.5%	1箇所 RH 1	VT-3	7.5% (1箇所)								1箇所					
			燃料取替用水タンク補給用移送ライン	VT-3	7.5%	12箇所 RH 7 MS 5	VT-3	7.5% (1箇所)					1箇所								
			原子炉下部キャビティ注水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	25箇所 RH 24 AN 1	VT-3	7.5% (2箇所)		1箇所											1箇所
			恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	8箇所 RH 7 AN 1	VT-3	7.5% (1箇所)					1箇所								
			可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	132箇所 RH 128 AN 4	VT-3	7.5% (10箇所)		2箇所				2箇所				1箇所			2箇所
			1次系冷却水Cヘッド戻りライン	VT-3	7.5%	23箇所 RH 20 AN 3	VT-3	7.5% (2箇所)													1箇所
			1次系冷却水ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	23箇所 RH 19 AN 4	VT-3	7.5% (2箇所)										1箇所			1箇所
			1次系冷却水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	25箇所 RH 17 AN 8	VT-3	7.5% (2箇所)										1箇所			1箇所
			1次系冷却水クローラライン	VT-3	7.5%	17箇所 RH 17	VT-3	7.5% (2箇所)										1箇所			1箇所

2. 配管(4/5)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考								
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル		2024年度 第28保全 サイクル	2025年度	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル		
F1.21	F-A		支持構造物																		
			格納容器循環冷暖房ユニット 入口ライン	VT-3	7.5%	13 箇所	RH 13	VT-3	7.5% (1箇所)		-									1箇所 ※2	
			格納容器循環冷暖房ユニット 出口ライン	VT-3	7.5%	9 箇所	RH 9	VT-3	7.5% (1箇所)		-										1箇所 ※2
			格納容器循環空調装置 出口海水排水ライン	VT-3	7.5%	17 箇所	RH 17	VT-3	7.5% (2箇所)		-										1箇所 ※2
			アニュラス循環排気ライン	VT-3	7.5%	44 箇所	RH 44	VT-3	7.5% (4箇所)		-										1箇所 ※1
			タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気管	VT-3	7.5%	39 箇所	HS 15 SH 6 AN 1	VT-3	7.5% (3箇所)												
			補助給水ライン	VT-3	7.5%	10 箇所	RH 10	VT-3	7.5% (1箇所)											1箇所 ※1	

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加  
 ※2：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む



3. 1 次系冷却水ポンプ

維持規格 JSME S N11-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考					
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル		2025年度 -	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度 -	2029年度 第31保全 サイクル
F1.43	F-A ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 台 ×4台	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)								1箇所			

4. タービン動補助給水ポンプ

維持規格 JSME S N11-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考					
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル		2025年度 -	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度 -	2029年度 第31保全 サイクル
F1.43	F-A ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の7.5%	1箇所/ 1台	VT-3	代表1台の 7.5% (1箇所)								1箇所			※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

5. 恒設代替低圧注水ポンプ

維持規格 JSME S N11-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル		2024年度 第28保全 サイクル	2025年度	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	6箇所/ 1台	P T	代表1台の 7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	V T-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台	V T-3	代表1台の 7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	

6. 原子炉下部キャビティ注水ポンプ

維持規格 JSME S N11-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル		2024年度 第28保全 サイクル	2025年度	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の7.5%	6箇所/ 1台	P T	代表1台の 7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	V T-3	代表1台 の7.5%	2箇所/ 1台	V T-3	代表1台の 7.5% (1箇所)	-	-	-	-	-	-	-	1箇所	-	-	

7. 弁

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考								
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	2016～2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 第27保全 サイクル	2023年度 第28保全 サイクル		2024年度 第28保全 サイクル	2025年度 第29保全 サイクル	2026年度 第30保全 サイクル	2027年度 第31保全 サイクル	2028年度 第31保全 サイクル	2029年度 第31保全 サイクル		
Fl.43	F-A	支持構造物																		
		原子炉下部キャビティ 注水ポンプ出口ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	1箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)							1箇所					GM54FD	
		恒設代替低圧注水ポンプ 出口ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)								1箇所					GM54FD
		主蒸気大気放出口ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所/ 個×3個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)						1箇所							RA36R
		格納容器循環冷却房ユニット 入口ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	1箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)						1箇所							GM32S
		タービン動補給水ポンプ 駆動蒸気管(1)	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所/ 個×2個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)												1箇所	6-1A37D ※1
		タービン動補給水ポンプ 駆動蒸気管(2)	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)												1箇所	5114BM- 15A ※1
		タービン動補給水ポンプ 駆動蒸気管(3)	VT-3	代表1個 の7.5%	2箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)												1箇所	5114B- 15A-L ※1
		原子炉下部キャビティ 注水ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	1箇所/ 個×1個	VT-3	代表1個 の7.5% (1箇所)												1箇所	GM54FD ※1

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

8. 漏えい検査 (1/8)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査方法	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考					
		系統名・ライン名	検査方法		2016～2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 第27保全 サイクル	2023年度 第28保全 サイクル	2024年度 第29保全 サイクル	2025年度 第30保全 サイクル	2026年度 第31保全 サイクル	2027年度 第32保全 サイクル	2028年度 第33保全 サイクル	2029年度 第34保全 サイクル						
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	化学体積制御系統		検査方法 VT-2	SA時使用圧力 (工認記載 値) [MPa]	2016～2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 第27保全 サイクル	2023年度 第28保全 サイクル	2024年度 第29保全 サイクル	2025年度 第30保全 サイクル	2026年度 第31保全 サイクル	2027年度 第32保全 サイクル	2028年度 第33保全 サイクル	2029年度 第34保全 サイクル	備考				
		体積制御タンク出口ライン	1.4		0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	※	
		A 充てん/高圧注入ポンプ入口ライン	1.4 18.8		0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	○	※
		B 充てん/高圧注入ポンプ入口ライン	1.4 18.8		0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	○	※
		C 充てん/高圧注入ポンプ入口ライン	1.4 18.8		0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	○	※
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	18.8		17.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	○	※
		充てんライン	17.16 18.8		15.41	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-		-	-	-	※
		充てん流量制御第2バイパスライン	18.8		17.5	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-		-	-	-	※
		充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン (充てん/高圧注入ポンプ出口側) (その 1)	18.8		17.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	○	※
		充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン (充てん/高圧注入ポンプ出口側) (その 2)	0.98		0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	○	※
		充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン (充てん/高圧注入ポンプ出口側) (その 3)	0.98		0.98	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	○	※
		充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン (充てん/高圧注入ポンプ入口側) (その 1)	0.98		0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	○	※
		充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン (充てん/高圧注入ポンプ入口側) (その 2)	1.4		0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	○	※
		充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン (充てん/高圧注入ポンプ入口側) (その 3)	0.98		0.98	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	○	※
充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン (充てん/高圧注入ポンプ入口側) (その 4)	1.4	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	※				

※SA時使用圧力での漏えい検査ができない範囲については、SA時使用圧力相当の強度評価を実施

8. 漏えい検査 (2/8)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	SA時使用圧力 (工認記載値) [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考					
						2016～ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル						
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	化学体積制御系統																			
		A)ほう酸タンクまわり	0	水張状態																	
		B)ほう酸タンクまわり	0	水張状態																	
		ほう酸ポンプ入ロライン	0.98	水張状態																※2	
		ほう酸ポンプ出ロライン	0.98	0.19																	※2
		安全注入系統																			
		ほう酸注入タンクまわり	18.8	11.83																	※2
		A)アキユムレータまわり	4.9	4.55																	※1 ※2
		B)アキユムレータまわり	4.9	4.55																	※1 ※2
		C)アキユムレータまわり	4.9	4.55																	※1 ※2
A)アキユムレータ出ロライン	17.16	4.55																	※2		
B)アキユムレータ出ロライン	17.16	4.55																	※2		
C)アキユムレータ出ロライン	17.16	4.55																	※2		
高压注入ライン (ループ低温側)	17.16	15.41																	※2		
燃料取替用水タンクまわり	0 1.4 4.1	水張状態																		※2	

※1：一部気圧試験により検査  
 ※2：SA時使用圧力での漏えい検査ができない範囲については、SA時使用圧力相当の強度評価を実施







8. 漏えい検査 (5/8)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	SA時使用圧力 (工認記載) [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考					
						2016～ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度 -	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度 -	2029年度 第31保全 サイクル						
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	原子炉補機冷却水系統																			
		余熱除去ポンプ出口海水排水ライン (その2)	1.2	0.8															※		
		1次系冷却水系統への海水供給ライン (その1)	1.2	0.8																※	
		1次系冷却水系統への海水供給ライン (その2)	1.2	1.2																	
		可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ接続ライン	0.33	0.33																	
		格納容器雰囲気ガスサンプリング冷却器まわり	0.33 1.2	0.33																	※
		格納容器雰囲気ガスサンプリング冷却器出口海水排水ライン	0	0																	
		大容量ポンプ海水注入ライン (1次系冷却水系統へ) (その1)	1.2	0.8																	※
		大容量ポンプ海水注入ライン (1次系冷却水系統へ) (その2)	1.2	1.2																	
				海水系統																	
		A、B海水ポンプ出口ライン	0.7 1.2	0.240																※	
		C、D海水ポンプ出口ライン	0.7 1.2	0.240																※	
		大容量ポンプ海水注入ライン	1.2	1.2																	

※SA時使用圧力での漏えい検査ができない範囲については、SA時使用圧力相当の強度評価を実施

8. 漏えい検査 (6/8)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 系統名・ライン名	SA時使用圧力 (工認記載値) [MPa]	検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画(10カ年)										備考				
						2016～ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度 -	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度 -	2029年度 第31保全 サイクル					
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	主蒸気系統																		
		A蒸気発生器主蒸気出口ライン	8.0	6.04															※	
		B蒸気発生器主蒸気出口ライン	8.0	6.04	VT-2															※
		C蒸気発生器主蒸気出口ライン	8.0	6.04																※
		主給水系統																		
		A蒸気発生器主給水入口ライン	8.0	6.4																※
		B蒸気発生器主給水入口ライン	8.0	6.4	VT-2															※
		C蒸気発生器主給水入口ライン	8.0	6.4																※
		補助給水系統																		
復水タンク出口ライン	0	水張状態																	○	
A電動補助給水ポンプ出口ライン	15.7	15.7																	○	
B電動補助給水ポンプ出口ライン	15.7	15.7	VT-2																○	
タービン動補助給水ポンプ入口ライン	1.6	1.6																	○	
タービン動補助給水ポンプ出口ライン	13.2	13.2																	○	

※SA時使用圧力での漏えい検査ができない範囲については、SA時使用圧力相当の強度評価を実施

8. 漏えい検査 (7/8)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所		検査圧力 [MPa]	検査方法	美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)										備考					
		系統名・ライン名	系統名・ライン名			2016～2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度	2029年度 第31保全 サイクル						
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	補助給水系統																			
		補助給水ポンプ出口蒸気発生器給水ライン		8.6	8.6	VT-2															
		復水タンク海水供給ライン		1.6	1.6																
		制御用空気系統																			
		制御用空気Aヘッダライン		0.98	0.98	0.65															※
		制御用空気Bヘッダライン		0.98	0.98	0.65	VT-2														※
		アニュラス空気浄化系統ダンプ作動用壺供給ライン		0.98	0.98	0.98															
		換気空調系統																			
		Aアニュラス循環ファンまわり		0.00245	0.00245	0.00245															
		Bアニュラス循環ファンまわり		0.00245	0.00245	0.00245															
		制御建屋循環ファン入口ライン		-0.00147	-0.00147	-0.00147															
		制御建屋循環ファン出口ライン		0.00049	0.00049	0.00049	VT-2														
		制御建屋冷暖厚ユニットまわり		-0.00049	-0.00049	-0.00049															
		制御建屋送気ファン入口ライン		-0.00147	-0.00147	-0.00147															

※SAM時使用圧力での漏えい検査ができない範囲については、SAM時使用圧力相当の強度評価を実施



重大事故等クラス2機器供用期間中検査7年計画表 (クラス1機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器 (1/2)

維持規格 JSME S NA1-2012./2013./2014		美浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
B1.101	B-A	上部胴と中間胴との周溶接継手	体積 100%	クラス1機器供用期間中検査で管理
		中間胴と下部胴との周溶接継手	体積 100%	
B1.102		中間胴の長手溶接継手	体積 100%	
B2.111		下部胴の長手溶接継手	体積 100%	
B2.121		下部胴と下部鏡板との周溶接継手	体積 100%	
B2.122		下部鏡板の周溶接継手	体積 100%	
B3.105	B-C	下部鏡板の長手溶接継手	体積 100%	
B3.106		上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積 100%	
B3.10	B-D	上部鏡板と上部蓋フランジとの溶接継手	体積 100%	
		冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積 100%	
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積 100%	
B3.20		冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積 100%	
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積 100%	

1. 原子炉容器 (2/2)

項目番号		維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)		備考
カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B5.10	冷却材入口管台とセーフエンドとの溶接継手 冷却材出口管台とセーフエンドとの溶接継手	体積及び表面 体積及び表面	100% 100%		
B6.10	ナット	VT-1	100%		
B6.30	スタッドボルト	体積	100%		
B6.40	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	100%		
B6.50	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%		
B7.10	T/Cハウジングのマーマンクランプ用ボルト、ナット	VT-1	25%		
B14.10	制御棒駆動ハウジングの溶接継手	体積又は表面	最外周の25%		
B15.10	圧力保持範囲	VT-2	漏えい試験時100%		
F1.41	支持構造物	VT-3	25%		
G1.10	原子炉容器の内部	VT-3	7.5%		
G1.40	内部取付け物	VT-3	7.5%		
G1.40	構造物・取付け物	VT-3	7.5%		
G1.50	炉心支持構造物	VT-3	7.5%		

クラス1 機器 供用期間中検査で管理



2. 加圧器 (1/2)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
B2.11		上部鏡板と上部胴との周溶接継手	体積 5%	
		下部鏡板と下部胴との周溶接継手	体積 5%	
B2.12	B-B	上部胴の長手溶接継手	体積 10%	
		下部胴の長手溶接継手	体積 10%	
B2.13		上部胴と下部胴との周溶接継手	体積 5%	
		管台と容器との溶接継手		
B3.30		安全弁用管台と容器との溶接継手		
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手		
		スプレ用管台と容器との溶接継手	体積	管台数の 25%
		サージ用管台と容器との溶接継手		
	B-D	管台内面の丸みの部分		
B3.40		安全弁用管台内面の丸みの部分		
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分		
		スプレ用管台内面の丸みの部分	体積	管台数の 25%
		サージ用管台内面の丸みの部分		
		管台とセーフエントとの溶接継手 (呼び径100A以上)		
B5.40	B-F	安全弁用管台とセーフエントとの溶接継手		
		逃がし弁用管台とセーフエントとの溶接継手		
		スプレ用管台とセーフエントとの溶接継手	体積 及び表面	管台数の 25%
		サージ用管台とセーフエントとの溶接継手		

クラス1 機器 供用期間中 検査で 管理

2. 加圧器 (2/2)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)		備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	クラス1機器供用期間中検査で管理		
B7.20	B-G-2	マンホールの取付ボルト	VT-1	2.5%			
B8.20	B-H	支持部材の容器への取付溶接継手 (支持スカーットの溶接継手)	表面	7.5%			
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%			
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	2.5%			

3. 蒸気発生器 (1/1)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)		備考
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	
B2.40	B-B	管台と水室鏡板との溶接継手	体積	代表1基の2.5%
B3.60	B-D	冷却材入口管台及び出口管台の内面の丸み部分	体積	代表1基の2.5%
B5.70	B-F	冷却材入口管台及び出口管台とセーフエントとの溶接継手	体積及び表面	代表1基の2.5%
B7.30	B-G-2	1次側マンホールの取付ボルト	VT-1	代表1基の2.5%
B8.30	B-H	支持部材の容器への取付溶接継手 (水室鏡とサポートバンドとの溶接継	表面	代表1基の7.5%
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	10000/時
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基の2.5%

クラス1機器供用期間中検査で管理

\* : 「供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性検査」も合わせて実施

4. 配管 (1/5)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
B9.11	B-J	配管の周溶接継手 (呼び径100A以上)		検査範囲
		主冷却材管	体積	25%
		加圧器サージライン	体積	25%
		アキュムレータ注入ライン	体積	25%
		余熱除去ポンプ入ロライン	体積	25%
		加圧器安全弁ライン	体積	25%
		低温側低圧注入ライン	体積	25%
		加圧器逃がしライン	体積	25%
B9.21		配管の周溶接継手 (呼び径100A未満)		
		主冷却材管	表面	25%
		加圧器逃がしライン	表面	25%
		充てんライン	表面	25%
		低温側ほう酸注入ライン	表面	25%
ク ラ ス 1 機 器 供 用 期 間 中 検 査 で 管 理				

4. 配管 (2/5)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
B9.31		母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上)		
		主冷却材管	体積	2.5%
B9.32	B-J	配管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満)		
		主冷却材管	表面	2.5%
B9.40		低溫側低圧注入ライン	表面	2.5%
		ソケット溶接継手		
		主冷却材管	表面	2.5%
		低溫側ほう酸注入ライン	表面	2.5%
B10.20	B-K	耐圧部分への支持部材の取付溶接継手		
		加圧器サージライン	表面	7.5%
		加圧器逃がしライン	表面	7.5%
		充てんライン	表面	7.5%

クラス1 機器 供用 期間 中 検査 管理

4. 配管 (3/5)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
B10.20	耐圧部分への支持部材の取付溶接継手			クラス1機器供用期間中検査で管理
	B-K	糸熱除去ポンプ入ロライン アキュムレータ注入ライン	表面 表面	
B15.50	圧力保持範囲 支持構造物	VT-2	漏えい 試験時 100%	
F1.10	F-A			
		加圧器サージライン	VT-3	

4. 配管 (4/5)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
F1.10	F-A	支持構造物		
		充てんライン	VT-3	25%
		加圧器逃がしライン	VT-3	25%
		余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	25%
クラス1機器供用期間中検査で管理				

4. 配管 (5/5)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014			美浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)		備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲				
F1.10		支持構造物				クラス1機器供用期間中検査で管理		
		アキユムレータ注入ライン	VT-3	25%				
		低温側低圧注入ライン	VT-3	25%				
		低温側ほう酸注入ライン	VT-3	25%				



5. ポンプ (1/1)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)	ク ラ ス 1 機 器 供 用 期 間 中 検 査 で 管 理	備 考
B6.180				スタットボルト	体 積	代表1台の 25%			
B6.190	B-G-1			フランジ表面	VT-1	代表1台の 25%			
B6.200				ナット及びワッシャー	VT-1	代表1台の 25%			
B10.30	B-K			ポンプ支持部材取付溶接継手	表 面	代表1台 7.5%			
B12.10	B-L-1			ポンプケーシングの溶接継手	体 積 又は表面	代表1台の 25%			
B12.20	B-L-2			ポンプケーシングの内表面	VT-3	代表1台の 100%			
B15.60	B-P			圧力保持範囲	VT-2	漏えい 試験時 100%			
F1.41	F-A			支持構造物	VT-3	代表1台の 25%			

6. 弁 (1/2)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (7カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
B7.70 B-G-2	圧力保持用ボルト、ナット			クラス1機器供用期間中検査で管理
	加圧器安全弁ライン	VT-1	代表1個の2.5%	
	加圧器逃がし弁ライン (1)	VT-1	代表1個の2.5%	
	加圧器逃がし弁ライン (2)	VT-1	代表1個の2.5%	
	低温側低圧注入ライン	VT-1	代表1個の2.5%	
	充てんライン	VT-1	代表1個の2.5%	
	余熱除去ポンプ入口ライン	VT-1	代表1個の2.5%	
	アキユムレータ注入ライン	VT-1	代表1個の2.5%	

6. 弁 (2/2)

項目番号		カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014	美浜発電所第3号機検査計画(7カ年)		備考
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲		
B12.30	B-M-1	圧力保持用ボルト、ナット 低温側ほう酸注入ライン 高温側補助注入ライン	表面	代表1個の2.5%		
			表面	代表1個の2.5%		
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面 加圧器安全弁ライン 余熱除去ポンプ入口ロライン アキュムレータ注入ライン 高温側低圧注入ライン 低温側低圧注入ライン	VT-3	同一グループで1個		
			VT-3	同一グループで1個		
			VT-3	同一グループで1個		
			VT-3	同一グループで1個		
			VT-3	同一グループで1個		
			VT-3	漏えい試験時100%		
B15.70	B-P	圧力保持範囲 支持構造物	VT-2			
F1.41	F-A	加圧器安全弁ライン 加圧器逃がし弁ライン(1) 加圧器逃がし弁ライン(2) 余熱除去ポンプ入口ロライン 抽出ライン	VT-3	代表1個の2.5%		
			VT-3	代表1個の2.5%		
			VT-3	代表1個の2.5%		
			VT-3	代表1個の2.5%		
			VT-3	代表1個の2.5%		

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画表（クラス2機器供用期間中検査範囲）

1. 蒸気発生器

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画（10カ年）		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
C1.10	中間胴と下部胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	※1
	凹錐胴と中間胴の周溶接溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	※1
	C-A 上部胴と凹錐胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	※1
C1.20	上部胴と上部胴の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	※1
C1.30	下部胴と管板の周溶接継手	体積	1つの容器の7.5%	※1
C2.21	給水入口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	1つの容器の7.5%	※1
	蒸気出口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	1つの容器の7.5%	※1
C2.22	蒸気出口管台内面の丸みの部分	体積	1つの容器の7.5%	※1
	給水入口管台内面の丸みの部分	体積	1つの容器の7.5%	※1

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

2. 余熱除去クーラ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
C1.20	C-A	管側鏡板と管側フランジとの周溶接継手	体積 1つの 容器の 7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
		管側入口管台と管側鏡板との溶接継手	体積 及び表面 7.5%	
C2.21	C-B	管側出口管台と管側鏡板との溶接継手	体積 及び表面 7.5%	

3. 内部スプレクーラ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
C1.10	管側鏡板と管側フランジとの溶接継手	体積	1つの 容器の 7.5%	※1
C2.21	出入口管台と管側胴(鏡板)との溶接継手	体積及び表面	1つの 容器の 7.5%	※1
C2.22	呼び径300Aを超える管台内面の丸みの部分	体積	1つの 容器の 7.5%	※1

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

4. ほう酸注入タンク

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
C1.20	C-A 胴と鏡板との溶接継手	体積	7.5%	※1
C2.21	C-B 管台と胴(鏡板)との溶接継手	体積及び表面	7.5%	※1
C3.10	C-C 支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%	※1
C4.10	C-D ホット及び冷込みボルト	体積	7.5%	※1
F1.43	F-A 支持脚	VT-3	7.5%	※1

クラス2 機器 供用期間中 検査で 管理

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

5. 配管 (1/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)	
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲
C3.20 C-C	配管支持部材取付溶接継手		
	主給水ライン	表面	7.5%
	主蒸気ライン	表面	7.5%
	タービン動補給水ポンプ 駆動蒸気管	表面	7.5%
	内部スプレポンプ入ロライン	表面	7.5%
	内部スプレポンプ出ロライン	表面	7.5%
	内部スプレクローラ入ロライン	表面	7.5%
	内部スプレクローラ出ロライン	表面	7.5%
	格納容器再循環ポンプ 出ロライン (CSS)	表面	7.5%
	RHRS-CSS連絡ライン	表面	7.5%
	恒設代替低圧注入ポンプ 出ロライン	表面	7.5%
	原子炉下部キャビタイ 注水ポンプ出ロライン	表面	7.5%
	ほう酸注入タンク出ロライン	表面	7.5%

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

備考

※1

※1

※1

※1

※1

※1

※1

※1

※1

※1

※1

※1

※1



5. 配管 (2/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲
C3.20	C-C	余熱除去クーラーバイパスライン	表面 7.5%
		高温側ループ注入ライン	表面 7.5%
		低温側ループ注入ライン	表面 7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ入口ライン	表面 7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	表面 7.5%
		余熱除去ポンプ入口ライン	表面 7.5%
		余熱除去ポンプ出口ライン	表面 7.5%
		余熱除去クーラー出口ライン	表面 7.5%
		低温側ほう酸注入ライン	表面 7.5%
		燃料取替用水タンク出口ライン (SIS)	表面 7.5%
格納容器再循環サンプリングライン (RHRS)	表面 7.5%		

クラス2機器供用期間中検査で管理

※2：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む

備考

※2

※2

5. 配管 (3/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
C5.11	C-F	配管の周溶接継手 (呼び径100A超、肉厚9.5mm超)		※1
		主給水ライン	体積及び表面 7.5%	※1
		主蒸気ライン	体積及び表面 7.5%	※1
		主蒸気逃がしライン	体積又は表面 7.5%	※1
		タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気管	体積又は表面 7.5%	※1
		ほう酸注入タンク入ロライン	体積及び表面 7.5%	※1
		ほう酸注入タンク入ロライン (機器付き配管)	体積及び表面 7.5%	※1
		ほう酸注入タンク出ロライン	体積及び表面 7.5%	※1
		ほう酸注入タンク出ロライン (機器付き配管)	体積及び表面 7.5%	※1
		内部スプレッポンプ入ロライン	体積又は表面 7.5%	※1

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

5. 配管 (4/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
C5.11	低温側ループ注入ライン	体積及び表面	7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
	余熱除去ポンプ入口ライン	体積又は表面	7.5%	
	格納容器再循環サンプ戻りライン (RRRS)	体積又は表面	7.5%	
	格納容器再循環サンプ出口ライン (CSS)	体積又は表面	7.5%	
	燃料取替水タンク出口ライン (SIS)	体積又は表面	7.5%	
	燃料取替水タンク出口ライン (CSS)	体積又は表面	7.5%	

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

5. 配管 (5/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考	
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲		
C5.12	C-F	配管の長手溶接継手 (呼び径100A超、肉厚9.5mm超)			
		主蒸気ライン	体積及び表面	7.5% ※1	
C5.21	C-F	配管の固溶接継手 (呼び径50A以上100A以下、肉厚5mm超)			
		ほう酸注入タンク入ロライン	表面	7.5% ※1	
		ほう酸注入タンク出ロライン	表面	7.5% ※1	
		低温側ほう酸注入ライン	表面	7.5%	
		充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	表面	7.5% ※2	
		充てん/高圧注入ポンプ出口パイパスライン	表面	7.5% ※1	
		C充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン～C充てん/高圧注入ポンプ入口冷却水ライン接続ライン	表面	7.5%	
		C充てん/高圧注入ポンプ出口冷却水ライン～C充てん/高圧注入ポンプ入口ロライン接続ライン	表面	7.5% ※1	

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加  
 ※2：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む

5. 配管 (6/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	
C5.30	C-F	ソケット溶接継手		クラス2機器供用期間中検査で管理
		低温側ほう酸注入ライン	表面	
C5.41	C-F	配管の固溶接継手 (呼び径50Aを超える母管と管台及び母管と枝管との溶接継手)	表面	※1
		C充てん/高圧注入ポンプ出口冷却水ライン～C充てん/高圧注入ポンプ入口ライン接続ライン	表面	

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

5. 配管 (7/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
F1.21	F-A	支持構造物		
		主給水ライン	VT-3 7.5%	※1
		主蒸気ライン	VT-3 7.5%	※1
		内部スプレポンプ入ロライン	VT-3 7.5%	※1
		内部スプレポンプ出ロライン	VT-3 7.5%	※1

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

5. 配管 (8/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
FL.21 F-A	支持構造物			
	内部スプレクーラー入ロライン	VT-3	7.5%	※1
	内部スプレクーラー出ロライン	VT-3	7.5%	※1
	RHRS-CSS連絡ライン	VT-3	7.5%	※1
	恒設代替低圧注水ポンプ出ロライン	VT-3	7.5%	※1
	原子炉下部キャビティ注水ポンプ出ロライン	VT-3	7.5%	※1

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

5. 配管 (9/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
F1.21 F-A	支持構造物			
	タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気管	VT-3	7.5%	※1
	ほう酸注入タンク入ロライン	VT-3	7.5%	※1
	ほう酸注入タンク出ロライン	VT-3	7.5%	※1
	余熱除去ポンプ入ロライン	VT-3	7.5%	

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加



5. 配管 (10/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
		支持構造物		
		余熱除去ポンプ出口ライン	VT-3 7.5%	
F1.21	F-A	余熱除去クーラー出口ライン	VT-3 7.5%	
		余熱除去クーラーバイパスライン	VT-3 7.5%	
クラス2機器供用期間中検査で管理				

5. 配管 (11/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
Fl.21	F-A	支持構造物		
		高温側ループ注入ライン	VT-3 7.5%	
		低温側ループ注入ライン	VT-3 7.5%	
		低温側ほう酸注入ライン	VT-3 7.5%	
		充てん/高圧注入ポンプ 入口ライン	VT-3 7.5%	

クラス2機器供用期間中検査で管理

※2

※2：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む

5. 配管 (12/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
Fl.21	F-A	支持構造物		
		充てん/高圧注入ポンプ 出口ライン	VT-3	7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ 出口バイパスライン	VT-3	7.5%
		ほう酸注入ライン	VT-3	7.5%
		C充てん/高圧注入ポンプ出口冷却 水ラインへC充てん/高圧注入ポン プ入口ライン接続ライン	VT-3	7.5%
		C充てん/高圧注入ポンプ出口ライ ンへC充てん/高圧注入ポンプ入口 冷却水ライン接続ライン	VT-3	7.5%

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加  
 ※2：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む

5. 配管 (13/13)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
Fl.21 F-A	支持構造物			
	格納容器再循環サンプ戻りライン (RHRS)	VT-3	7.5%	
	格納容器再循環サンプ出口ライン (CSS)	VT-3	7.5%	※1
	燃料取替用水タンク出口ライン (SIS)	VT-3	7.5%	
	燃料取替用水タンク出口ライン (CSS)	VT-3	7.5%	※1

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

6. 充てん／高圧注入ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
C3.30	C-C ポンプ支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%	※1
C4.30	C-D ケーシングボルト	体積	代表1台の77.5%	※1
C6.10	C-G ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の77.5%	※1
F1.43	F-A 支持構造物ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の77.5%	※1

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

7. 余熱除去ポンプ

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面 代表1台 の77.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理
F1.43	F-A	支持構造物ポンプ台板脚	VT-3 代表1台 の77.5%	

8. 内部スプレッドシート

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
C6.10	C-G ケーシングの溶接継手	表面	代表1台 の77.5%	※1
F1.43	F-A 支持構造物ポンプ台板脚	VT-3	代表1台 の77.5%	

クラス2機器供用期間中検査で管理

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加

9. 弁 (1/3)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
F1.43 F-A	支持構造物			
	主蒸気逃がしライン	VT-3	代表1個 の7.5%	※1
	タービン動補助給水ポンプ 駆動蒸気管	VT-3	代表1個 の7.5%	※1
	内部スプレクターラ出口ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	※1
	RHRS-CSS連絡ライン	VT-3	代表1個 の7.5%	※1
	燃料取替用水タンク 出口ライン (CSS)	VT-3	代表1個 の7.5%	※1
	ク ラ ス 2 機 器 供 用 期 間 中 検 査 で 管 理			

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加



9. 弁 (2/3)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
F1.43	F-A	支持構造物		
		充てん/高圧注入ポンプ 入口ライン	VT-3	代表1個 の7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ 出口ライン (1)	VT-3	代表1個 の7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ 出口ライン (2)	VT-3	代表1個 の7.5%
クラス2機器供用期間中検査で管理				※1
				※2

※1：非破壊検査免除の適用除外による追加  
 ※2：非破壊検査免除の適用除外による追加を含む

9. 弁 (3/3)

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画 (10カ年)		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査範囲	
F1.43	F-A	支持構造物		
		格納容器再循環サンプ戻りライン (RHRS)	VT-3 代表1個 の7.5%	
		全熱除去クーラ出口ライン (1)	VT-3 代表1個 の7.5%	
		全熱除去クーラ出口ライン (2)	VT-3 代表1個 の7.5%	
		全熱除去クーラ出口ライン (3)	VT-3 代表1個 の7.5%	
		全熱除去クーラバイパスライン	VT-3 代表1個 の7.5%	
		低温側ほう酸注入ライン	VT-3 代表1個 の7.5%	
ク ラ ス 2 機 器 供 用 期 間 中 検 査 で 管 理				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査7年計画表（クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査範囲）

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画（7カ年）		備考
項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
-	-	配管の円周方向溶接部		クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査で管理
			充てんライン	
		再生クーラー連絡管		
		充てんライン連絡管	体積 25%	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査7年計画表（クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査範囲）

原子炉容器

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画（7カ年）		備考
項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法 検査範囲	
-	-	600系Ni基合金製の底部		クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査で管理
		底部管台	100% (3.5年) BMV	

BMV：ベアメタル検査

重大事故等クラス2機器供用期間中検査7年計画表（原子炉格納容器供用期間中検査範囲）

1. 原子炉格納容器

維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所第3号機検査計画（10カ年）		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
E8.10	機器搬入口用ボルト締付け部	VT-4	25%	原子炉格納容器供用期間中検査で管理
E-G				

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画表

1. 漏えい検査 (1/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)										備考						
		検査の対象箇所	機器名	SA時使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法※	2016～2020年度 第25保全サイクル	2021年度 第26保全サイクル	2022年度	2023年度 第27保全サイクル	2024年度 第28保全サイクル	2025年度	2026年度 第29保全サイクル	2027年度 第30保全サイクル		2028年度	2029年度 第31保全サイクル				
D2.10 D2.30	D-B	電源車内燃機関		-	VT-2					○	-									
		電源車 (緊急時対策所用) 内燃機関		-	VT-2					○	-									
		電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) 内燃機関		-	VT-2					○	-									
		冷却水ポンプ (電源車)		-	VT-2					○	-									
		冷却水ポンプ (電源車 (緊急時対策所用))		-	VT-2					○	-									
		冷却水ポンプ (電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用))		-	VT-2					○	-									
		燃料タンク (電源車)		大気圧	VT-2					○	-									
		燃料タンク (電源車 (緊急時対策所用))		大気圧	VT-2					○	-									
		燃料タンク (電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用))		大気圧	VT-2					○	-									
		可搬式オイルポンプ		1.05	VT-2											○				
		可搬式オイルポンプ入口ライン接続用10mホース		0.78	VT-2												○			
		可搬式オイルポンプ出口ライン接続用75m、10mホース		1.0	VT-2													○		

※SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。  
 具体的な実施方法については、今後の成り立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。



重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画表

1. 漏えい検査 (3/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSMESNA1-2012/2013/2014	美浜発電所 第3号機 検査計画(10カ年)										備考			
			検査の対象箇所 機器名	S.A時使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法※	2016~ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度 -	2026年度 第29保全 サイクル		2027年度 第30保全 サイクル	2028年度 -	2029年度 第31保全 サイクル
D2.10 D2.30	D-B		送水車	1.6	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
			大容量ポンプ (放水砲用)	1.2	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
			大容量ポンプ (放水砲用) 取水用20mホース	0.25	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
			大容量ポンプ (放水砲用) 送水用50m、20m、10m、5mホース	1.2	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
			放水砲	1.2	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
			送水車吸水用10mホース	0.2	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
			送水車吸水用5mホース	0.2	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
			送水車送水用10m、5mホース	1.6	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
			送水車送水用50m、10m、6m、2mホース	1.6	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
			可搬式代替低圧注水ポンプ	1.7	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
可搬式低圧代替低圧注水ポンプ~可搬式代替低圧注水ポンプ出口接続口	1.7	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○			
可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース (フランジ継手付、フランジ継手なし)	1.7	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○			
大容量ポンプ	1.2	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○			

※S.A時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。



重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画表

1. 漏えい検査 (4/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014 検査の対象箇所 機器名	SAM時使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法*	美浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)										備考				
					2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 第27保全 サイクル	2023年度 第28保全 サイクル	2024年度 第29保全 サイクル	2025年度 第30保全 サイクル	2026年度 第31保全 サイクル	2027年度 第32保全 サイクル	2028年度 第33保全 サイクル	2029年度 第34保全 サイクル						
D2.10 D2.30	D-B	大容量ポンプ取水用20mホース	0.25	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		大容量ポンプ送水用50m、20m、10m、5mホース	1.2	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		タンクローリー	0.024	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		タンクローリー給油ライン接続用10mホース (燃料油貯蔵タンク用)	0.78	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		タンクローリー給油ライン接続用30mホース	1	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		屋外燃料油取出ライン用短管接続口 (上流側) ~ 屋外燃料油取出ライン用短管接続口 (下流側)	0.6	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		軽油用ドラム缶	大気圧	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		送水車燃料タンク	大気圧	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大容量ポンプ燃料タンク	大気圧	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
大容量ポンプ (放水砲用) 燃料タンク	大気圧	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

\*SAM時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。  
具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画表

1. 漏えい検査 (5/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014		美浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)										備考		
		検査の対象箇所 機器名	S.A時使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法*	2016～ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 第28保全 サイクル	2025年度	2026年度 第29保全 サイクル	2027年度 第30保全 サイクル	2028年度		2029年度 第31保全 サイクル	
D2.10 D2.30	D-B	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	0.33	VT-2	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-		
		窒素ポンベ (1次系冷却水タンク加圧用)	14.7	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○		
		窒素ポンベ (1次系冷却水タンク加圧用) ～1次系冷却水タンク加圧用窒素供給用マニホールド接続用座 (上流側)	17.16/0.98	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		1次系冷却水タンク窒素供給用3.5mフレキシブルホース	0.98	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ吸水用10mフレキシブルホース	0.33	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
		可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ送水用10mフレキシブルホース	0.33	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
		格納容器雰囲気ガスサンプリング冷却水屋外排水用50mフレキシブルホース	0	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
		窒素ポンベ (アニュラス循環系ダンパ作動用)	14.7	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
		窒素ポンベ (アニュラス循環系ダンパ作動用) ～ホース先端	17.16/0.98	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
		アニュラスダンパ制御用空気ライン窒素供給用6mフレキシブルホース	0.98	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
可搬型格納容器ガス試料圧縮装置入口側接続用5mフレキシブルホース	0.98	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-			
可搬型格納容器ガス試料圧縮装置出口側接続用5mフレキシブルホース	0.98	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-			
可搬型格納容器内水素濃度計則装置入口側接続用8mフレキシブルホース	0.98	VT-2	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-			

\*S.A時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の他の方法にて検査を実施する。具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画表

1. 漏えい検査 (6/7)

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014	美浜発電所 第3号機 検査計画 (10カ年)												備考
			検査の対象箇所 機器名	SA時使用圧力 (MPa) (工認記載値)	検査方法*	2016～ 2020年度 第25保全 サイクル	2021年度 第26保全 サイクル	2022年度 第27保全 サイクル	2023年度 第28保全 サイクル	2024年度 第29保全 サイクル	2025年度 第30保全 サイクル	2026年度 第31保全 サイクル	2027年度 第32保全 サイクル	2028年度 第33保全 サイクル	
D2.10 D2.30	D-B	可搬型格納容器内水素濃度計則装置出口側接続用8mフレキシブルホース 空気供給装置 仮設ダクト (緊急時対策所非常用空気浄化ファン～緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット) 仮設ダクト (緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット～緊急時対策所接続口) マニホールド (空気供給装置用) ホース (空気供給装置用)	0.98	VT-2											
			19.6	VT-2		○ 1カード ル	○ 6カード ル	○ 6カード ル							
			0.0038	VT-2											
			0.0038	VT-2											
			19.6/0.98	VT-2											
			1	VT-2											

※SA時使用圧力にて検査を実施できない箇所については、技術基準第58条第2項に記載の「他の方法」にて検査を実施する。  
具体的な実施方法については、今後の成立性確認ならびに原子力事業本部からの指示等により3サイト統一する計画である。



クラス1配管特別検査計画

項目番号	カテゴリ	維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014	美浜発電所 第3号機 検査計画※1							備考				
			検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数※2	検査方法	検査範囲	2021年度 第26保全 サイクル		2022年度 -	2023年度 第27保全 サイクル	2024年度 -	2025年度 第28保全 サイクル
			配管の耐圧部分の溶接継手											
			加圧器サージライン	体積	100%	1	UT	1箇所/ 保全サイクル	1箇所	-	1箇所	-	1箇所	
			加圧器逃がしライン	体積	100%	1	UT	1箇所/ 保全サイクル	1箇所	-	1箇所	-	1箇所	
			加圧器安全弁ライン	体積	100%	3	UT	3箇所/ 保全サイクル	3箇所	-	3箇所	-	3箇所	
			加圧器スプレライン	体積	100%	5	UT	5箇所/ 保全サイクル	5箇所	-	5箇所	-	5箇所	
			蓄圧注入ライン	体積	100%	4	UT	4箇所/ 保全サイクル	4箇所	-	4箇所	-	4箇所	
			低温側ほう酸注入ライン	体積	100%	2	UT	2箇所/ 保全サイクル	2箇所	-	2箇所	-	2箇所	
			高温側低圧注入ライン	体積	100%	2	UT	2箇所/ 保全サイクル	2箇所	-	2箇所	-	2箇所	
			余熱除去ポンプ入口ライン	体積	100%	3	UT	3箇所/ 保全サイクル	3箇所	-	3箇所	-	3箇所	

※1：事業本部指示文書「大飯3号機 加圧器スプレライン配管溶接部における有意な欠陥指示の原因調査結果を踏まえた個別検査について」（原保計第58号）に従い、3定検に亘って検査を実施する。

※2：試験カテゴリB-J、項目番号B9.11の溶接継手のうち、「運転温度200℃以上」、「応力改善の実施の有無」、「全層TIG溶接の適用の有無」、「過大な溶接入熱の可能性の有無」及び「形状による影響」の条件により抽出される箇所

## 定期事業者検査時の安全管理の計画







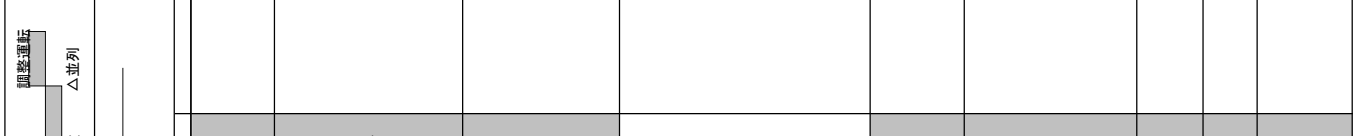


定期事業者検査時の安全管理の計画

(4/22)

主要工程		RCS水位												
項目		RCS水位												
保安規定条文		RCS水位												
原子炉停止後の除熱機能		RCS水位												
原子炉冷却機能		RCS水位												
第67条 復水タンク	モード3, 4 (蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	要求モード	要求内容 ・復水タンクは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・85条(表85-14)の運転上の制限も確認する。 ・復水タンク水量(有効水量): 480m <sup>3</sup> 以上											
第51条 アキユムレータ	モード3(1次冷却材圧力が6.89MPa(gage)を超)(原子炉起動時のモード3(1次冷却材圧力が6.89MPa(gage)を超えた時点)から、全ての出口電動弁が全開となるまでの間は除く)	要求モード	要求内容 ・アキユムレータは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・アキユムレータが運転上の制限を逸脱した場合は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。 ・アキユムレータほろろ測定: 2.600ppm以上 ・アキユムレータほろろ水量(有効水量): 29.0m <sup>3</sup> 以上 ・アキユムレータ圧力: 4.04MPa(gage)以上 ・アキユムレータ出口電動弁が全開											
第52条 非常用炉心冷却系	モード3	要求モード	要求内容 ・高圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・高圧注入系が動作不能時は、第85条(表85-3および表85-4)の運転上の制限も確認する。 ・低圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・高圧注入系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。 ・低圧注入系の2系統が動作可能											
第54条 燃料取替用水タンク	モード4	要求モード	要求内容 ・高圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・高圧注入系が動作不能時は、第85条(表85-3および表85-4)の運転上の制限も確認する。 ・充てん系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・充てん系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。 ・低圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・低圧注入系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。 ・高圧注入系または充てん系が動作可能 ・高圧注入系1系統以上が動作可能(余裕容量ポンプを用いて系統空運転を行っている場合は、低圧注入系への切替操作が可能であることを条件に、動作不能とはみなさない。)											
第36条 1次冷却材の温度・圧力および1次冷却材温度変化率	モード3, 4	要求モード	要求内容 ・燃料取替用水タンクは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・85条(表85-14)の運転上の制限も確認する。 ・燃料取替用水タンクほろろ水量(有効水量): 1325m <sup>3</sup> 以上 ・1次冷却材温度・圧力が原子炉容器の非延性破壊防止のための1次冷却材温度・圧力の制限範囲内 ・1次冷却材温度変化率(原子炉容器): 55℃/h以下** ・1次冷却材温度変化率(加圧器) 加熱率: 55℃/h以下** ・1次冷却材温度変化率(加圧器) 冷却率: 110℃/h以下** ※: 瞬時の制限値の過渡許容											
第43条 加圧器	モード3	要求モード	要求内容 ・加圧器水位が計器バンの94%以下 ・所与非常用母線から受電している加圧器ヒータ2系統が動作可能											
第44条 加圧器安全弁	モード3, 4 (1次冷却材温度140℃超)	要求モード	要求内容 ・加圧器安全弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・加圧器安全弁全てが動作可能											
第45条 加圧器過かし弁	モード3	要求モード	要求内容 ・加圧器過かし弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・加圧器過かし弁が動作不能時は、第85条(表85-3)の運転上の制限も確認する。 ・加圧器過かし弁全てが動作可能											

RCS水位		RCS水位												
項目		RCS水位												
保安規定条文		RCS水位												
原子炉停止後の除熱機能		RCS水位												
原子炉冷却機能		RCS水位												
第67条 復水タンク	モード3, 4 (蒸気発生器が熱除去のために使用されている場合)	要求モード	要求内容 ・復水タンクは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・85条(表85-14)の運転上の制限も確認する。 ・復水タンク水量(有効水量): 480m <sup>3</sup> 以上											
第51条 アキユムレータ	モード3(1次冷却材圧力が6.89MPa(gage)を超)(原子炉起動時のモード3(1次冷却材圧力が6.89MPa(gage)を超えた時点)から、全ての出口電動弁が全開となるまでの間は除く)	要求モード	要求内容 ・アキユムレータは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・アキユムレータが運転上の制限を逸脱した場合は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。 ・アキユムレータほろろ測定: 2.600ppm以上 ・アキユムレータほろろ水量(有効水量): 29.0m <sup>3</sup> 以上 ・アキユムレータ圧力: 4.04MPa(gage)以上 ・アキユムレータ出口電動弁が全開											
第52条 非常用炉心冷却系	モード3	要求モード	要求内容 ・高圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・高圧注入系が動作不能時は、第85条(表85-3および表85-4)の運転上の制限も確認する。 ・低圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・高圧注入系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。 ・低圧注入系の2系統が動作可能											
第54条 燃料取替用水タンク	モード4	要求モード	要求内容 ・高圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・高圧注入系が動作不能時は、第85条(表85-3および表85-4)の運転上の制限も確認する。 ・充てん系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・充てん系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。 ・低圧注入系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・低圧注入系が動作不能時は、第85条(表85-4)の運転上の制限も確認する。 ・高圧注入系または充てん系が動作可能 ・高圧注入系1系統以上が動作可能(余裕容量ポンプを用いて系統空運転を行っている場合は、低圧注入系への切替操作が可能であることを条件に、動作不能とはみなさない。)											
第36条 1次冷却材の温度・圧力および1次冷却材温度変化率	モード3, 4	要求モード	要求内容 ・燃料取替用水タンクは、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・85条(表85-14)の運転上の制限も確認する。 ・燃料取替用水タンクほろろ水量(有効水量): 1325m <sup>3</sup> 以上 ・1次冷却材温度・圧力が原子炉容器の非延性破壊防止のための1次冷却材温度・圧力の制限範囲内 ・1次冷却材温度変化率(原子炉容器): 55℃/h以下** ・1次冷却材温度変化率(加圧器) 加熱率: 55℃/h以下** ・1次冷却材温度変化率(加圧器) 冷却率: 110℃/h以下** ※: 瞬時の制限値の過渡許容											
第43条 加圧器	モード3	要求モード	要求内容 ・加圧器水位が計器バンの94%以下 ・所与非常用母線から受電している加圧器ヒータ2系統が動作可能											
第44条 加圧器安全弁	モード3, 4 (1次冷却材温度140℃超)	要求モード	要求内容 ・加圧器安全弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・加圧器安全弁全てが動作可能											
第45条 加圧器過かし弁	モード3	要求モード	要求内容 ・加圧器過かし弁は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・加圧器過かし弁が動作不能時は、第85条(表85-3)の運転上の制限も確認する。 ・加圧器過かし弁全てが動作可能											



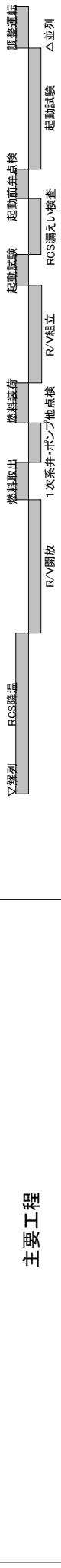






定期事業者検査時の安全管理の計画

主要工程		RCS水位																			
項目		RCS水位																			
保安規定条文		RCS水位																			
安全上特に重要な関連機能 (電源供給)		RCS水位																			
安全上特に重要な関連機能 (海水供給他)		RCS水位																			
安全上特に重要な関連機能 (制御用空気系)		RCS水位																			
安全上特に重要な関連機能 (制御室及びその送へい・換気・空調系)		RCS水位																			
制御室外からの安全停止機能		RCS水位																			
安全上特に重要な関連機能 (電源供給)	第79条 所内非常用母線	要求モード モード3,4	要求内容 次の所内非常用母線が受電していること(所内非常用母線の電源の自動切替の間は、運転上の制限を適用しない。) ・2つの非常用高圧母線 ・2つの非常用低圧母線 ・2つの非常用直流通母線 ・4つの非常用計器用母線(非常用計器用母線に電源供給する計器用電源(無停電電源装置)は、重大事故等対処設備を兼ねる。)	3	4	5-1	5-2	6-1	6-2	モード外	6-2	6-1	5-1	5-2	5-1	4	5-1	4	4	3	
安全上特に重要な関連機能 (海水供給他)	第80条 所内非常用母線	モード5,6, 照射済燃料移動中	所要の設備の維持に必要な次の所内非常用母線が受電していること(所内非常用母線の電源の自動切替の間は、運転上の制限を適用しない。) ・非常用高圧母線 ・非常用低圧母線 ・非常用直流通母線 ・非常用計器用母線(非常用計器用母線に電源供給する計器用電源(無停電電源装置)は、重大事故等対処設備を兼ねる。)			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△					
安全上特に重要な関連機能 (海水供給他)	第68条 原子炉補機冷却水系	モード3,4	・原子炉補機冷却水系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・原子炉補機冷却水系が動作不能時は、第85条(表85-7)の運転上の制限も確認する。 ・原子炉補機冷却水系2系統が動作可能	×	×											×					×
安全上特に重要な関連機能 (海水供給他)	第69条 原子炉補機冷却水系	モード3,4	・原子炉補機冷却水系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 ・原子炉補機冷却水系が動作不能時は、第85条(表85-7)の運転上の制限も確認する。 ・原子炉補機冷却水系2系統が動作可能	×	×											×					×
安全上特に重要な関連機能 (制御用空気系)	第70条 制御用空気系	モード3,4	・制御用空気圧力(母管圧力)が0.5MPa[gage]以上	×	×																×
安全上特に重要な関連機能 (制御室及びその送へい・換気・空調系)	第34条 計測および制御設備(中央制御室非常用循環系計装)	モード3,4 計測および使用済燃料移動中	・中央制御室非常用循環系(2系統)の運転再開は、所定の中央制御室非常用循環系につき2系統 ・(中央制御室非常用循環系)非常用炉心冷却系動作;2系統 ・中央制御室非常用循環系は、重大事故等対処設備を兼ねる。 中央制御室非常用循環系が動作不能時は、第85条(表85-17)の運転上の制限も確認する。 ・中央制御室非常用循環系2系統が動作可能	×	×											×					×
制御室外からの安全停止機能	第34条 計測および制御設備(中央制御室外原子炉停止装置)	モード3	・ほつ酸ポンプ ・加圧器圧力	×																	×
		モード3,4	・ろ過ポンプ ・高圧注入ポンプ ・加圧器バックアップヒータ ・抽出水オリアフイス隔離弁 ・海水ポンプ ・1次系冷却水ポンプ ・電動補助給水ポンプ ・加圧器水位 ・蒸気発生器水位(広域) ・蒸気フライン圧力 ・中性子束(中性子源領域) ・1次冷却材圧力(広域) ・1次冷却材温度(広域)(低温側)																		
		モード4	・糸線除去ポンプ		×																×



































長期施設管理方針実施状況総括表

## 長期施設管理方針実施状況総括表

長期施設管理方針※No.	長期施設管理方針に基づく活動内容			第27保全サイクル実施計画	進捗状況※※	備考
	機器又は系統名	部位と経年劣化事象	活動項目			
1	原子炉容器	胴部(炉心領域部)の中性子照射施設	原子炉容器胴部(炉心領域部)の中性子照射施設については、今後の原子炉の運転サイクル・照射量を勘案して第5回監視試験を実施する。	○	実施中	第26回定期事業者検査にて取り出した監視試験片について、第5回監視試験を実施中。
2	疲労累積係数による低サイクル疲労の評価を実施した全ての機器	疲労割れ	疲労評価における実績過渡回数の確認を継続的に実施し、運転開始後60年時点の推定過渡回数を上回らないことを確認する。	○	実施中	2021年11月30日(45年目を迎えた月の月末)までの運転実績を踏まえ、運転開始後60年時点の過渡回数*1が、40年目の高経年化技術評価で用いた60年時点の過渡回数を上回っていないことを確認した。 *1:60年時点の過渡回数=実績過渡回数+(実績確認時点の年平均過渡回数×残年数(15年))

※：「美浜発電所原子炉施設保安規定」添付6の長期施設管理方針番号

※※：第27サイクル当初での状況を記載

## 添付書類四 定期事業者検査の判定方法

## 目 次

1. 定期事業者検査の判定方法	1
-----------------	---

表-1：検査の方法の考え方について



## 1. 定期事業者検査の判定方法

### (1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに従い表-1に記載する方法に基づき、対象設備に対して定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

表-1の検査は、設備の点検に合わせて、又は点検の完了後に実施するものであり、その実施頻度は設備の点検頻度や原子炉を停止する頻度に基づいている。(添付資料三別紙 参照)

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に点検を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とみなすことができる。この実施頻度から設定した定期事業者の一定の期間の最短は、原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月※(定期事業者検査終了からの期間)である。

※: 使用の状況等から別途点検を行う時期を評価し、定期事業者検査を実施すべき時期について原子力規制委員会の承認を受ける場合を除く。

なお、定期事業者検査の実施頻度の前提となるこれらの点検にあたっては、その対象設備が技術基準に適合する状態を維持するため、その点検頻度の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

また、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する検査については、上記にかかわらず、当該評価で判定に考慮する期間を一定の期間とする。これに該当する検査を(2)に示す。

### (2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1)のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月(定期事業者検査終了からの期間)以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査
- ・クラス2機器供用期間中検査

- ・クラス3機器供用期間中検査
- ・供用期間中特別検査のうちクラス2管（原子炉格納容器内）特別検査
- ・供用期間中特別検査のうちクラス1機器Ni基合金使用部位特別検査
- ・供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査
- ・重大事故等クラス1機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3機器供用期間中検査
- ・原子炉格納容器供用期間中検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・炉内計装用シンプルチューブ体積検査
- ・2次系配管検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査

○また、第28サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間（13ヶ月）に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査
- ・燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

表－1 検査の方法の考え方について

定期事業者検査	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法	分解検査及び開放検査	機器等を分解、開放した状態で、亀裂、変形、摩耗等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解または開放しない状態で漏えい又はその形跡、亀裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	一般社団法人日本機械学会「発電用原子炉設備規格 維持規格」(JSME S NA1-2012/2013 追補/2014 追補)に規定されている超音波探傷試験、目視試験等により、機器等の内外表面及び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい（率）検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、漏えいの有無又は漏えい率 <sup>*</sup> を確認する。
② 試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定 <sup>**</sup> 、校正、設定値確認検査等を行い、機器等の特性を確認する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、インターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後に、定格出力近傍で発電用原子炉施設の運転を行い、各発電用原子炉施設の運転状態が正常であること及び各種パラメータが妥当な値であることを確認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上記の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は、点検計画（添付書類三 別紙）のとおり。

なお、当該点検計画に含まれる簡略点検は、定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容からの変更内容

## 目 次

1. 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 施設管理の実施に関する計画の変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 定期事業者検査の判定方法の変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

別紙－1： 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更の変更前後表

別紙－2： 施設管理の実施に関する計画の変更前後表

別紙－3： 定期事業者検査の判定方法の変更前後表

1. 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更  
別紙－１のとおり
2. 施設管理の実施に関する計画の変更  
別紙－２のとおり
3. 定期事業者検査の判定方法の変更  
別紙－３のとおり

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い  
系統について定量的に定める  
施設管理の目標に関する変更の  
変更前後表

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更の前後表

変更理由	変更後	変更前																																																																																																																																																				
		系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考																																																																																																																																																
			予防可能故障回数	目標値	非待機時間	目標値																																																																																																																																																
<p>① PRA モデルの更新に伴い、加圧器逃がし弁元弁のリスク重要度が低から高に変更されたことによる、予防可能故障回数目標値の変更</p>	<p>2. 系統レベル</p> <p>(2/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>要求機能</th> <th colspan="2">保全活動管理指標</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>予防可能故障回数</th> <th>目標値</th> <th>非待機時間</th> <th>目標値</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">原子炉冷却系統</td> <td>原子炉冷却材圧力が低下機能(PS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力が低下の過圧防止機能(MS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能(PS-2)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異常状態の緩和機能(MS-2)</td> <td>① [加圧器逃がし弁、加圧器逃がし弁元弁] &lt;1回/サイクル [加圧器後継ぎ] &lt;2回/サイクル</td> <td></td> <td>[加圧器逃がし弁、元弁、加圧器後継ぎ] &lt;72時間/2サイクル/弁、ヒータ</td> <td></td> <td>※：逃がし弁駆動空気、ヒータ電源含む</td> </tr> <tr> <td>事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)</td> <td>&lt;2回/サイクル</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">化学体積制御系統</td> <td>未臨界維持機能(充てんライン経由) (MS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td></td> <td>[系統共通箇所以外] &lt;240時間/2サイクル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・未臨界維持機能(ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ提供) (MS-1) ・炉心冷却機能 (MS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td></td> <td>H/A&lt;240時間/2サイクル H/B&lt;240時間/2サイクル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材を内蔵する機能(PS-2)</td> <td>&lt;2回/サイクル</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異常状態の緩和機能(MS-2) (補給水制御弁閉止)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td></td> <td>&lt;240時間/2サイクル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)</td> <td>&lt;2回/サイクル</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考			予防可能故障回数	目標値	非待機時間	目標値		原子炉冷却系統	原子炉冷却材圧力が低下機能(PS-1)	<1回/サイクル		-			原子炉冷却材圧力が低下の過圧防止機能(MS-1)	<1回/サイクル		-			安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能(PS-2)	<1回/サイクル		-			異常状態の緩和機能(MS-2)	① [加圧器逃がし弁、加圧器逃がし弁元弁] <1回/サイクル [加圧器後継ぎ] <2回/サイクル		[加圧器逃がし弁、元弁、加圧器後継ぎ] <72時間/2サイクル/弁、ヒータ		※：逃がし弁駆動空気、ヒータ電源含む	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル		-			化学体積制御系統	未臨界維持機能(充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル		[系統共通箇所以外] <240時間/2サイクル			・未臨界維持機能(ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ提供) (MS-1) ・炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル		H/A<240時間/2サイクル H/B<240時間/2サイクル			原子炉冷却材を内蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル		-			異常状態の緩和機能(MS-2) (補給水制御弁閉止)	<1回/サイクル		<240時間/2サイクル			事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル		-			<p>2. 系統レベル</p> <p>(2/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>要求機能</th> <th colspan="2">保全活動管理指標</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>予防可能故障回数</th> <th>目標値</th> <th>非待機時間</th> <th>目標値</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">原子炉冷却系統</td> <td>原子炉冷却材圧力が低下機能(PS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材圧力が低下の過圧防止機能(MS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能(PS-2)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異常状態の緩和機能(MS-2)</td> <td>① [加圧器逃がし弁] &lt;1回/サイクル [加圧器逃がし弁元弁、加圧器後継ぎ] &lt;2回/サイクル</td> <td></td> <td>[加圧器逃がし弁、元弁、加圧器後継ぎ] &lt;72時間/2サイクル/弁、ヒータ</td> <td></td> <td>※：逃がし弁駆動空気、ヒータ電源含む</td> </tr> <tr> <td>事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)</td> <td>&lt;2回/サイクル</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">化学体積制御系統</td> <td>未臨界維持機能(充てんライン経由) (MS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td></td> <td>[系統共通箇所以外] &lt;240時間/2サイクル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・未臨界維持機能(ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ提供) (MS-1) ・炉心冷却機能 (MS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td></td> <td>H/A&lt;240時間/2サイクル H/B&lt;240時間/2サイクル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉冷却材を内蔵する機能(PS-2)</td> <td>&lt;2回/サイクル</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>異常状態の緩和機能(MS-2) (補給水制御弁閉止)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td></td> <td>&lt;240時間/2サイクル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)</td> <td>&lt;2回/サイクル</td> <td></td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考			予防可能故障回数	目標値	非待機時間	目標値		原子炉冷却系統	原子炉冷却材圧力が低下機能(PS-1)	<1回/サイクル		-			原子炉冷却材圧力が低下の過圧防止機能(MS-1)	<1回/サイクル		-			安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能(PS-2)	<1回/サイクル		-			異常状態の緩和機能(MS-2)	① [加圧器逃がし弁] <1回/サイクル [加圧器逃がし弁元弁、加圧器後継ぎ] <2回/サイクル		[加圧器逃がし弁、元弁、加圧器後継ぎ] <72時間/2サイクル/弁、ヒータ		※：逃がし弁駆動空気、ヒータ電源含む	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル		-			化学体積制御系統	未臨界維持機能(充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル		[系統共通箇所以外] <240時間/2サイクル			・未臨界維持機能(ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ提供) (MS-1) ・炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル		H/A<240時間/2サイクル H/B<240時間/2サイクル			原子炉冷却材を内蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル		-			異常状態の緩和機能(MS-2) (補給水制御弁閉止)	<1回/サイクル		<240時間/2サイクル			事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル		-		
	系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考																																																																																																																																																	
		予防可能故障回数	目標値	非待機時間	目標値																																																																																																																																																	
原子炉冷却系統	原子炉冷却材圧力が低下機能(PS-1)	<1回/サイクル		-																																																																																																																																																		
	原子炉冷却材圧力が低下の過圧防止機能(MS-1)	<1回/サイクル		-																																																																																																																																																		
	安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能(PS-2)	<1回/サイクル		-																																																																																																																																																		
	異常状態の緩和機能(MS-2)	① [加圧器逃がし弁、加圧器逃がし弁元弁] <1回/サイクル [加圧器後継ぎ] <2回/サイクル		[加圧器逃がし弁、元弁、加圧器後継ぎ] <72時間/2サイクル/弁、ヒータ		※：逃がし弁駆動空気、ヒータ電源含む																																																																																																																																																
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル		-																																																																																																																																																		
化学体積制御系統	未臨界維持機能(充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル		[系統共通箇所以外] <240時間/2サイクル																																																																																																																																																		
	・未臨界維持機能(ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ提供) (MS-1) ・炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル		H/A<240時間/2サイクル H/B<240時間/2サイクル																																																																																																																																																		
	原子炉冷却材を内蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル		-																																																																																																																																																		
	異常状態の緩和機能(MS-2) (補給水制御弁閉止)	<1回/サイクル		<240時間/2サイクル																																																																																																																																																		
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル		-																																																																																																																																																		
系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考																																																																																																																																																		
		予防可能故障回数	目標値	非待機時間	目標値																																																																																																																																																	
原子炉冷却系統	原子炉冷却材圧力が低下機能(PS-1)	<1回/サイクル		-																																																																																																																																																		
	原子炉冷却材圧力が低下の過圧防止機能(MS-1)	<1回/サイクル		-																																																																																																																																																		
	安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能(PS-2)	<1回/サイクル		-																																																																																																																																																		
	異常状態の緩和機能(MS-2)	① [加圧器逃がし弁] <1回/サイクル [加圧器逃がし弁元弁、加圧器後継ぎ] <2回/サイクル		[加圧器逃がし弁、元弁、加圧器後継ぎ] <72時間/2サイクル/弁、ヒータ		※：逃がし弁駆動空気、ヒータ電源含む																																																																																																																																																
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル		-																																																																																																																																																		
化学体積制御系統	未臨界維持機能(充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル		[系統共通箇所以外] <240時間/2サイクル																																																																																																																																																		
	・未臨界維持機能(ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ提供) (MS-1) ・炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル		H/A<240時間/2サイクル H/B<240時間/2サイクル																																																																																																																																																		
	原子炉冷却材を内蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル		-																																																																																																																																																		
	異常状態の緩和機能(MS-2) (補給水制御弁閉止)	<1回/サイクル		<240時間/2サイクル																																																																																																																																																		
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル		-																																																																																																																																																		



発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更前後表

変更理由	変更後	(4/17)				
		系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
				予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
② 格納容器圧力低減系統（格納容器スプレ設備）のアクシデントマネジメント対応機能【代替再循環、格納容器内注水】については、重大事故等対処設備に包括されるため削除	安全注入系統	・炉心冷却機能(MS-1) ・未臨界維持機能(MS-1)	<1回/サイクル	[高压注入系、低圧注入系] レシバ<240時間/2サイクル レシバ<240時間/2サイクル 【蓄圧注入系※】 1時間/2サイクル/基 【ほう酸注入あり】<1時間/2サイクル	※：蓄圧注入系は未臨界維持機能を有しない。	
		原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	-		
原子炉冷却材を内蔵する機能(PS-2)		<2回/サイクル	-			
事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)		<2回/サイクル	-			
放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1)		<1回/サイクル	-			
① 格納容器圧力低減系統（格納容器スプレ設備）	格納容器圧力低減系統 (格納容器スプレ設備)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1)	<1回/サイクル	[よう素除去薬品あり] <72時間/2サイクル [よう素除去薬品あり以外] レシバ<240時間/2サイクル レシバ<240時間/2サイクル		
		事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-		
		事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-		
変更前	安全注入系統	・炉心冷却機能(MS-1) ・未臨界維持機能(MS-1)	<1回/サイクル	[高压注入系、低圧注入系] レシバ<240時間/2サイクル レシバ<240時間/2サイクル 【蓄圧注入系※】 1時間/2サイクル/基 【ほう酸注入あり】<1時間/2サイクル	※：蓄圧注入系は未臨界維持機能を有しない。	
		原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	-		
原子炉冷却材を内蔵する機能(PS-2)		<2回/サイクル	-			
事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)		<2回/サイクル	-			
放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1)		<1回/サイクル	-			
① 格納容器圧力低減系統（格納容器スプレ設備）	格納容器圧力低減系統 (格納容器スプレ設備)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1)	<1回/サイクル	[よう素除去薬品あり] <72時間/2サイクル [よう素除去薬品あり以外] レシバ<240時間/2サイクル レシバ<240時間/2サイクル		
		アクシデントマネジメント対応機能【代替再循環、格納容器内注水】	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル		
		事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-		

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更の前後表

変更理由	変更後	変更前

系統名	要求機能	保安活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
蒸気発生器「ボナ」の系統	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル/弁	
換気空調設備(補助凍屋より素除去排気系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1)	<1回/サイクル	H/A<240時間/2サイクル H/B<240時間/2サイクル H/C共通箇所<72時間/2サイクル	
換気空調設備(二次空気を再循環系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1) (1次冷却材喪失事故時、アンニラス部を負圧に保ち、また、原子炉格納容器からアンニラス部に漏えいした空気を浄化再循環し、環境に放出される核分裂性生物の濃度を減少させる機能)	<1回/サイクル	H/A<240時間/2サイクル H/B<240時間/2サイクル	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1) (アンニラス圧力が設定値に達すると、アンニラス戻り弁及び全量排気弁/少量排気弁を自動開閉し、アンニラス部を負圧に保つ機能)	<1回/サイクル	H/A<240時間/2サイクル H/B<240時間/2サイクル	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能の積層提供系(MS-2)	<2回/サイクル	-	
換気空調設備(格納容器排気系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1)	<1回/サイクル	-	

(5/17)

系統名	要求機能	保安活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
蒸気発生器「ボナ」の系統	原子炉停止後の除熱機能(MS-1)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル/弁	
換気空調設備(格納容器再循環系)	アクシデントマネジメント対応機能【格納容器自然対流冷却】	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	
換気空調設備(補助凍屋より素除去排気系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1)	<1回/サイクル	H/A<240時間/2サイクル H/B<240時間/2サイクル H/C共通箇所<72時間/2サイクル	
換気空調設備(二次空気を再循環系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1) (1次冷却材喪失事故時、アンニラス部を負圧に保ち、また、原子炉格納容器からアンニラス部に漏えいした空気を浄化再循環し、環境に放出される核分裂性生物の濃度を減少させる機能)	<1回/サイクル	H/A<240時間/2サイクル H/B<240時間/2サイクル	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1) (アンニラス圧力が設定値に達すると、アンニラス戻り弁及び全量排気弁/少量排気弁を自動開閉し、アンニラス部を負圧に保つ機能)	<1回/サイクル	H/A<240時間/2サイクル H/B<240時間/2サイクル	
	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能の積層提供系(MS-2)	<2回/サイクル	-	
換気空調設備(格納容器排気系)	放射線物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1)	<1回/サイクル	-	

(5/17)

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更前後表

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
換気空調設備 (売てん/高圧注入ポンプ室冷却系)	炉心冷却機能 (間接関連系) (MS-2)	① <2回/サイクル	1r/A <240時間/2サイクル 1r/B <240時間/2サイクル	当該空調設備は次の安全機能を兼ねる。 ・末期昇維特機能 (間接関連系) (MS-2) ・原子炉停止後の除熱機能 (間接関連系) (MS-2) ・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び低減機能 (間接関連系) (MS-2)
換気空調設備 (S'Vei/余熱除去ポンプ室冷却系)	炉心冷却機能 (間接関連系) (MS-2)	<2回/サイクル	1r/A <240時間/2サイクル 1r/B <240時間/2サイクル	当該空調設備は次の安全機能を兼ねる。 ・原子炉停止後の除熱機能 (間接関連系) (MS-2) ・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び低減機能 (間接関連系) (MS-2)
換気空調設備 (制御建屋空調系)	・安全上特に重要な関連機能 (MS-1) ・安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	1r/A <720時間/2サイクル 1r/B <720時間/2サイクル 1r/C共通箇所 <240時間/2サイクル	
換気空調設備 (中央制御室非常用循環系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	1r/A <720時間/2サイクル 1r/B <720時間/2サイクル 1r/C共通箇所 <240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系 (MS-2)	<2回/サイクル	-	
換気空調設備 (S'Vei'k'発電機室換気系)	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-2)	① <1回/サイクル	1r/A <240時間/2サイクル 1r/B <240時間/2サイクル	

(6/17)

変更理由

変更後

変更前

① PRA モデルの更新に伴い、  
予防可能故障回数目標値を  
変更

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
換気空調設備 (売てん/高圧注入ポンプ室冷却系)	炉心冷却機能 (間接関連系) (MS-2)	① <1回/サイクル	1r/A <240時間/2サイクル 1r/B <240時間/2サイクル	当該空調設備は次の安全機能を兼ねる。 ・末期昇維特機能 (間接関連系) (MS-2) ・原子炉停止後の除熱機能 (間接関連系) (MS-2) ・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び低減機能 (間接関連系) (MS-2)
換気空調設備 (S'Vei/余熱除去ポンプ室冷却系)	炉心冷却機能 (間接関連系) (MS-2)	<2回/サイクル	1r/A <240時間/2サイクル 1r/B <240時間/2サイクル	当該空調設備は次の安全機能を兼ねる。 ・原子炉停止後の除熱機能 (間接関連系) (MS-2) ・放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び低減機能 (間接関連系) (MS-2)
換気空調設備 (制御建屋空調系)	・安全上特に重要な関連機能 (MS-1) ・安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	1r/A <720時間/2サイクル 1r/B <720時間/2サイクル 1r/C共通箇所 <240時間/2サイクル	
換気空調設備 (中央制御室非常用循環系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	1r/A <720時間/2サイクル 1r/B <720時間/2サイクル 1r/C共通箇所 <240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能の情報提供系 (MS-2)	<2回/サイクル	-	
換気空調設備 (S'Vei'k'発電機室換気系)	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-2)	① <2回/サイクル	1r/A <240時間/2サイクル 1r/B <240時間/2サイクル	

(6/17)

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更前後表

変更理由

① PRA モデルの更新に伴い、  
予防可能故障回数目標値を  
変更

変更後

(7/17)

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
換気空調設備(中間建屋連・排気系)	安全上特に重要な関連機能(間接関連系) (MS-2)	① <1回/サイクル	レ/A<240時間/2サイクル レ/B<240時間/2サイクル	
主管系統 (主蒸気系統)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	【主蒸気安全弁】 <6時間/2サイクル/弁 【主蒸気逃がし弁】 <168時間/2サイクル/弁 【主蒸気止弁※】 <8時間/2サイクル/弁	※:バリス弁を含む
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	<72時間/2サイクル/弁	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	-	
主管系統 (主給水系統)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	【主給水隔離弁】 <72時間/2サイクル/弁	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	【主給水制御弁※】 <72時間/2サイクル/弁	※:バリス制御弁を含む
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	-	
主管系統 (補助給水系統)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	【復水タワ】 <168時間/2サイクル 【復水タワ以外】 補助給水系(電動)レ/A<240時間/2サイクル レ/B<240時間/2サイクル 補助給水系(タービン動)<240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	① <1回/サイクル	-	

変更前

(7/17)

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
換気空調設備(中間建屋連・排気系)	安全上特に重要な関連機能(間接関連系) (MS-2)	① <2回/サイクル	レ/A<240時間/2サイクル レ/B<240時間/2サイクル	
主管系統 (主蒸気系統)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	【主蒸気安全弁】 <6時間/2サイクル/弁 【主蒸気逃がし弁】 <168時間/2サイクル/弁 【主蒸気止弁※】 <8時間/2サイクル/弁	※:バリス弁を含む
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	<72時間/2サイクル/弁	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	-	
主管系統 (主給水系統)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	【主給水隔離弁】 <72時間/2サイクル/弁	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	【主給水制御弁※】 <72時間/2サイクル/弁	※:バリス制御弁を含む
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	<2回/サイクル	-	
主管系統 (補助給水系統)	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	【復水タワ】 <168時間/2サイクル 【復水タワ以外】 補助給水系(電動)レ/A<240時間/2サイクル レ/B<240時間/2サイクル 補助給水系(タービン動)<240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能 (MS-2)	① <2回/サイクル	-	

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更前後表

変更理由

① PRA モデルの更新に伴い、  
非待機時間目標値を変更

変更後

(8/17)

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
主幹線結線	安全上特に重要な関連機能(当該系) (MS-1)	<1回/サイクル	① <2時間/2サイクル/母線	
直流系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	[直流母線] <2時間/2サイクル/母線 [蓄電池] <240時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な関連機能の権限提供系 (MS-2)	<2回/サイクル	-	
特高開閉所設備	電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	-	
計器用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	
起動変圧器設備	電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	-	
予備変圧器設備	A. 電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	-	
所内保護・計量設備	安全上特に重要な関連機能 (非常用母線の保護機能) (MS-1)	<1回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な関連機能 (非常用所内電源系) (MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/1台/秒	
	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/1台/秒	
	安全上特に重要な関連機能の権限提供系 (MS-2)	<2回/サイクル	-	

変更前

(8/17)

系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
主幹線結線	安全上特に重要な関連機能(当該系) (MS-1)	<1回/サイクル	① <8時間/2サイクル/母線	
直流系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	[直流母線] <2時間/2サイクル/母線 [蓄電池] <240時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な関連機能の権限提供系 (MS-2)	<2回/サイクル	-	
特高開閉所設備	電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	-	
計器用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	
起動変圧器設備	電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	-	
予備変圧器設備	A. 電源供給機能 (PS-3) [リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	-	
所内保護・計量設備	安全上特に重要な関連機能 (非常用母線の保護機能) (MS-1)	<1回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	
	安全上特に重要な関連機能 (非常用所内電源系) (MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/1台/秒	
	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/1台/秒	
	安全上特に重要な関連機能の権限提供系 (MS-2)	<2回/サイクル	-	

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更前後表

変更理由	変更後	(9/17)					
		系統名	要求機能	保安活動管理指標		備考	
			予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値			
① PRA モデルの更新に伴い、非待機時間目標値を変更 ② PRA モデルの更新に伴い、予防可能故障回数目標値を変更 ③ 原子炉補機冷却水系統のアクションマネジメント対応機能[代替補機冷却、格納容器自然対流冷却]については、重大事故等対処設備の運用に伴い多様性拡張設備と整理したため削除		系統独立制御盤(緊急時対応(中央制御室))	制御室外からの安全停止機能(MS-2)	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル/機能		
			安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	① T/F/A<195時間/2サイクル T/F/B<195時間/2サイクル		
		原子炉補機冷却水系統	事故時のプラント状態の把握機能(直接関連系)(MS-2)	<2回/サイクル	-		
		③	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能)(MS-2)	② <1回/サイクル	-		
			安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	① T/F/A<212時間/2サイクル T/F/B<212時間/2サイクル		
		1次系海水系統	安全上特に重要な関連機能(間接関連系)(MS-3)[リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル		
			安全上特に重要な関連機能の権限提供系(MS-2)	② <1回/サイクル	-		
			系統独立制御盤(緊急時対応(中央制御室))	制御室外からの安全停止機能(MS-2)	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル/機能	
			安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	① T/F/A<240時間/2サイクル T/F/B<240時間/2サイクル		
		原子炉補機冷却水系統	事故時のプラント状態の把握機能(直接関連系)(MS-2)	<2回/サイクル	-		
		③	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能)(MS-2)	② <2回/サイクル	-		
			アクションマネジメント対応機能[代替補機冷却、格納容器自然対流冷却]	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル		
		安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	① T/F/A<240時間/2サイクル T/F/B<240時間/2サイクル			
	1次系海水系統	安全上特に重要な関連機能(間接関連系)(MS-3)[リスク重要度「高」設備]	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル			
		安全上特に重要な関連機能の権限提供系(MS-2)	② <2回/サイクル	-			

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更前後表

変更理由	変更後	変更前																																																																																		
			<p>① 冷水系統のアクションデジメンテーション対応機能【代替補機冷却】については、重大事故等対処設備の運用に伴い多様性拡張設備と整理したため削除</p>	<p>(10/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統名</th> <th rowspan="2">要求機能</th> <th colspan="2">保全活動管理指標</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>予防可能故障回数 目標値</th> <th>非待機時間 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷水系統</td> <td>安全上特に重要な関連機能（直接関連系）(MS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td>W/A&lt;240時間/2サイクル W/B&lt;240時間/2サイクル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系統材料採取系統</td> <td>事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)</td> <td>&lt;2回/サイクル</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計器用空気系統 (1次系)</td> <td>安全上特に重要な関連機能(MS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td>W/A&lt;1時間/2サイクル W/B&lt;1時間/2サイクル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)</td> <td>&lt;2回/サイクル</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機冷却水系統</td> <td>安全上特に重要な関連機能(MS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td>W/A&lt;240時間/2サイクル W/B&lt;240時間/2サイクル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機粘動空気系統</td> <td>A. 安全上特に重要な関連機能(MS-1) C. 安全上特に重要な関連機能（換気系）(MS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td>&lt;240時間/2サイクル/基</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考	予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	冷水系統	安全上特に重要な関連機能（直接関連系）(MS-1)	<1回/サイクル	W/A<240時間/2サイクル W/B<240時間/2サイクル		①					1次系統材料採取系統	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-		計器用空気系統 (1次系)	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	W/A<1時間/2サイクル W/B<1時間/2サイクル		事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-		ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	W/A<240時間/2サイクル W/B<240時間/2サイクル		ディーゼル発電機粘動空気系統	A. 安全上特に重要な関連機能(MS-1) C. 安全上特に重要な関連機能（換気系）(MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基		<p>(10/17)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統名</th> <th rowspan="2">要求機能</th> <th colspan="2">保全活動管理指標</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>予防可能故障回数 目標値</th> <th>非待機時間 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷水系統</td> <td>安全上特に重要な関連機能（直接関連系）(MS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td>W/A&lt;240時間/2サイクル W/B&lt;240時間/2サイクル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>アクションマネジメント対応機能【代替補機冷却】</td> <td>&lt;2回/サイクル</td> <td>&lt;720時間/2サイクル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1次系統材料採取系統</td> <td>事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)</td> <td>&lt;2回/サイクル</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計器用空気系統 (1次系)</td> <td>安全上特に重要な関連機能(MS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td>W/A&lt;1時間/2サイクル W/B&lt;1時間/2サイクル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)</td> <td>&lt;2回/サイクル</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機冷却水系統</td> <td>安全上特に重要な関連機能(MS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td>W/A&lt;240時間/2サイクル W/B&lt;240時間/2サイクル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機粘動空気系統</td> <td>A. 安全上特に重要な関連機能(MS-1) C. 安全上特に重要な関連機能（換気系）(MS-1)</td> <td>&lt;1回/サイクル</td> <td>&lt;240時間/2サイクル/基</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考	予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	冷水系統	安全上特に重要な関連機能（直接関連系）(MS-1)	<1回/サイクル	W/A<240時間/2サイクル W/B<240時間/2サイクル		①	アクションマネジメント対応機能【代替補機冷却】	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル		1次系統材料採取系統	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-		計器用空気系統 (1次系)	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	W/A<1時間/2サイクル W/B<1時間/2サイクル		事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-		ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	W/A<240時間/2サイクル W/B<240時間/2サイクル		ディーゼル発電機粘動空気系統	A. 安全上特に重要な関連機能(MS-1) C. 安全上特に重要な関連機能（換気系）(MS-1)
系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考																																																																																
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値																																																																																	
冷水系統	安全上特に重要な関連機能（直接関連系）(MS-1)	<1回/サイクル	W/A<240時間/2サイクル W/B<240時間/2サイクル																																																																																	
①																																																																																				
1次系統材料採取系統	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-																																																																																	
計器用空気系統 (1次系)	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	W/A<1時間/2サイクル W/B<1時間/2サイクル																																																																																	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-																																																																																	
ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	W/A<240時間/2サイクル W/B<240時間/2サイクル																																																																																	
ディーゼル発電機粘動空気系統	A. 安全上特に重要な関連機能(MS-1) C. 安全上特に重要な関連機能（換気系）(MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基																																																																																	
系統名	要求機能	保全活動管理指標		備考																																																																																
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値																																																																																	
冷水系統	安全上特に重要な関連機能（直接関連系）(MS-1)	<1回/サイクル	W/A<240時間/2サイクル W/B<240時間/2サイクル																																																																																	
①	アクションマネジメント対応機能【代替補機冷却】	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル																																																																																	
1次系統材料採取系統	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-																																																																																	
計器用空気系統 (1次系)	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	W/A<1時間/2サイクル W/B<1時間/2サイクル																																																																																	
	事故時のプラント状態の把握機能(MS-2)	<2回/サイクル	-																																																																																	
ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	W/A<240時間/2サイクル W/B<240時間/2サイクル																																																																																	
ディーゼル発電機粘動空気系統	A. 安全上特に重要な関連機能(MS-1) C. 安全上特に重要な関連機能（換気系）(MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基																																																																																	

発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更の前後表

変更理由	変更後				
	系統名	要求機能	保安活動管理指標		備考
			予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
① 消火水設備系統のアクシデントマネジメント対応機能【格納容器内注水】については、重大事故等対応設備の運用に伴い、多様性拡張設備と整理したため削除  ② 原水・ろ過水・飲料水系統のアクシデントマネジメント対応機能【格納容器内注水】については、重大事故等対応設備の運用に伴い、多様性拡張設備と整理したため削除				(11/17)	
	ディーゼル発電機潤滑油系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	ディーゼル発電機燃料系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	非常用ディーゼル発電機設備	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	① 気体廃棄物処理系統	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル	-	
	②				
変更前					
				(11/17)	
	ディーゼル発電機潤滑油系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	ディーゼル発電機燃料系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	非常用ディーゼル発電機設備	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	① 消火水設備系統	アクシデントマネジメント対応機能【格納容器内注水】	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	
	気体廃棄物処理系統	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能(PS-2)	<2回/サイクル	-	
	② 原水・ろ過水・飲料水系統	アクシデントマネジメント対応機能【格納容器内注水】	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	



発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標に関する変更前後表

変更理由

変更後

変更前

① 蓄電池（3系統目）の運用開始に伴う記載の追記

(17/17)

系統名	要求機能	保安活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
重大事故等対応設備	電源設備 (SA-2)	<1回/サイクル	① 空冷式非常用発電装置、電源車 <720時間/2サイクル 蓄電池 (安全防護系用) 蓄電池 (3系統目) <720時間/2サイクル 可搬式整流器 <240時間/2サイクル 代用所内電気設備 <72時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリー、燃料油移送ポンプ <48時間/2サイクル	
	計装設備 (-)	<2回/サイクル	記録以外 <720時間/2サイクル 記録	
	中央制御室 (SA-2)	<1回/サイクル	中央制御室非常用循環系 <72時間/2サイクル 可搬型照明 (SA)、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 <240時間/2サイクル	
	監視測定設備 (SA-2)	<1回/サイクル	-	
	緊急時対策所 (SA-2)	<1回/サイクル	電源車 (緊急時対策所用) <240時間/2サイクル 居住性 (緊急時対策所エリアモニタ) 居住性 (緊急時対策所エリアモニタ以外) <240時間/2サイクル	
	通信連絡を行うために必要な設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	その他の設備 (-)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	

(17/17)

系統名	要求機能	保安活動管理指標		備考
		予防可能故障回数 目標値	非待機時間 目標値	
重大事故等対応設備	電源設備 (SA-2)	<1回/サイクル	① 空冷式非常用発電装置、電源車 <720時間/2サイクル 蓄電池 可搬式整流器 <240時間/2サイクル 代用所内電気設備 <72時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリー、燃料油移送ポンプ <48時間/2サイクル	
	計装設備 (-)	<2回/サイクル	記録以外 <720時間/2サイクル 記録	
	中央制御室 (SA-2)	<1回/サイクル	中央制御室非常用循環系 <72時間/2サイクル 可搬型照明 (SA)、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 <240時間/2サイクル	
	監視測定設備 (SA-2)	<1回/サイクル	-	
	緊急時対策所 (SA-2)	<1回/サイクル	電源車 (緊急時対策所用) <240時間/2サイクル 居住性 (緊急時対策所エリアモニタ) 居住性 (緊急時対策所エリアモニタ以外) <240時間/2サイクル	
	通信連絡を行うために必要な設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	その他の設備 (-)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	

施設管理の実施に関する計画の  
変更前後表